



大学向け
クラウドソリューションカタログ2021



大学ICT推進協議会
クラウド部会

「大学向けクラウドソリューションカタログ 2021」の発行に寄せて

大学 ICT 推進協議会 クラウド部会

主査 渡邊 英伸（広島大学）

大学 ICT 推進協議会クラウド部会にご参加いただいている賛助会員様のご協力により、今年度も本カタログを発行できる運びとなりました。日頃から本部会の運営へのご助言やご協力、情報提供をいただいております賛助会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大によって、働き方や研究教育方法が変わりつつある中、クラウドサービスは重要な役割を果たしています。一方で、様々なクラウドサービスやソリューションが乱立している現状もあるかと思えます。

本カタログでは、クラウドサービスやソリューションにおける検討事項を同一の尺度で掲載し、比較検討の材料としていただくことを目的としております。これらは、ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）クラウドセキュリティの認証審査における根拠資料として活用できることが確認されております。国立情報学研究所の学認クラウド導入支援サービス（<https://cloud.gakunin.jp>）で公開されている「スタートアップガイド」や「チェックリスト」と合わせてご活用いただければ幸いです。

クラウド部会では、年次大会における企画セッションの開催のほか、北海道大学や広島大学で開催される関連シンポジウムをはじめとし、クラウド普及活動との連携を推進しております。すでにクラウドを活用されている、あるいはクラウドの導入を検討されている正会員様、大学向けにクラウドサービスやソリューションを提案されたい賛助会員様のご参加をお待ちしております。

以上

大学向けクラウドソリューションカタログ 2021 目次

「大学向けクラウドソリューションカタログ 2021」の発行に寄せて／

大学 ICT 推進協議会 クラウド部会 主査 渡邊 英伸 01

特集：大学 DX 支援の事例紹介 05

1. 教育支援系ソリューション

- (1) FUJITSU 文教ソリューション Campus-Xs/富士通株式会社 14
- (2) codemari クラウドサービス/株式会社内田洋行 16
- (3) Now Platform for コネクテッドキャンパス/ServiceNow Japan 合同会社 18

2. 研究支援系ソリューション

- (1) FUJITSU 文教ソリューション Ufinity 研究者業績サービス/富士通株式会社 22
- (2) AI 画像認識アプリケーションプラットフォーム/株式会社日立製作所 24
- (3) Google Cloud/グーグル・クラウド・ジャパン合同会社 26
- (4) さくらのセキュアモバイルコネクト/さくらインターネット株式会社 28
- (5) さくらのレンタルサーバ、リセール向けサービス/さくらインターネット株式会社 30

3. 事務支援系ソリューション

- (1) RoomSense クラウドサービス/株式会社内田洋行 34
- (2) ウチダ証明書学外発行サービス/株式会社内田洋行 36
- (3) FUJITSU 文教ソリューション iLiswave-J 図書館クラウドシリーズ/富士通株式会社 38
- (4) TWX-21 MRO 集中購買サービス/株式会社日立製作所 40
- (5) RICOH CHATBOT SERVICW/株式会社リコー 42
- (6) 図書館情報管理システム LIMEDIO クラウドサービス/株式会社リコー 44
- (7) キャンパス手帳/株式会社リコー 46
- (8) RICOH カンタンドキュメント活用 for kintone/株式会社リコー 48
- (9) RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん/株式会社リコー 50
- (10) RICOH カンタンストレージ活用 for Box/Dropbox/OneDrive for Business/株式会社リコー 52
- (11) RICOH カンタンバーコード活用 for Cloud/株式会社リコー 54
- (12) RICOH カンタン文書申請 for Cloud/株式会社リコー 56
- (13) RICOH マーキングスキャン for データ集計/株式会社リコー 58
- (14) RICOH マーキングスキャン for 文書保管/株式会社リコー 60

4. 情報基盤系ソリューション

(1) NetApp Cloud Insights/ネットアップ合同会社	64
(2) Cloud Volumes ONTAP/ネットアップ合同会社	66
(3) Spot by NetApp/ネットアップ合同会社	68
(4) Nutanix Cloud Infrastructure/Nutanix Japan 合同会社	70
(5) Nutanix Cloud Management/Nutanix Japan 合同会社	72
(6) リモートアクセスシステム DoMobile/株式会社日立ソリューションズクリエイト	74
(7) エンタープライズクラウドサービス G2/株式会社日立製作所	76
(8) フェデレーテッドクラウド管理監視・タスク実行・ファイル転送) サービス/株式会社日立製作所	78
(9) 出前クラウドサービス/株式会社日立製作所	80
(10) Hitachi Managed VMware Cloud™ on AWS/株式会社日立製作所	82
(11) クラウド移行アセスメントサービス/株式会社日立製作所	84
(12) プラットフォーム向けモダナイゼーション支援サービス/株式会社日立製作所	86
(13) コンテナ環境構築・運用サービス/株式会社日立製作所	88
(14) 日立 データセンターサービス/株式会社日立製作所	90
(15) WisePoint8/ファルコンシステムコンサルティング株式会社	92
(16) さくらのVPS/さくらインターネット株式会社	94
(17) さくらのクラウド/さくらインターネット株式会社	96
(18) さくらの専用サーバ PHY (ファイ) /さくらインターネット株式会社	98
(19) SINET 接続サービス/さくらインターネット株式会社	100

5. その他ソリューション

(1) IT 資産管理/セキュリティ管理 ASSETBASE/株式会社内田洋行	104
(2) ソフトウェア配布提供システム Download Station/株式会社内田洋行	106
(3) Microsoft Office 学割特別プラン U365/株式会社内田洋行	108

6. 大学向けクラウドソリューション比較表

7. 大学におけるクラウド導入事例

(1) サウスカロライナ大学/ServiceNow Japan 合同会社	123
(2) サンフランシスコ大学/ServiceNow Japan 合同会社	124
(3) ヴェスタン・ガバナーズ大学/ServiceNow Japan 合同会社	125
(4) 流通経済大学/さくらインターネット株式会社	126
(5) 近畿大学/ Nutanix Japan 合同会社	128
(6) 慶応義塾大学/ Nutanix Japan 合同会社	130
(7) 京都外語大学/ Nutanix Japan 合同会社	132

8. クラウドプロバイダ紹介

(1) Nutanix Japan 合同会社	136
(2) ServiceNow Japan 合同会社	138
(3) 株式会社内田洋行	140
(4) さくらインターネット株式会社	142
企業別索引	144
大学 ICT 推進協議会クラウド部会の歩み	146
大学 ICT 推進協議会クラウド部会 ご入会のご案内	148

特集

大学 DX 支援の事例紹介

DX は広がりを見せ、企業だけではなく教育研究機関においても推進がはじまってきています。本特集では実際の事例を取り上げています。

大学 ICT 推進協議会では、目まぐるしく変わる ICT テクノロジーの中、今後の大学における情報環境の整備のあり方に関する提言を行うため、大学デジタルトランスフォーメーション・タスクフォースを 2020 年 3 月に設置し 2020 年 12 月 10 日には提言を行っています。

新型コロナウイルスへの対策として大学運営における ICT への依存が急速に高まり大学における DX が本格的に始まろうとしている中で、これまでの情報環境整備の限界を乗り越えるためのパラダイムシフトが必要とされています。

本特集では、

ServiceNow Japan 合同会社様

グーグル・クラウド・ジャパン合同会社様

2 社における実際の事例を取り上げています。各大学、研究機関における参考となれば幸いです。

ServiceNow 様事例

お客様名：沖縄科学技術大学院大学（OIST）

概要：教職員と学生の増加に伴い問い合わせが急増し、IT サポート業務を圧迫していた。ワークフローの自動化や検索性を強化する ServiceNow のクラウドサービスの導入により、問い合わせ対応時間の短縮や申請プロセスの標準化・効率化が実現でき、IT 全体のオペレーションが著しく改善された。さらに、大学全体の業務プロセスの標準化や効率化を目指すべく、他の事務管理部門へ横展開している。

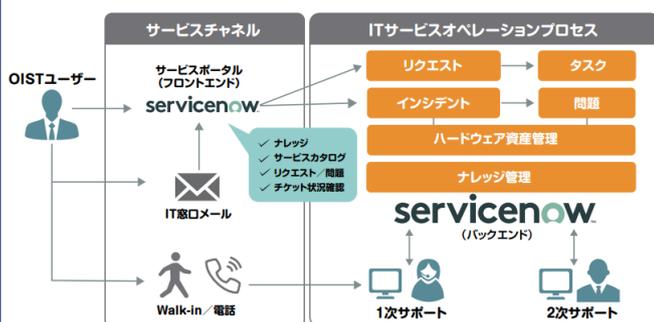
問題点：

- 2011 年の設立以降、教職員や学生の増加に伴い IT システムに対する問い合わせが急増し、IT サービスデスクは慢性的な人手不足に陥っていた。
- チケット管理とポータルサイトのシステム連携がない、検索機能が実用的ではないなど効率が悪く、蓄積されたナレッジも活かせていなかった。
- 新たな研究棟の運用開始が差し迫っており、大幅にユーザー数が増えることによる問い合わせ件数の増加に備える必要があった。

解決策、結果など：

- 導入目的を「問い合わせ件数の削減」「問い合わせ対応時間の削減」に絞り、有益かつ最新のナレッジを提供し、ユーザーがトラブルを自己解決できる環境を強化し、サービスやサポートのプロセスを標準化・自動化して業務を効率化することを目指した。
- 基盤として ServiceNow IT Service Management (ITSM) を導入。問い合わせ件数は減少し（コロナ禍前）、1 件あたりの平均解決時間も約 60 時間から 20 時間へと約 1/3 に短縮した。

当サービスは学内の問い合わせ業務や申請業務を行っている全ての事務管理部門にとって適用可能なため、あらゆる部門へ横展開していく考え。2020 年 12 月に、IT 部門以外で初となる財務部への運用を開始した。



ServiceNow 導入後の OIST の IT オペレーションとサービスポータルのトップページ

本お客様事例は、学術情報処理研究 No.25 沖縄科学技術大学院大学 IT ディビジョン 松浦孝紀氏「沖縄科学技術大学院大学におけるデジタルトランスフォーメーション推進」をもとに ServiceNow Japan にて作成しました。

お問い合わせ先： ServiceNow Japan 合同会社 学術・研究機関担当 阿部 (yuta.abe@servicenow.com)

ServiceNow 様事例

お客様名：広島大学 DX 人材育成を目的とした「NextGen プログラム」で特別教育プログラム提供

概要：広島大学の学生向けに、DX 人材育成のための特別教育プログラム「NextGen プログラム」を提供した。これまでに欧州を中心に、コーク工科大学（アイルランド）、アンスバッハ単科大学（ドイツ）、ミュンヘン工科大学（ドイツ）などで実施してきたプログラムであり、今回、広島大学 情報メディア教育研究センターが窓口となり、国内初展開となった。



NextGen プログラムとは：

- 次世代の人材に必要なデジタル、ビジネス、およびリーダーシップのスキル開発および育成を行い、新卒採用時から即戦力となることを目的とする無償プログラム。パートナーエコシステムの拡大のため、ServiceNow のスキルを持った新たな人材の確保を目指し、参加者の就職を支援する。
- NextGen アカデミックプログラムは、大学と連携して、学生に実社会のシナリオを提供し、企業で働くことを事前に体験する場を提供し、学生が即戦力として活躍することを支援する。これまでに世界 17 か国、約 5,600 人の受講者がおり、世界中の学生が ServiceNow の No/Low-Code 開発スキルを学び、様々な実用性の高いアプリを開発している。

実施の背景と内容：

- 広島大学と同大学が所在する東広島市とが一体となり、持続可能で魅力的なまちづくり（Town & Gown 構想）と積極的な DX 人材育成に取り組まれていたことから協議をスタート。
- 広島大学の学生 14 名に、2021 年 6 月から約 3 か月にわたり、技術トレーニングから実践まで 4 ステップを提供。プログラムは、既存の NextGen プログラムをベースに、広島大学が DX 人材育成に必要なと考えるコンテンツを組み込むなど共同で作成し、特に実業務を学習する目的でインターンシップ機会の創出を大切にしている。
- インターンシップ協力自治体・企業様：株式会社 NTT データ、株式会社協和エクシオ、DXC テクノロジー・ジャパン、日本電気株式会社、ネットワンシステムズ株式会社、東広島市、株式会社日立ソリューションズ、富士通株式会社。

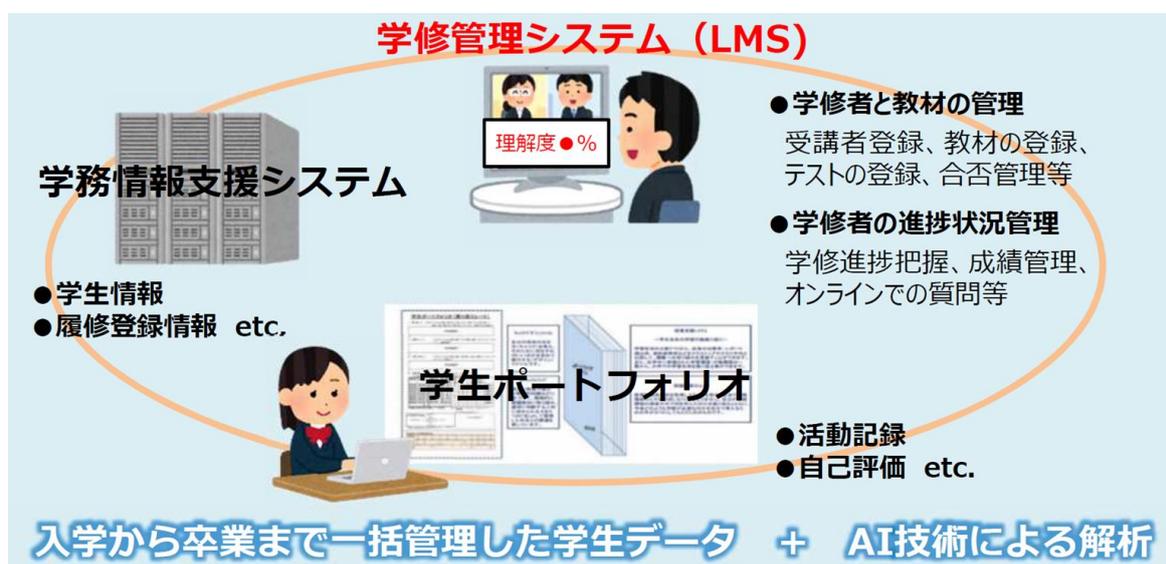
お問い合わせ先：ServiceNow Japan 合同会社 学術・研究機関担当 阿部 (yuta.abe@servicenow.com)

デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン

文部科学省が掲げる取組例「学修者本位の教育の実現」に向けた採択について

文科省「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」の取組例「学修者本位の教育の実現」を受けて、広島大学様には**当社のソリューション**を採択頂きました。

学修者本位の教育の実現とは、大学・短期大学・高等専門学校において、デジタルを活用した教育の先導的なモデルとなる取組を推進するため、デジタル技術活用に必要な環境整備費を支援する制度です。広島大学様は、**10年後のデジタル技術を活用した教育・研究等のあり方**を見据えており、教育・学習データの活用と教育コンテンツのデジタル化を掲げ「次世代オンライン学習支援システム」の導入に至りました。



Google Cloud 上で安定した LMS の運用を実現

膨大な学習データを蓄積/分析可能なデータウェアハウス機能の実現

広島大学様と日本コムシス社がパブリッククラウド上にオープンソースの LMS (Learning Management System) を導入し、大学様の学生システムと連携させるシステム、および学習データのためのデータウェアハウス機能を構築するプロジェクトが開始いたしました。

広島大学様においては、対面/オンライン双方の授業実施の方針を掲げており、実現のためには安定した LMS の運用が不可欠でありました。

さらに、学習履歴の分析による教育の高度化を目指すため、大量の学習データを蓄積/分析することができるデータウェアハウス機能も必要でした。

当社は広島大学様のご要望にお応えするため、信頼性や可用性が高く、さらに優れたデータウェアハウス機能を有する「Google Cloud」を採用することで、安定した LMS の運用を実現させました。

Google 様事例

Google Cloud 導入の背景

クラウド基盤の選定にあたり、信頼性や安全性、利便性、コストなどの観点を総合的に検討致しました。Google Cloud は、「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度(ISMAP)」において、いち早く評価を受けております。また、次期学術情報ネットワークである、「SINET6」への移行にも対応しています。

非常に重要なセキュリティの観点において、主要なインターネットサービスを保護してきた Google の経験が活かされた強力なセキュリティサービスにより、様々な攻撃や脅威から大切な資産を保護することが可能です。

データウェアハウス機能については、サーバーレスでスケーラビリティに優れた、Google Cloud が提供するデータウェアハウス「BigQuery™」を利用することで、他社サービスと比較して**高速なデータ解析処理が可能**であることも魅力的なポイントの一つです。

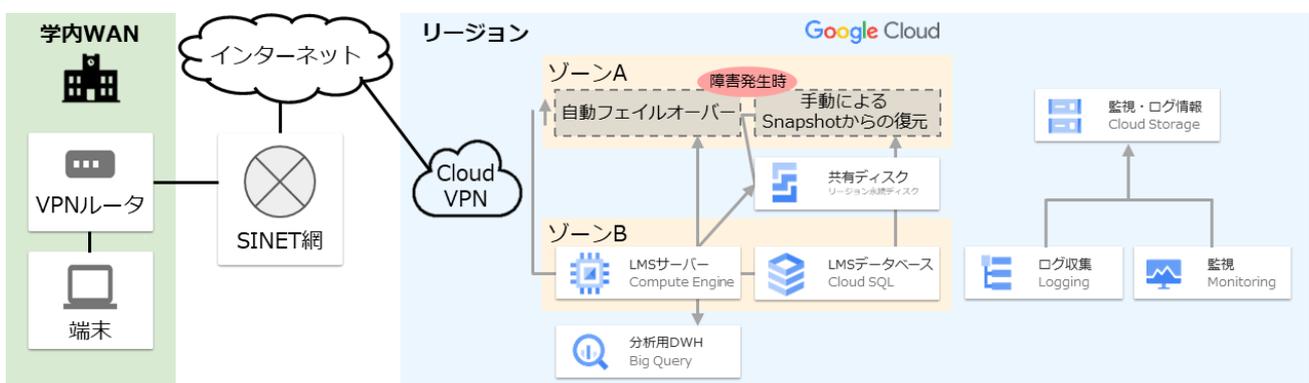
統合 API においては、他社サービスに比べ多くの機能を提供しており、**優れた可視性や管理性**を有しているという特徴があります。

コスト面においては、他社のクラウドサービスでは従量課金が一般的である中、Google Cloud 独自の**定額課金制度**(サブスクリプションアグリーメント)も選択することが可能です。通信量が増加しても定額であることから、月額費用も分かりやすく、他社と比較してコストパフォーマンスが高いサービスを提案できると判断しました。

以上の観点などから、**学修者様の大切なデータを安全に保護可能**であり、**多くの優れた機能を有する**

Google Cloud を採用致しました。日本コムシス社は、Google Cloud パートナーとして、クラウド構築の提案から設計や開発、稼働開始後の運用保守までを、トータルソリューションでご提供しております。

システム構成イメージ (広島大学様の例)



1. 教育支援系ソリューション

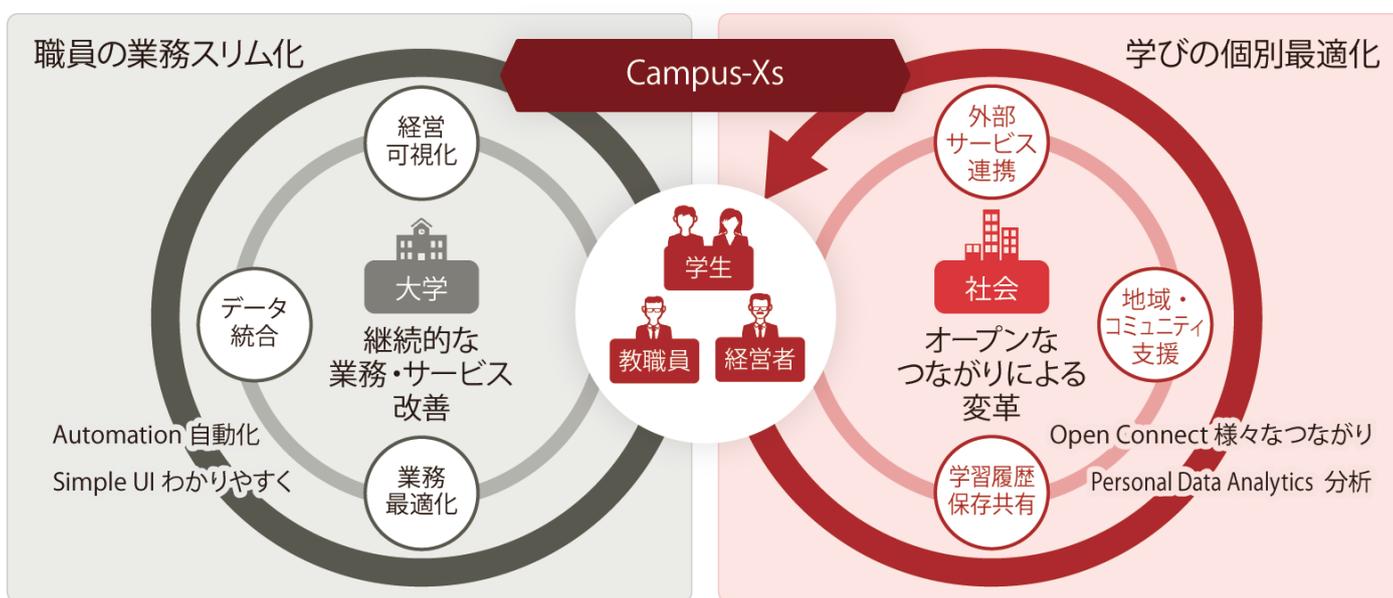
製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション Campus-Xs
提供企業名	富士通 Japan 株式会社
紹介サイト URL	https://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/education/campus/business/campus-xs/

■製品サービスの特長

■製品コンセプト

Campus-Xs は、教職員の業務負荷を大幅にスリム化し、学修者には一人ひとりに最適な学びやサービス提供が可能。得られた収集データは経営判断に役立ち、社内外の多様なサービスと連携することで、変化の激しい時代に対応できる価値創出を支援します。

Shifting to Learner-Centric with you



Sustainable Service 継続性

■Campus-Xsの特長

大学基幹業務を完全クラウド化



継続的に利用できるサービスを実現し、安心安全、運用負担の少ない利用環境を提供

問合せゼロを目指したUI/UX



初めて使うユーザーも直感的に利用できる操作性を意識し、フラットデザインを採用

スムーズな授業運営



全学的な教育基盤として授業前後・授業中をトータルに支援する学修支援機能を提供

製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション Campus-Xs		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 (ハイブリッド)	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	大学事務・学修支援パッケージは、大学を中心に全国 100 以上のユーザーにて稼働中		
費用	トライアル：無し、課金：定額制 ※ 学生数や利用する機能によって料金等が異なります。詳細については、別途お問い合わせください。		
利用条件	特にありません		
支払方法	月次または年次請求の後払、支払方法：振込、支払通貨：円		
販売代理店	無、有（代理店名：富士通パートナー各社		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（契約書）	利用開始までの期間	別途ご相談
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：サービス仕様書にて記載）		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	営業日 9:00～17:00
コンタクト方法	メール・今後 Web サイトを予定	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	月 2 回 夜間	サービス停止の通知	状況に応じて事前通知
ログの開示	有・無 (※条件 ())	第三者認証取得状況	情報セキュリティ認証 P マーク、ISMS
問合せ先	企業名：富士通 Japan 株式会社 部署名：お客様総合センター 担当者・	電話番号：0120-835-554 FAX 番号： Mail：	

製品・サービス名称	codemari クラウドサービス
提供企業名	株式会社内田洋行
紹介サイト URL	https://www.uchida.co.jp/codemari/

■製品サービスの特長

複雑なAV機器を「タブレット端末」や声で、楽々操作。

スクリーンやプロジェクター、照明やスピーカーなど、さまざまな機器が装備された空間では、複数の機器を扱うための知識が必要です。その複数の機器を、「タブレット端末」や声で操作するためのWEBアプリケーションソフトがcodemari(コデマリ)です。タブレット端末が1台あれば機器操作が苦手な人も、タブレット端末を使ってドラッグ&ドロップで直感的に操作できたり、声で指示するだけで簡単に操作できます。



▼codemari の特長

環境をワンタッチで構築。リモコンいらずで調整も自由自在!

必要な機器の起動・セットアップをボタン1つで行えます。映像、音声、照明の調整を全てタブレット端末で操作でき、声による操作も可能です。

ネットワーク経由で遠隔操作

ネットワークを通して、室内からはもちろん、離れた準備室からでも事前準備や操作ができます。

全部屋の稼働状況の確認、利用実態の把握が可能!

管理者は、部屋の一覧で稼働状況の確認と遠隔サポートが容易に行えます。また、操作ログを閲覧でき、部屋の利用実態の把握ができます。

コデマリからビルの照明・空調設備の制御が可能

講義・プレゼン中でも部屋の状態を正確に把握でき、部屋の中を快適な(生産性の高い)状態に維持できます。

英語、中国語表示への対応

ブラウザの使用言語の設定に合わせて日本語、英語、中国語に切り替えて表示します。ユーザーにとって身近な言語で操作できます。

▼主な操作

①かんたん設定
各機器をあらかじめ設定した状態に準備します。②～⑧で設定可能な各機能を一括でセットアップします。

②映像設定
プロジェクターで投影したりディスプレイに表示する映像を指定して切り替えます。

③サウンド設定
スピーカーの音源切替、音量のUP/DOWNやミュートを行います。

④照明設定
照明のON/OFF、照度の調節を行います。あらかじめ設定した状態を指定して一括で変更することもできます。

⑤プロジェクター制御
プロジェクターの電源ON/OFF、入力切替、映像ミュートを行います。

⑥スクリーン昇降
電動スクリーンの昇降を行います。

⑦パソコン電源制御
教室内のパソコン電源ON/OFFを一括で管理できます。

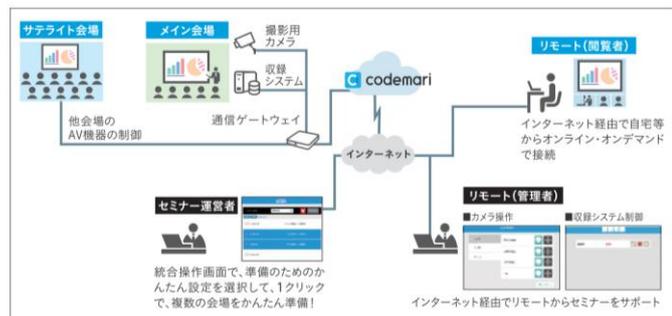
⑧空調設定
空調の設定を行います。部屋の温度、CO₂濃度の状況も把握できます。

柔軟な画面構成が可能
お客様の導入機器や使い方に合わせて、画面内のアイコンや文言などの設定変更が行えます。
※機器の変更・追加については、事前にお問い合わせください。

操作一覧
操作する項目を選びます。お客様の使い方にあわせた専用の操作画面をご用意します。映像切替、音量調節、電源制御、スクリーン昇降、照明制御、かんたん設定など。

▼ハイフレックス授業の実施もより簡単に!

複数教室の機材の準備や切替、収録の開始・停止を1つのボタンで



▼稼働状況の確認や操作履歴を分析



全体状況の把握を簡単に

部屋の一覧で稼働状態を一目で確認でき、一覧から各部屋の操作画面へ移行し、遠隔サポートも容易に行えます。

運用実績に基づいた改善検討

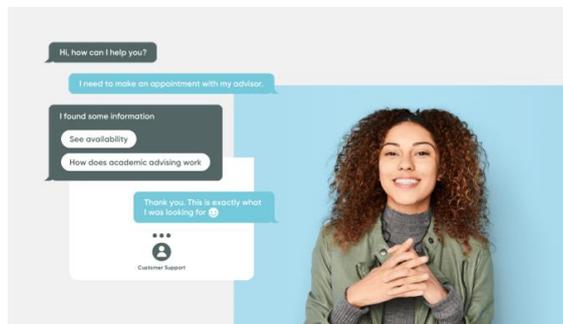
操作履歴を帳票やグラフや状態遷移図で確認でき、期間で区切って導入後のICT機器の利用状況を評価できます。全体的な傾向や部屋間の比較を行うことで、相対的に評価でき、使われていない部屋のICT機器の利用を促したり、他の部屋に移設する等、将来の改善方法を検討することができます。

製品・サービス名称	codemari クラウドサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名 () 大学数（非公開）校：利用大学名 ()		
費用	導入時の初期設定費用、毎月の利用料（定額）が発生します。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	月次／年次請求、前払		
販売代理店	有（代理店名： ()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	利用開始までの期間	注文後 1.5 か月程度
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ()		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 ()	目標稼働率	有・無・その他（非公開 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日 9：00-17：00	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ()	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：ICT プロダクト企画部 担当者：太田 裕士	電話番号：03-5634-6209 FAX 番号：03-5634-6831 Mail： otahiroshi@uchida.co.jp	

製品・サービス名称	Now Platform for コネクテッドキャンパス
提供企業名	ServiceNow Japan 合同会社
紹介サイト URL	https://www.servicenow.co.jp/solutions/industry/education.html

■製品サービスの特長

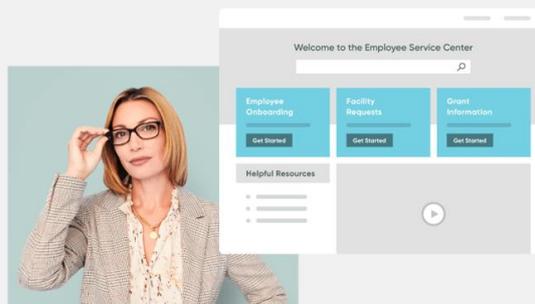
キャンパス全体に柔軟にスケールできるポータルを SaaS で構築



学生たちのエクスペリエンス向上

学生たちが、必要なサポートを必要な方法で簡単に受けられるようになります。要求を予測し、デジタルワークフローを利用して、プロセスをカスタマイズできます。

ひとつのプラットフォームとスマホアプリのようなUXを通じて、本の購入から寮のルームサービスのリクエストまで、あらゆることができます。



教職員を支援

頻繁に実行する管理タスクを簡素化し、教員が学生に集中できるようにします。人事とバックエンドのプロセスを統合して効率化します。

AIの活用による自動化を通じて、更新、プロモーション、雇用資格、および福利厚生者のエクスペリエンスをより予測可能にすることで、専任および非常勤の教員を支援します。



ITの生産性を向上

ITチームはデジタルワークフローを活用して部門のサイロを分解し、定型的なタスクを自動化できます。業務を迅速化し、運用コストと管理作業の負担を軽減します。

これにより、サービス管理を向上させながら、スタッフがより高いレベルのタスクに集中できるようになります。



キャンパスの安全を確保

学生とスタッフ双方を、オンラインでもオフラインでも保護します。キャンパス全体の脆弱性とリスクに未然に対処します。最新のリスク管理とコンプライアンスの実践により、安心感を与えます。

管理者は、大学機関が脅威や脆弱性などから保護するためのセキュリティのベストプラクティスに従っていることを絶えずチェックできます。

キャンパス全体のポータルサイトをシングルポイントの窓口にした「コネクテッドキャンパス」の実現

- SaaS 製品であり、ご利用までに要する期間は実績値で3か月間です。
- 専門的な知識を持っていなくても、ノーコード・ローコード開発で利用可能です。
- 情報システム部門などから、小規模からの導入が可能です。

製品・サービス名称	Now Platform for コネクテッドキャンパス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名 () 大学数（非公開）校：利用大学名 ()		
費用	下記問合せ先までお問い合わせください（料金、無償で利用できるインスタンスの提供等）。		
利用条件	最低利用期間 1 年、その他詳細につきましては下記問合せ先までお問い合わせください。		
支払方法	年次請求、前払、振込、日本円にてお支払いいただきます。		
販売代理店	無、有（代理店名：日本におけるパートナー企業様のリスト https://bit.ly/3bQLar2 ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	利用開始までの期間	翌営業日～数営業日
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：稼働率 99.8%、RTO 2 時間、RPO 1 時間等）		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 365 日	QA 対応時間帯	平日 9:00-17:00 ※英語対応は 24 時間 365 日
コンタクト方法	電話・メール・ その他（カスタマーポータル）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	原則お客様と協議の上で実施
ログの開示	有・無（※条件 ()	第三者認証取得状況	ISO 27017 27001 27018 / 27701 (PIMS) / SSAE 18 SOC 1, SOC 2 レポート / FedRAMP / DoD 影響度レベル 4 認定 他多数
問合せ先	企業名：ServiceNow Japan 合同会社 部署名：インサイド営業本部 担当者：阿部 裕太	電話番号：03-4572-1965 FAX 番号： Mail： yuta.abe@servicenow.com	

2. 研究支援系ソリューション

製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション Ufinity 研究者業績サービス
提供企業名	富士通 Japan 株式会社
紹介サイト URL	http://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/education/campus/management/research/

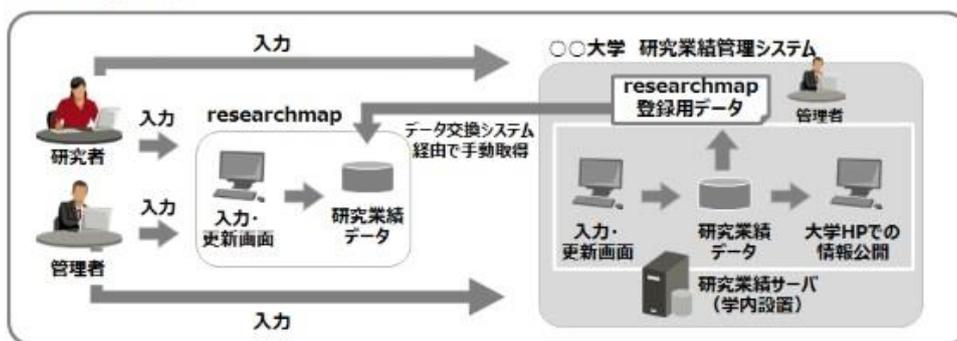
■製品サービスの特長

【製品の概要】

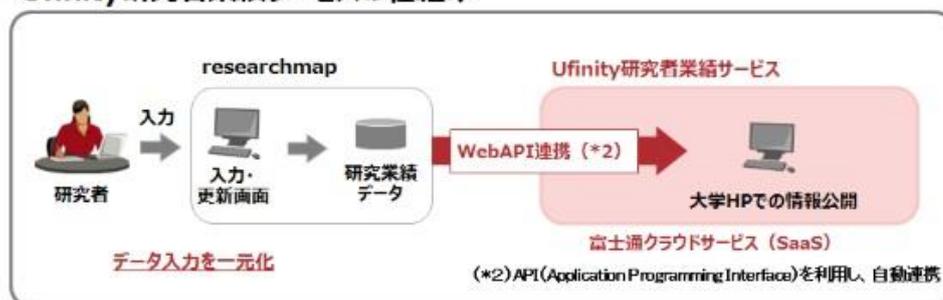
「Ufinity 研究者業績サービス」は、「researchmap」(注)に登録されている研究者の業績情報を活用した、大学ごとに研究者の研究業績が公開可能な SaaS 型サービスです。

本サービスにより、大学は、独自の研究者業績データベースの構築や運用が不要になります。

従来の仕組み



Ufinity研究者業績サービスの仕組み



(注) 国立情報学研究所が開発し、独立行政法人科学技術振興機構が運営する、26 万件におよぶ研究者の研究業績情報が登録された国内最大のデータベース。

【製品の特長】

- 富士通データセンターでサーバ管理する安全・安心な SaaS サービスです
 - データベースは researchmap を活用。独自にデータベースを用意する必要なく、すぐにサービスを開始することができます。
 - サーバ等のシステムは当社データセンターにて一元管理し、防犯・防災などのセキュリティ対策や日々のデータバックアップも万全です。大学様毎にサーバを購入する必要がありません。
- 日本最大の研究者情報データベース「researchmap」を活用
 - データは既に researchmap に用意されていますので、すぐにサービスを利用できます。独自のデータベースのように情報更新のつど、同期を取る必要はありません。
- 大学専用の閲覧サイトをご用意します
 - 大学様に合わせた学部、学科、研究分野別など多様な検索ページ・一覧表示設定が可能です。デザイン、レイアウトも大学様に合わせブラウザ上で自由に変更できるように複数パターンをご用意しております。

製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション Ufinity 研究者業績サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 () 社：利用企業名 () 大学数 (10) 校：利用大学名 ()		
費用	トライアル：無、課金体系：定額制、割引プラン：なし		
利用条件	利用対象：researchmapに登録している大学及び研究機関		
支払方法	月次または年次請求の後払、支払方法：振込、支払通貨：円		
販売代理店	無、有 (代理店名：富士通パートナー各社)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (契約書)	利用開始までの期間	別途ご相談
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容：)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (対象外)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定 (対象外)
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	営業日 9:00~17:00	QA 対応時間帯	営業日 9:00~17:00
コンタクト方法	Web サイト	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	月 2 回 夜間	サービス停止の通知	3 ヶ月前に通知
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	情報セキュリティ認証 P マーク
問合せ先	企業名：富士通 Japan 株式会社 部署名：お客様総合センター 担当者：	電話番号：0120-835-554 FAX 番号： Mail：	

製品・サービス名称	Hitachi Visual Inspection Application / AI 画像認識アプリケーションプラットフォーム
提供企業名	株式会社 日立製作所
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/visual-inspection-application/

■製品サービスの特長

AI 活用プロジェクトを PoC で終わらせない

目視検査工程への AI 活用プロジェクト、PoC で終わっていませんか？

製造現場での製品品質の向上、人手不足の解消、検査技術の伝承の観点で、目視検査工程への AI の活用が注目されています。一方、PoC にて優れた AI 画像認識エンジンができたとしても、高度に自動化された製造現場のシステムに組み込むためには、システムの立ち上げが困難だったり、AI エンジンやデバイスとの接続が必要だったりするなど、さまざまな課題があることがわかってきました。

Hitachi Visual Inspection Application（以下、HVIA）は、AI を活用した目視検査工程の本番システム構築や運用管理を低コストかつスムーズに行えるように設計されたアプリケーションプラットフォームです。

HVIA の特長

PoV／本番環境の構築工数を最適にする HVIA の特長をご紹介します。

特長 1：さまざまな AI エンジンがえらべる

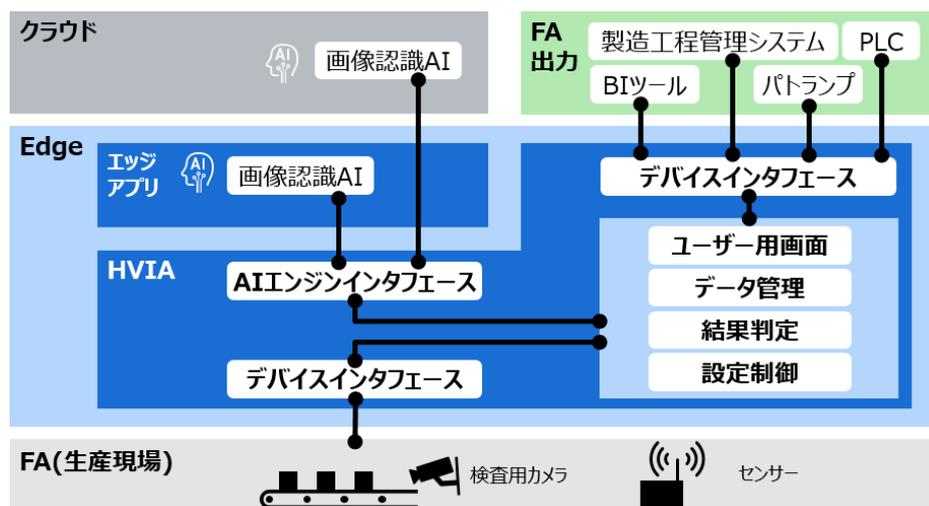
オリジナルで作成した AI エンジン、クラウドで提供される AI エンジンと連携が可能です。また日立が用意したエンジンをお使いいただくオプションもございます。加えて、システム稼働開始後の学習・追加学習も容易にできます。

特長 2：さまざまなデバイス・システムとつながる

画像認識 AI のシステムに欠かせない、画像入力用の各社カメラ接続に対応しています。また、出力先として、PLC、パトランプなどの制御系デバイスや、製造工程管理システムや BI ツールとの接続に対応可能です。

特長 3：システム立ち上げがかんたん

ユーザー用画面、AI 用データ管理、結果判定機能、デバイスインターフェース、AI エンジンインターフェースなど、お客さまの目視検査工程の業務を遂行するために必要な機能がそろっています。



ユースケース例

- ・学外ユーザが、研究室が作成した AI モデルを実地検証するときのアプリケーションプラットフォームとして。
- ・学外ユーザが、研究室が作成した AI モデルをクラウド上で試すときのアプリケーションプラットフォームとして。

AI : Artificial Intelligence、PoC : Proof of Concept、PoV : Proof of Value、PLC : Programmable Logic Controller

BI : Business Intelligence、FA : Factory Automation

製品・サービス名称	Hitachi Visual Inspection Application / AI 画像認識アプリケーションプラットフォーム		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（非公開） 大学数（非公開）校：利用大学名（非公開）		
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・トライアル：有 ・課金体系：Fee 型、従量制課金の上限設定：有。利用ライセンス毎課金。 ・割引プラン等：学術利用時の割引はお問い合わせください。 		
利用条件	【クラウドの場合】 最低ユーザ数：1、最低利用期間：1年、利用対象の制限：特になし 【製品の場合】 ライセンス形態：利用契約、保守：別売り。初年度から。		
支払方法	四半期毎請求、後払、支払方法：日立営業を通してのお支払い、支払通貨：日本円		
販売代理店	無、有（代理店名：）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	利用開始までの期間	20 営業日
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外（ソフトウェアであり対象外）	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：）		
実績稼働率	有・無・その他（ソフトウェアであり対象外）	目標稼働率	有・無・その他（ソフトウェアであり対象外）
ストレージ	多重化有・無・その他（ソフトウェアであり対象外）	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日 9：00-17：00	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	メール	対応インシデント数	-
計画停止の頻度	ソフトウェアであり対象外	サービス停止の通知	ソフトウェアであり対象外
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	なし
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：エンタープライズプロダクツビジネス推進室 担当者：笠原利春	電話番号：045-881-7161 FAX 番号：- Mail： hpdainquiry@itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	Google Cloud
提供企業名	グーグル・クラウド・ジャパン合同会社
紹介サイト URL	https://cloud.google.com

■製品サービスの特長

あらゆる人に学びの機会をつくるために、Google も日々努力しています。学校、高等教育機関、教育テクノロジー企業のみならず、さまざまな変革をサポートする Google のクラウド ソリューション、学習ツール、手ごろな価格のデバイスについてご紹介します。



また研究、教育、学習を支援するための各種助成プログラムを提供しています。

研究者向け支援プログラム

客員研究員プログラム Google で3ヶ月から1年程度、客員研究員として研究に取り組むことができます	研究者間交流プログラム Google の研究者による外部研究者向けの研究発表、外部研究者によるGoogle社員向けの研究発表を定期的で開催しています	若手研究者向け支援 世界で活躍する若手研究者向けに資金援助を行うプログラムです。博士号取得後7年以内の教員の方が対象となります	教学術会議スポンサー Google の研究者からの推薦に基づいて、国内・国際を問わず学術会議のスポンサーシップを行っています
---	--	---	--

研究基盤支援プログラム

Google Cloud Platform

教員及び博士課程学生向けのGCPの計算機リソースを提供しています。教員の方は\$5,000米ドル、博士学生の方は\$1,000米ドルまで利用可能です

Diversity, Equity and Inclusion

インクルージョン研究支援

女性・障害者などテクノロジー業界に馴染みが薄い方々のニーズにこたえる研究(AIの公平性・アクセシビリティ・教育など)への支援を行っています

ダイバーシティ促進支援

女子学生などコンピューターサイエンス(CS)分野に馴染みが薄い学生にCS研究に親んでもらうためのワークショップを支援しています

Google 10

教職員向けプログラム

自習コース向けクレジット 対象 任意に選択した Qwiklabs コースもしくは Google Cloud クレジットを提供	クラウド授業開催用マテリアルの提供 学生指導用の無償プレビルド授業マテリアル 40 時間カリキュラム	コーチング キャリア形成のための16週間無償自習プログラム 取得資格は就職活動に活用
---	--	---

研究者向けプログラム

研究リソースクレジット 提案書が採択された場合 最大 \$5,000 の Google Cloud クレジットを提供	オンライントレーニング 任意に選択した Qwiklabs コースへクレジットを提供
研究者コミュニティ ラボや授業で Google Cloud を使用している同僚や研究者のコミュニティにご参加下さい。Google Cloud クレジットを受け取り、承認を受けた研究者だけが参加できます。	リサーチイノベーター Google Cloud で科学的ブレイクスルーに取り組んでいる研究者の世界的なコミュニティにお申し込みください。研究イノベーターは、専門能力の開発やその他のメリットを活用できます。

製品・サービス名称	Google Cloud		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（右 URL 参照： https://cloud.google.com/customers?hl=ja#/industries=%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E3%80%81%E6%99%E8%82%B2 ） 大学数（非公開）校：利用大学名（東京大学, 国立極地研究所 など）		
費用	初期費用 0 円、ご利用いただくサービスにより異なります		
利用条件	最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません		
支払方法	当月末締翌月払、いくつかのお支払い方法を選択いただくことが可能です。詳細はお問い合わせください		
販売代理店	無、有（代理店名： https://cloud.google.com/partners ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外（複数拠点）	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：サービスによって異なります。詳細はお問い合わせください）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (2022 年 1 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	ご契約により異なります	QA 対応時間帯	ご契約により異なります
コンタクト方法	ご契約により異なります	対応インシデント数	ご契約により異なります
計画停止の頻度	なし	サービス停止の通知	サービスにより異なります
ログの開示	サービスにより異なります	第三者認証取得状況	https://cloud.google.com/security/compliance
問合せ先	企業名：グーグル・クラウド・ジャパン合同会社 部署名：パブリックセクター本部 担当者：非公開 以下の URL よりお問い合わせをお願いいたします https://cloud.google.com/contact	電話番号：非公開 FAX 番号：非公開 Mail：非公開	

製品・サービス名称	さくらのセキュアモバイルコネクト
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://www.sakura.ad.jp/services/sim/

■製品サービスの特長

さくらのセキュアモバイルコネクトは、高セキュアな閉域型ネットワークを提供する IoT 向けプラットフォームです。ネットワーク通信速度制限を設けず、非常に安価で快適な通信を実現しました。

セキュアモバイルコネクトの特長



強固なセキュリティ

SIMからさくらのネットワークまでインターネットを経由せず閉域網で接続可能。



通信速度制限なし

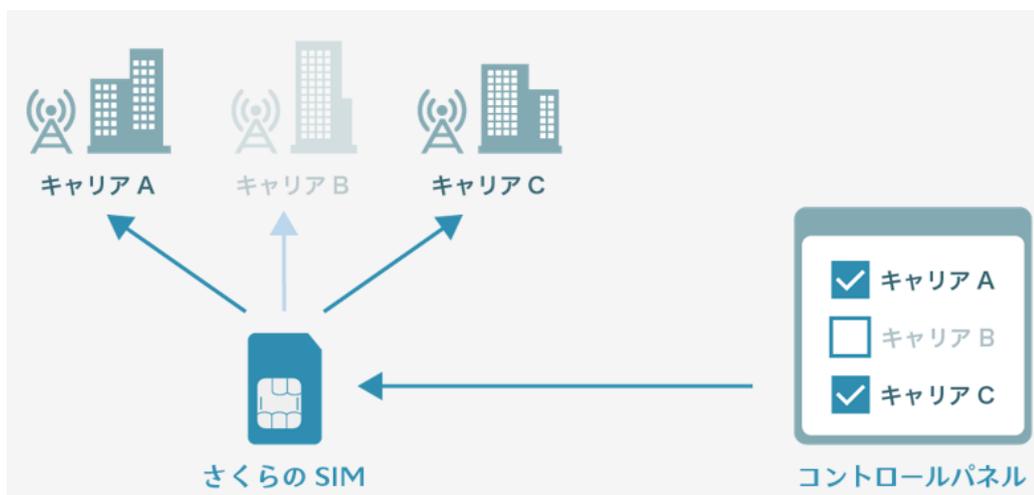
一般的なSIMのように容量による通信制限がかかりません（デバイス性能、環境影響は受けます）。



低コストを実現

さくらのネットワークを利用することで通常高額なモバイルゲートウェイ料が低価格に。

1枚のSIMで3キャリアに対応



SIMからさくらのクラウドに直結



お客様の SIM から当社データセンターへ送信したデータは、「さくらのクラウド」をはじめとする当社インターネットインフラサービス、さらにお客様の既存ネットワークへの連携ができます。

製品・サービス名称	さくらのセキュアモバイルコネクト		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/ ） 大学数（非公開）校		
費用	SIM 本体価格 ¥2,200/枚、SIM 基本利用料 ¥13/枚/月、その他モバイルゲートウェイ利用料、通信料が必要		
利用条件	ご利用拘束期間はございません。		
支払方法	当社の他のサービスと同時のご請求、お支払いとなります。 お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有 ()		
■契約			
申込み方法	申込み書・その他（アマゾン）	利用開始までの期間	即日
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ()）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 ()）	目標稼働率	有・無・その他（非公開 ()）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他（Active & Standby）
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10：00-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ()）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	さくらのレンタルサーバ、リセール向けサービス
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://rs.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長

さくらのレンタルサーバ

豊富な Web サーバ機能	CMS の標準機能 (WordPress、XOOPS 等) マルチドメイン対応 アクセスログの保有・解析機能を提供
メールサーバ機能	Web メールを標準提供 POP before SMTP を利用可能 POP3 / APOP / IMAP4 対応
充実したセキュリティ機能	WAF の標準提供 ウイルスチェック機能の標準提供 Web 改ざん検知機能の提供 (オプション) OS やアプリのバージョンアップを弊社が管理
安定した運用・稼働	99.99%以上の稼働実績 DISK の二重化 日次バックアップの取得

さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス

数多くの研究室に存在するサーバを本サービスで集約することにより、情報システム部門の管理者様の運用負荷を軽減することができます。

事業者様向けコントロールパネル	多数のエンドユーザアカウントの管理を簡便に管理できる機能をご提供。 <ul style="list-style-type: none"> ■アカウント管理機能：アカウント一覧確認、登録、削除 / アカウント一括登録 ■サーバモニタリング機能：サーバリソース (CPU / メモリ) のモニタリング / アクティビティ / アカウント収容数 ■お知らせ：メンテナンス・障害情報通知 / 監視情報 ■管理用ユーザ：ユーザ追加・削除 / 特権変更 ■コントロールパネル管理機能：コントロールパネル編集
エンドユーザ向けコントロールパネルのカスタマイズ機能	事業者様ブランドとしてご提供をいただくにあたり、エンドユーザ向けコントロールパネルのカスタマイズ環境をご提供。
レンタルサーバ機能	さくらのレンタルサーバ(ビジネス)の機能をベースにご提供をいたします。また、アカウントのディスク容量変更もご相談いただけます。
サポート体制	多数のアカウント管理のため、事業者様にはスムーズなサポート体制をご提供。

製品・サービス名称	さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ご利用件数 40 万件突破） 大学数（非公開）校：利用大学名（)		
費用	サーバ単位でのご契約となります。 280 アカウント収容サーバの場合、初期費用 15 万円、月額 14 万円となります。		
利用条件	ご利用拘束期間は 3 ヶ月間となります。		
支払方法	標準は当月分を前月 10 日請求、前月末お支払いとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有 ()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	利用開始までの期間	5 営業日
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：)		
実績稼働率	有・無・その他（99.99%以上）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他（SSL)
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10:00～18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： edu-ml@sakura.ad.jp	

3. 事務支援系ソリューション

製品・サービス名称	RoomSense クラウドサービス
提供企業名	株式会社内田洋行
紹介サイト URL	https://office.uchida.co.jp/ict/roomsense/

■製品サービスの特長

RoomSense

グループワークや個人学習を行う席の空き状況やトイレの空き状況、食堂や休憩スペースの混雑状況等を可視化して利便性を向上するシステムです。

- 空いている席を探す、無駄な時間が削減できます。
- 人が密集していない場所を見つけられます。
- 利用履歴を活用し、効率的な施設運用ができます。



01 | 利用状況をセンサーが検知し LEDライトの表示で空きスペースが一目でわかる。

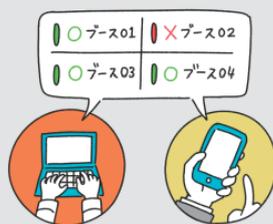
各ブースに設置したセンサーが、人の動きを検知することで、LEDライトの色を切り替えます。



◀LEDライトの色で、ブースの利用状況を瞬時に判断できます。

02 | 離れた場所から Webブラウザを使って、空いている席を簡単に探せる。

PCやスマホのWebブラウザで利用状況を閲覧できるので、離れた場所から利用可能な場所を探せます。



03 | 利用履歴の蓄積から、オープンスペースの稼働率が確認できる。

利用履歴をもとに、稼働率をグラフで確認したり、データをダウンロードして、活用することができます。



◀検索条件で設定した場所や期間で、単位時間毎の稼働率を確認できます。

■仕組み

LEDライト



1 テーブルの天板裏等に設置された人感センサーが人を検知する。

3 検知データを中継機とLEDライトに送る。

RoomSenseサーバー



5 データを利用履歴として保存し、閲覧端末に提供する。



4 センサーから送られたデータを管理サーバーに送る。

閲覧端末



6 管理サーバーにアクセスし、利用状況や利用履歴を確認する。

ラーニング・commons



大学のラーニング・commonsなどに設置すれば、違う校舎やフロアにいてもスマホで空きスペースを確認することができます。

図書館自主学習室



図書館の自主学習席などの空きスペースを見つけることが難しい場所でも、スマホや表示端末で簡単に確認できます。

製品・サービス名称	RoomSense クラウドサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名 () 大学数（非公開）校：利用大学名 ()		
費用	導入時の初期設定費用、毎月の利用料（定額）が発生します。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	※月次／年次請求、前払		
販売代理店	有（代理店名： ()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	利用開始までの期間	注文後 1.5 か月程度
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ()		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 ()	目標稼働率	有・無・その他（非公開 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日：9:00-17:00	QA 対応時間帯	平日 9：00-17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じて実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ()	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：ICT プロダクト企画部 担当者：太田 裕士	電話番号：03-5634-6209 FAX 番号：03-5634-6831 Mail： ootahiroshi@uchida.co.jp	

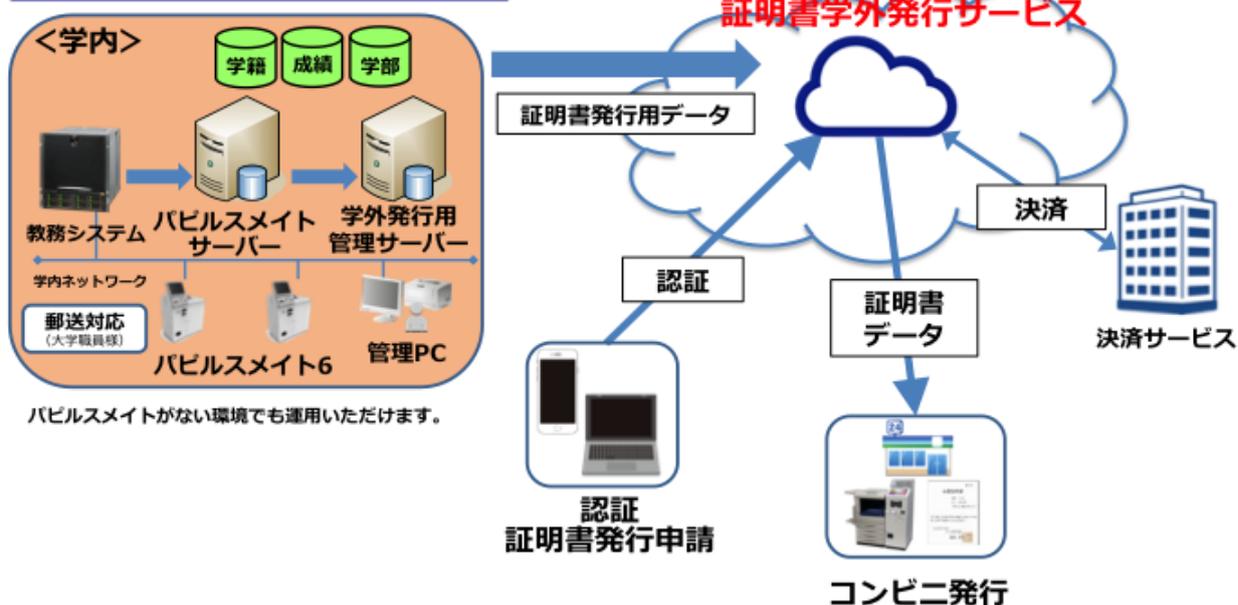
製品・サービス名称	ウチダ証明書学外発行サービス
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	

■製品サービスの特長

証明書発行の新しいステージへ

学外での証明書発行サービスを安全・確実・便利に運用いただけます。

証明書学外発行サービス



■証明書学外発行サービスの概要

これまで、大学に来なくては取得することが出来なかった各種証明書を、帰省時や遠隔地での就職活動時などに、近くのコンビニエンスストアで即時発行することが出来るようになります。2021 年度中に、決済方法および運用を一層便利にする機能を追加、拡充予定です。

1.パピルスメイトとの連携データ仕様をそのままお使いいただけます。

2.決済方法として、コンビニ決済、クレジット決済に対応しています。

3.留学生対応として、利用者画面は日本語と英語に対応しています。

製品・サービス名称	ウチダ証明書学外発行サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ソフトウェア販売）	・パブリック・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他（学生サービス）
■一般事項			
契約実績	法人数（ ）社：利用企業名（ ） 大学数（ 6 ）校：利用大学名（非開示）		
費用	・初期費用：個別見積 ・ランニング費用：個別見積		
利用条件	・最低ユーザ数：設定なし ・最低利用期間：1年間		
支払方法	請求サイクル：応談		
販売代理店	無、有（お問い合わせください）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（利用申込書）	利用開始までの期間	ご契約後 4～6 ヶ月程度
約款の有無	有・無（学生向けの利用約款はあり）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（24h365D。ただし、クラウド事業者および当社のサービスメンテナンス時を除く）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	9:00～17:30	QA 対応時間帯	9:00～23:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有（年に1～2回程度）	サービス停止の通知	2週間前まで
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：ICT リサーチ&開発部門 ディビジョン ICT プロダクト企画部 担当者：安部・河野・榊原	電話番号：03-5634-6209 FAX 番号：03-5634-6831 Mail： papyrus@uchida.co.jp	

製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション iLiswave-J 図書館クラウドシリーズ
提供企業名	富士通 Japan 株式会社
紹介サイト URL	https://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/education/campus/library/

■製品サービスの特長

■製品の概要

電子リソースの台頭により、図書館が扱う学術情報資源が劇的に増大しています。これに伴い、検索ターゲットは複雑化し、利用者が目的の情報を探索することが困難になっています。また、次世代端末の普及やインターネット上の様々な利点を経験することにより、利用者の学習スタイルも変化しています。iLiswave-Jは、こうした環境変化に対応するため、利用者サービス機能をさらに強化いたしました。さらに将来への拡張性も装備。時代のニーズに応えた新しい図書館ソリューションが、図書館の進化をサポートします。

■iLiswave-Jのコンセプト

ホームページとOPACの統合によりサービスを集約

高度な検索機能により資料発見可能性を向上

進化し続ける図書館への仕組みを提供

- ・ 図書、雑誌、電子書籍、電子ジャーナル、機関リポジトリのデータを取り込んでハイブリッド目録データを構築。
- ・ 利用者は大学のOPACにアクセスすることで、求める情報をワンストップで取得。
- ・ パソコンやスマートフォン、タブレットなどマルチアクセスが可能で、スマートフォンアプリやHTML5にも対応。



実績のある最新パッケージをベースに、SaaS形式で提供

■「iLiswave-J 図書館クラウド」が大学様にもたらす価値

期待されているもの

図書館システムの長期利用

クラウドからの学内システム連携

図書館システムの安全運用

もたらす価値

図書館システムに対するのTCO削減

①クラウド選択によるシステム更新業務などからの開放

SaaS型クラウドで提供しながら個別カスタマイズの実現

②クラウドでも個別カスタマイズにより運用継続を実現

さまざまな学内システムとシームレスな連携

③図書館システム全体の運用効率化と拡張性確保

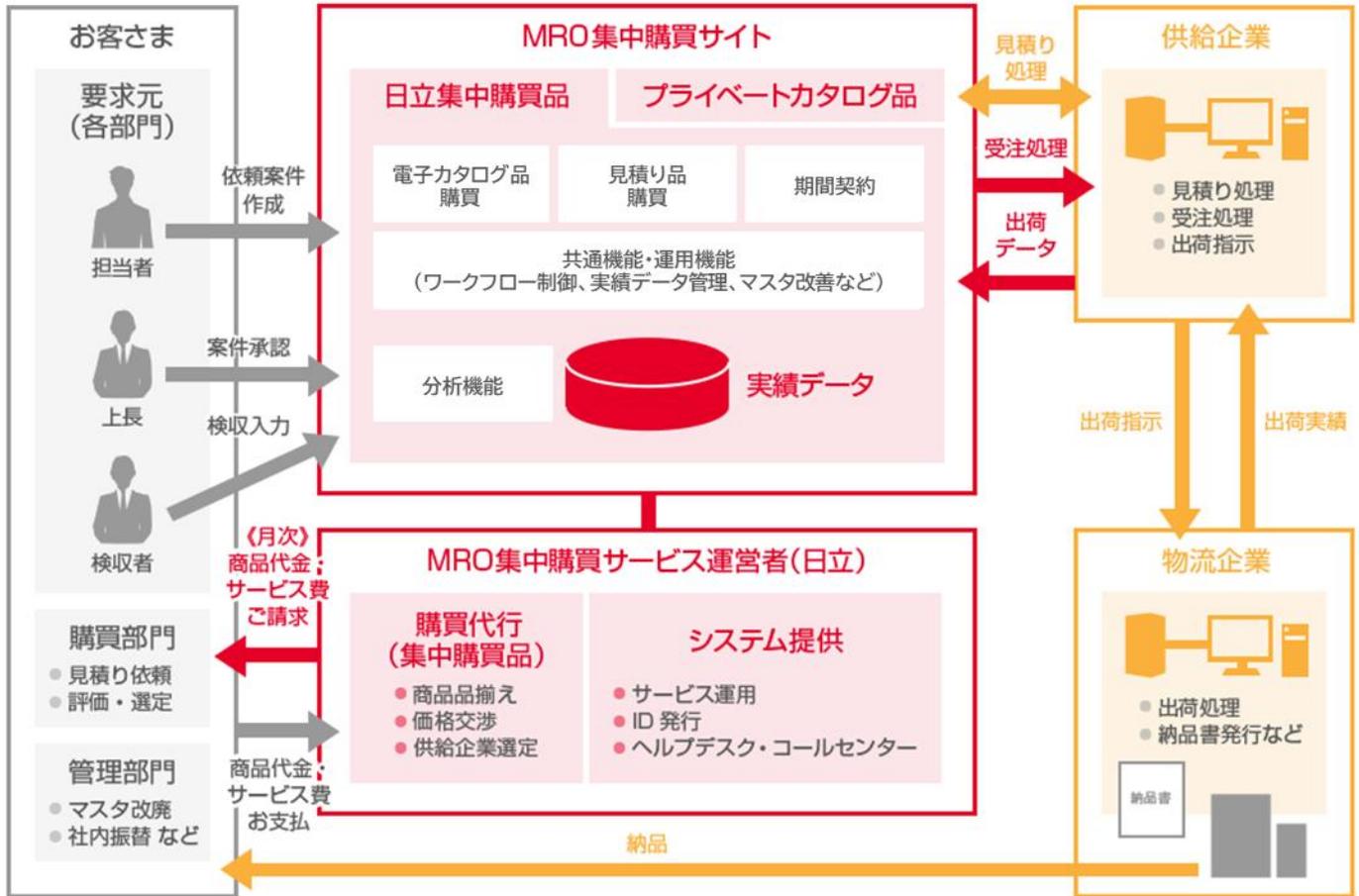
富士通の堅牢で信頼のあるデータセンターを活用

④大規模災害でも図書館サービスの安定稼働の実現

製品・サービス名称	FUJITSU 文教ソリューション iLiswave-J 図書館クラウドシリーズ		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 (ハイブリッド)	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	全国の大学を中心として 120 以上 (クラウド及びオンプレミス環境含め) のユーザーにて稼働中		
費用	トライアル：無し、課金：定額制 ※ スタンダード (S.E.) とエンタープライズ (E.E.) で、機能・料金等が異なります。 詳細については、別途お問い合わせください。		
利用条件	エンタープライズ (E.E.) : SINET に加盟されていること		
支払方法	月次または年次請求の後払、支払方法：振込、支払通貨：円		
販売代理店	無、有 (代理店名：富士通パートナー各社)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (契約書)	利用開始までの期間	別途ご相談
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容：運用データセンターとしては、Tier-III レベルにて運用)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定 (詳細確認の上)
学認対応	対応・未対応・対応予定 (詳細確認の上)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定 (詳細確認の上)
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	営業日 9:00~17:00	QA 対応時間帯	営業日 9:00~17:00
コンタクト方法	Web サイト (個別対応あり)	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	月 1 回 夜間	サービス停止の通知	3ヶ月前に通知
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	情報セキュリティ認証 P マーク、ISMS
問合せ先	企業名：富士通 Japan 株式会社 部署名：お客様総合センター 担当者：	電話番号：0120-835-554 FAX 番号： Mail：	

製品・サービス名称	TWX-21 MRO 集中購買サービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	https://e-sourcing.twx-21.com/mall/index.html?link_id=twx_lid_110225_02

■製品サービスの特長



間接材の購買改革を支援するサービスです。

さまざまな大学/研究機関でのご利用が可能。以下の2タイプにより間接材購買全体の改革を支援いたします。

利用タイプ1：集中購買参加タイプ（購買代行型）

- ・簡単な Web 画面操作で、商品検索、注文作成、承認が可能。他システム(SAP など)との連携も可能です。
- ・これからご利用いただく大学/研究機関とこれまでご利用いただいている一般企業の購入量を集約し、日立が単価交渉、商品選定を行います。継続的な原価低減を実現し、支払いは MRO 集中購買サービスに統一します。

利用タイプ2：システム環境利用タイプ（プライベートカタログ型）

- ・大学/研究機関個別のカタログを掲載し、発注側、受注側の機能を含めた電子取引の環境をご提供します。
- ・多くの利用実績のあるシステム環境のみをご提供します。

製品・サービス名称	TWX-21 MRO 集中購買サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (700) 社 : 利用企業名 (バンドー化学株式会社様、株式会社 IHI 様) 大学数 (非公開) : 利用大学名 (北海道大学様)		
費用	初期費用 : 作業内容に応じて設定。ランニング費用 : データ件数、ユーザ ID 数などに応じて設定。		
利用条件	お客さまの関連業務により異なるため、個別対応になります。詳細は弊社営業までお問い合わせください。		
支払方法	月次・後払、支払方法 (振込)		
販売代理店	無、有 (代理店名 :)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (弊社営業)	利用開始までの期間	2ヶ月～
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 :)		
実績稼働率	有・無・その他 (99.5%以上)	目標稼働率	有・無・その他 (非公表)
ストレージ	多重化有・無・その他 (RAID5)	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 (GUI 対応など)	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00～12:00, 13:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール	対応インシデント数	別途個別見積り
計画停止の頻度	1回/月(第2日曜日)定期保守のため終日停止。メンテナンス・エンハンス・保守作業の停止は、サービスの稼働保証時間外(平日 19:00～翌日 9:00、休日)に実施	サービス停止の通知	計画停止はサービスのホームページに記載、メンテナンス・エンハンス・保守作業による停止は事前に通知
ログの開示	有 (コンテンツ)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、QMS、EMS
問合せ先	企業名 : 株式会社 日立製作所 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 企画グループ 担当者 : 酒匂、荒木	電話番号 : 03-5471-4518 FAX 番号 : 03-5471-4519 Mail : ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	RICOH CHATBOT SERVICE
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://promo.digital.ricoh.com/chatbot/

■製品サービスの特長

学生・受験生・保護者からの問合せに 24時間365日自動対応



紹介ビデオ → <https://www.youtube.com/watch?v=VIRVkNXf550>

専門知識不要で、Excel®だけで手軽にスタートし、だれでも簡単にAIを育てられるチャットボットです。大学用のテンプレートを準備しているため、初めての方でも導入の手間をかけずに利用開始することができます。運用開始後は、グラフィカルで見やすい管理画面で、問合せ傾向や対話内容を確認出来ます。チャット連携にも対応いたしました。

大学の質問や疑問を自動で解決し、問合せ業務の工数削減が図れます

大学への問い合わせは、QRコードをかざすだけでチャットボットが自動で対応します。また、管理画面はグラフィカルで直感的に操作でき、問合せ状況もボタン1つで見える化されています。

QRをかざすだけで Chatbotが動きます

問合せ状況もボタン1つで見える化

問合せ画面イメージ

クリック or 自動立上

“RICOH CHATBOT SERVICE”なら 3STEP でかんたん導入

STEP1

使いなれたExcel®で直ぐに始められます



難しい設定はいっさい不要です。Excel®でQ&Aを作成すれば準備完了。予備知識や面倒なシナリオ作成も要らず、どなたでも簡単に運用が可能です。

STEP2

大学用Q&Aテンプレートを使えば、さらに簡単



大学向けに想定される基本的なQ&Aをまとめたテンプレートをご用意。このテンプレートを利用すれば、わずかな修正・追加だけで導入できます。

STEP3

タグをWebサイトに埋め込むだけで運用開始



Webサイトへのチャットボタン設置も、自動で作られるタグ1行をサイトにコピー＆ペーストするだけで完了。気軽に利用を始められます。

製品・サービス名称	RICOH Chatbot Service		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (200) 社 : 利用企業名 (株式会社快活フロンティア、西武鉄道株式会社、リコーリース) 大学数 (17) 校 : 利用大学名 (学校法人四国大学、国立大学法人埼玉大学)		
費用	トライアル有 (無償 1ヶ月) /初期費用 : 5,000 円/契約ランニング費用 : 月額 18,000 円～		
利用条件	最低利用期間 2 か月		
支払方法	月次/年次請求、支払方法 (振込/その他) ※契約販売店による		
販売代理店	無、有 (代理店名 :)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	利用開始までの期間	5 営業日以内
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (非公開)	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内 海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 : ただし、内部的に SLO を定め、その遵守に向けた品質管理を実施しております。)		
実績稼働率	有・無・その他 (非公開)	目標稼働率	有・無・その他 (非公開)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日 9 時～17 時	QA 対応時間帯	平日 9 時～12 時 13 時～17 時
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	取り決めなし
計画停止の頻度	定め無し。3 週間前に通知	サービス停止の通知	3 週間前、1 週間前通知
ログの開示	有 (無) (有事の際に検討)	第三者認証取得状況	なし
問合せ先	企業名 : リコージャパン株式会社 部署名 : ICT 事業本部 EDW 企画センター トレードエコシステム企画室 EmpoweringMarketing ソリューション企画グループ 担当者 : 三井 清弘	電話番号 : 080-2996-5031 Mail : kiyohiro_mii@jp.ricoh.com	

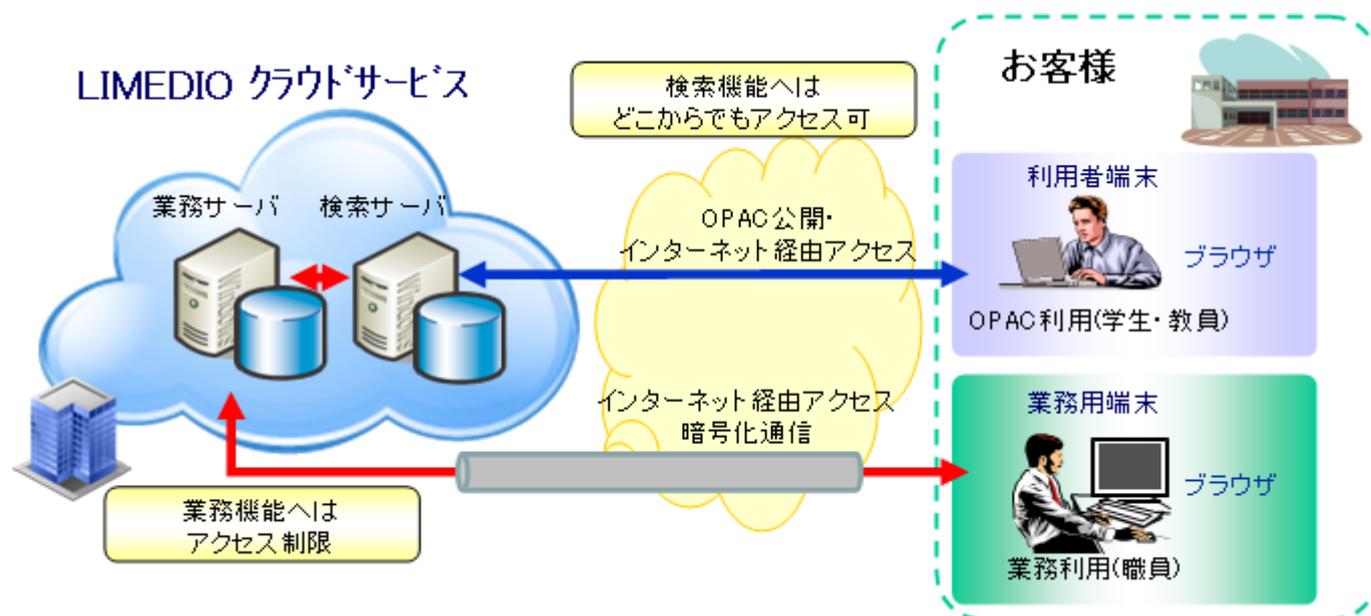
製品・サービス名称	図書館情報管理システム LIMEDIO クラウドサービス
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/limedio/

■製品サービスの特長

1. **トップシェア**に裏付けされた**完成度の高いパッケージシステム**
2. **目的の資料**を**簡単に見つけられる**新しい利用者サービス機能
3. 業務に合わせ**画面や帳票のレイアウト変更**が可能
4. 多くの実績に基づいた**確実なデータ移行**を実現
5. **万全のサポート体制**でシステムの安定運用を支援

25 年以上に渡り、多くのお客様にご愛顧頂いております大学向け図書館システムパッケージの LIMEDIO が 2012 年末よりクラウドサービス提供を開始いたしました。

大学における図書館運用を知り尽くした LIMEDIO の特徴そのままにクラウドサービスのメリットを享受頂けます。



製品・サービス名称	図書館情報システム LIMEDIO クラウドサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック・プライベート ・その他（専用テナント）	・ SaaS ・ PaaS ・ SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	全国大学を中心として 200 以上のユーザーにて稼働中		
費用	お問合せ下さい。		
利用条件	初期費用、運用費にて構成		
支払方法	お問合せ下さい。		
販売代理店	無、有（代理店名： ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（ ）	利用開始までの期間	お打合せにより決定
約款の有無	有・無（ 契約書によります ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ 契約書による ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
適用法規	日本国法・海外法規（ 契約書によります ）	所轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（ SLA 内容：運用データセンターとしては、TierIII レベルにて運用 ）		
実績稼働率	有・無・その他（ ）	目標稼働率	有・無・その他（ ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（ xx 年 xx 月 ）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定（ xx 年 xx 月 ）
学認対応	対応・未対応・対応予定（ 詳細確認の上 ）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定（ 詳細確認の上 ）
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	当社営業日 9:00-18:00	QA 対応時間帯	当社営業日 9:00-18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	契約期間内無制限
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	10 営業日前までに通知
ログの開示	有・無（ ）	第三者認証取得状況	ISMS
問合せ先	企業名：株式会社リコー 部署名：MA 事業部 文教ソリューション営業部	電話番号：050-3817-1084 Mail：limepromo@sdg.mdd.rioh.co.jp	

製品・サービス名称	キャンパス手帳 (ハイブリッド出席管理 / 着席管理 / 授業支援)
提供企業名	リコージャパン株式会社 (開発元：株式会社ドリームネット)
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/service/campustecho

■製品サービスの特長



ハイブリッド型授業での出席管理 でお悩みの先生！

音楽やパスコード使って、**簡単かつ正確に** 出席を**一元管理**します！

キャンパス手帳は、3種類の方式(音楽/ワнтаイムパスコード/レポート課題)を組み合わせ、あらゆる授業の出席を一元管理します。特に音楽方式は、他に類を見ない物です。先生が流す音楽を、学生のスマートフォンで受信する事により、どの様な場所でも、簡単かつ正確に出席を記録します。所要時間は僅か数秒で、授業の進行を妨げません。また出席管理に加えて、対話型授業に役立つ様々な機能も付いており、学生達の理解度向上に貢献します。

まずは 無料 でお試ください！

2022年3月末日まで、全ての機能を無料でお試し頂けます。その後、有償サービスへの自動更新もありません。この機会に、簡単かつ正確な出席管理を、是非ご体感下さい!! (詳細は、次項の問合先まで)

～ 機能紹介 ～

出席管理

対面授業では音楽方式、オンライン授業ではワнтаイムパスワードやレポート課題方式を使って、原則、**全ての授業の出席を取る**事ができます。

着席管理

学生達が座った場所を日々収集し、新型コロナ陽性者が見つかった際、**濃厚接触者と疑われる学生を素早く抽出**します。

NEW

クイック集計

学生の意見を A～D のボタンで収集し、結果をリアルタイムに表示します。**クリッカー同等の機能**を、スマートフォンのアプリで実現します。

ミニテスト

学生のスマートフォンで選択式のテストを実施できます。全てオンラインで行われる為、**配布や回収、採点、集計の手間がかかりません**。また学生は、過去に解いた問題を振り返り、復習する事もできます。

投書箱

授業中に、学生から先生へテキストのメッセージを投書する事ができます。先生が、**学生達から意見やアイデア等を募る**時に、是非お使い下さい。

プッシュ連絡板

プッシュ通知機能を使って、学生達に連絡事項を配信します。既読確認が出来るので、**急な連絡や、学生の呼び出し等**に有用です。



製品・サービス名称	キャンパス手帳 (ハイブリッド出席管理 / 着席管理 / 授業支援)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	大学、専門学校、高校、学習塾、日本語学校 (一部の先生や学部、学年に利用範囲を絞って、ご契約頂く事も出来ます。)		
価格	2022年03月31日まで、無料のトライアル企画を実施中。(翌年度は個別対応。) 価格は教員1人あたり年間3万円。 但し、1人あたり年間5000円まで、段階的に安くなるボリュームディスカウント有り。 【詳細】 https://www.ricoh.co.jp/service/campustecho/price		
利用条件	最低利用教員数1名、最低利用期間1年間		
支払方法	年次請求、支払方法(振込)		
販売代理店	無、有(追加募集中)		
■契約			
申込み方法	申込書	利用開始までの期間	申込受理後、約1週間
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日：9：00～17：00	QA 対応時間帯	平日：9：00～17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	年2回(夏休みと春休みの期間から実施日を決定)	サービス停止の通知	1週間前までに、各校の管理者へメールでご連絡。
ログの開示	有・無(※条件 ())	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名：リコージャパン株式会社 部署名：ICT事業本部 マーケティングセンター 担当者：池永 慎	電話番号：070-4815-3294 Mail：shin.ikenaga@jp.ricoh.com	

製品・サービス名称	RICOH カンタンドキュメント活用 for kintone RICOH カンタンドキュメント活用 for kintone(ファクス受信モデル)
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/service/kantan-document-katsuyo-for-kintone

■製品サービスの特長

**紙のスクンデータやファクス受信文書を kintone にスムーズに登録
データ・プロセス管理効率化とコミュニケーション向上を実現します。**

サイボウズ社が提供する業務改善プラットフォーム「kintone」へリコーの複合機でスキャンしたデータをパソコンレスでレコード登録。また、ファクス受信した文書を自動で kintone に登録することが可能です。kintone の活用範囲を大幅に広げ、生産性を革新します。



製品ホームページにてファクス受信業務を効率化できる「kintone アプリテンプレート」を無償しています。本アプリテンプレートと『RICOH カンタンドキュメント活用 for kintone(ファクス受信モデル)』を組み合わせることで、ファクス受信時に

- ・送信元による振り分け
- ・担当者への通知
- ・受信文書 (PDF) プレビュー が実現可能です。

[EDW] かんたんどキュメント活用 for kintone

電話帳アプリと連携しているのファクス受信登録アプリです。
マニュアルダウンロードリンクはこちらをクリック

優先度	ファクス受信日時	受信文書	ファクス番号	取引先名	担当者	状況
A	2020-08-05 10:16 AM	03123456781_20200805_010413.pdf	03123456781	ABC様	山田 太郎	1.FAX受信
A	2020-08-05 9:59 AM	077123001_20200805_090929.pdf	077123001	123様	佐藤 ひろこ	1.FAX受信
A	2020-08-04 9:49 AM	03123456781_20200804_094813.pdf	03123456781	ABC様	山田 太郎	1.FAX受信

受信文書(PDF)をダウンロード
しなくてもプレビューできる

番号通知情報をもとに
取引先名を表示できる

製品・サービス名称	RICOH カンタンドキュメント活用 for kintone		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数：非公開 利用企業名（非公開 ） 大学数：非公開 利用大学名（非公開 ）		
費用	トライアル有（無償 1ヶ月）（ファクスはトライアルなし） 初期費用：5,000 円/契約 ファクスの場合はファクス転送アプリ 2,000 円+エンジニアによる設置費用 スキャン：ランニング費用：年額 18,000 円/台 または 月額 1,500 円/台 ファクス：ランニング費用：年額 24,000 円/台 または 月額 2,000 円/台		
利用条件	【クラウドの場合】最低利用台数1台、最低利用期間1年 サイボウズ社が提供する kintone スタンダードコース の契約が必要		
支払方法	年次請求、支払方法（振込/その他）※契約販売店による		
販売代理店	無、有（代理店名： ）		
■契約			
申込み方法	申込書・その他（Web）	利用開始までの期間	約1週間
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（米国 ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他（ ）	目標稼働率	有・無・その他（ ）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日：9:00～17:00	QA 対応時間帯	平日：9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	必要時の2,5,8,11月第1日曜	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名：リコージャパン株式会社 部署名：ICT事業本部 EDW企画センター ドキュメントソリューション企画室 担当者：柏原 ひろむ	電話番号：090-6017-0509 Mail： hiromu_kashihara@jp.ricoh.com	

製品・サービス名称	RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/mfp-ex/input/kantan_meishi/

■製品サービスの特長

社内のアドレス帳管理とスマートフォンによる名刺管理をさらに便利に。

PHONE APPLI 社の提供する「連絡とれるくん(PHONE APPLI PEOPLE)」は名刺管理、社内に散見する電話帳の一元管理を提供します。

RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくんは 社外の連絡先を「連絡とれるくん」に登録する窓口となる「名刺」を複合機でカンタンに取り込むことができます。



複合機のスキャナーを活用して名刺を登録することにより、

- ✓ 影・ピンボケ・画像のブレ・斜め等を防止し、OCR精度の向上！
- ✓ 名刺サイズへの切り出し精度の向上！
- ✓ 点字付き等表面に凹凸のあるものの取り込み可能！
- ✓ 21枚まで一括で取り込み可能！

などが期待できます。

貯まった名刺を複合機で一括スキャン可能です。



名刺管理に関するお困りごとを「RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん」が解決します。

製品・サービス名称	RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数：非公開 利用企業名 (非公開) 大学数：非公開 利用大学名 (非公開)		
費用	トライアル有 (無償 1ヶ月) 初期費用：5,000 円/契約 ランニング費用：年額 12,000 円/台 または 月額 1,000 円/台		
利用条件	【クラウドの場合】最低利用台数 1 台、最低利用期間 1 年 別途連携先 PHONE APPLI 社の「連絡とれるくん(PHONE APPLI PEOPLE)」の契約が必要		
支払方法	年次請求、支払方法 (振込/その他) ※契約販売店による		
販売代理店	無、有 (代理店名：)		
■契約			
申込み方法	申込書・その他 (Web)	利用開始までの期間	約 1 週間
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (米国)	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日：9:00~17:00	QA 対応時間帯	平日：9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	必要時の 2,5,8,11 月第 1 日曜	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名：リコージャパン株式会社 部署名：ICT 事業本部 EDW 企画センター ドキュメントソリューション企画室 担当者：柏原 ひろむ	電話番号：090-6017-0509 Mail： hiromu_kashihara@jp.ricoh.com	

製品・サービス名称	RICOH カンタンストレージ活用 for Box / Dropbox / OneDrive for Business / (Google Drive) / DocuWare
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/mfp-ex/input/kantan_storage/

■製品サービスの特長

クラウドストレージの活用でニューノーマル対応の促進

キャビネットや個人のパソコンに保存された文書をクラウドサービス上で一元管理。

「RICOH カンタンストレージ活用シリーズ」はリコー製複合機やプリンターとさまざまなクラウドサービスをつなげて利用できます。

パソコンを使わずに複合機やプリンターのパネル操作でカンタンに紙文書を電子化してクラウドサービスに保存したり、クラウドサービス上の文書を印刷できます。さらに外出先でも文書を閲覧・ダウンロードできるようになるので、お客様のニューノーマル対応を強力に推進します。

紙文書もクラウドストレージでカンタンに一元管理が可能に

どこにいても書類を閲覧・ダウンロードできるので
スピーディーな情報共有が可能



紙文書に関するさまざまなお困りごとを「RICOH カンタンストレージ活用シリーズ」が解決します。

紙文書の仕分け作業をもっとカンタンに!

例えば、直接持ち込まれた紙の注文書。これまでは、担当者ご得意先ごとに仕分けするだけでも大変でした。「RICOH カンタンストレージ活用シリーズ」で複合機とクラウドストレージを連携させれば、スキャンすると直接クラウドに保存できるので、スピーディーな仕分けが可能です。

セキュリティの高い管理で安心運用

クラウドストレージとの連携機能を活用する際には、複合機に4桁以上の数字を入力するか、ICカードをかざしてログインします。クラウド内の文書を印刷したり、クラウドに文書を保存する際に、セキュアな運用ができます。

電子化した紙文書をモバイルで閲覧可能

これまでは、注文書などの紙文書を確認するには社内に戻る必要がありました。これからは、紙文書を電子化してモバイル閲覧が可能なクラウドに保存することで、情報共有を強力にサポートします。また、クラウドのOCR機能を活用し、データの利活用を促進します。



製品・サービス名称	RICOH カンタンストレージ活用シリーズ		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数：非公開 利用企業名 (非公開) 大学数：非公開 利用大学名 (非公開)		
費用	トライアル有 (無償 1ヶ月) 初期費用：5,000 円/契約 ランニング費用：月額 1,500 円/台 または 年額 18,000 円/台		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数1名、最低利用期間1ヶ月 別途接続先のクラウドストレージの契約が必要です。		
支払方法	月次/年次請求、支払方法 (振込/その他) ※契約販売店による		
販売代理店	無、有 (代理店名：)		
■契約			
申込み方法	申込書・その他 (Web)	利用開始までの期間	約1週間
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (米国 他)	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日：9:00~17:00	QA 対応時間帯	平日：9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	必要時の2,5,8,11月第1日曜	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名：リコージャパン株式会社 部署名：ICT 事業本部 EDW 企画センター ドキュメントソリューション企画室 担当者：岩本 一也	電話番号：080-2862-7339 Mail： kazuya_iwamoto@jp.ricoh.com	

製品・サービス名称	RICOH カンタンバーコード活用 for Cloud
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/mfp-ex/input/kantan-barcode/

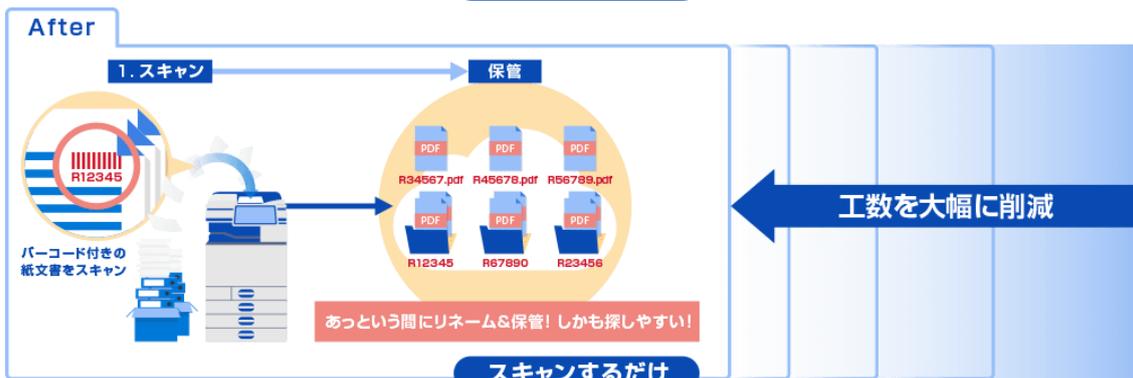
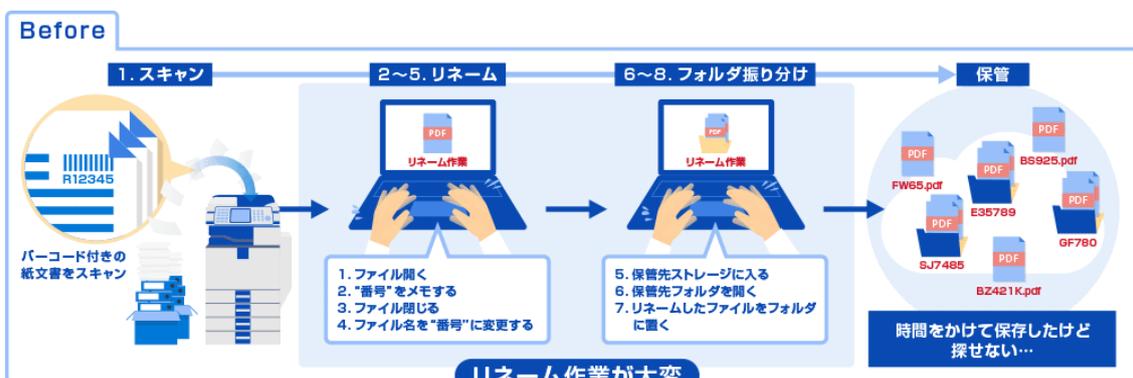
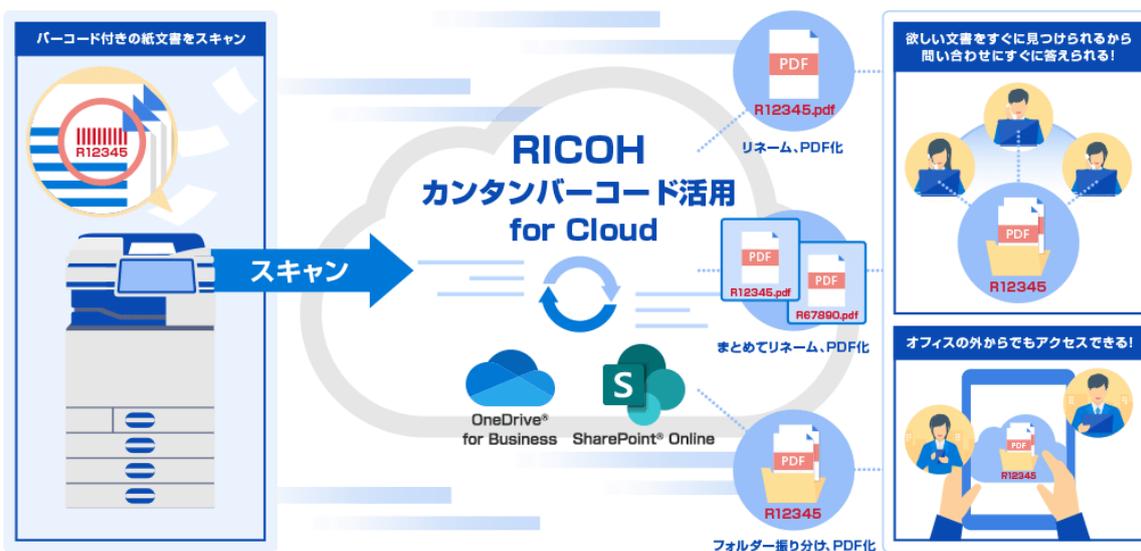
■製品サービスの特長

紙ドキュメントの電子化の負担を大幅に軽減！

バーコードや QR コードコードの情報をファイル名やフォルダ振り分けに活用が可能！

複合機でスキャンした文書をクラウドストレージにアップロード。文書のバーコードを読み取り、ファイル名の設定やフォルダの振り分けを自動で行います。また、外出先からもアクセスできるため、いつでも必要な情報を確認することが可能です。

スキャンをしたら自動でリネーム！ 自動で振り分け！



製品・サービス名称	RICOH バーコード活用 for Cloud		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数：非公開 利用企業名 (非公開) 大学数：非公開 利用大学名 (非公開)		
費用	トライアル有 (無償 1ヶ月) 初期費用：5,000 円/契約 ランニング費用：年額 18,000 円/台 もしくは 月額 1,000 円/台		
利用条件	【クラウドの場合】最低利用台数 1 台 別途クラウドストレージとして OneDrive for Business または SharePoint Online が必要		
支払方法	年次請求、支払方法 (振込/その他) ※契約販売店による		
販売代理店	無、有 (代理店名：)		
■契約			
申込み方法	申込書・その他 (Web)	利用開始までの期間	約 1 週間
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (米国)	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日：9:00～17:00	QA 対応時間帯	平日：9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	必要時の 2,5,8,11 月第 1 日曜	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名：リコージャパン株式会社 部署名：ICT 事業本部 EDW 企画センター ドキュメントソリューション企画室 担当者：柏原 ひろむ	電話番号：090-6017-0509 Mail： hiromu_kashihara@jp.ricoh.com	

製品・サービス名称	RICOH カンタン文書申請 for Cloud
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/service/kantan-bunsho-shinsei-for-cloud

■製品サービスの特長

手書きの申請書や報告書の申請・提出作業を効率的に！

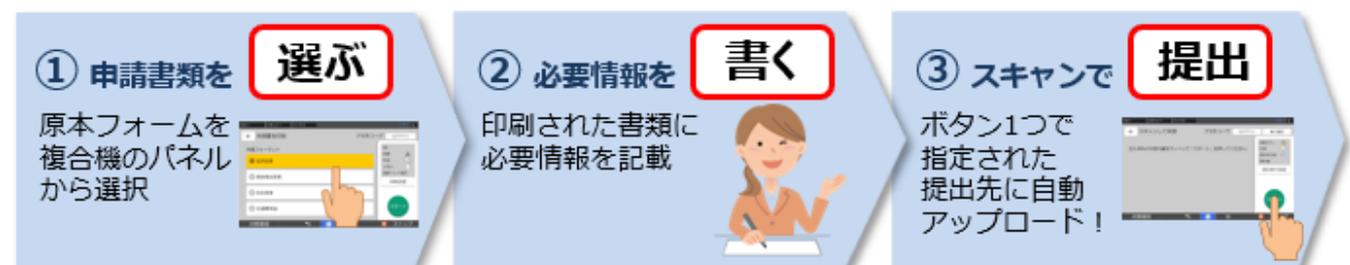
本ソリューションでは、クラウドストレージで管理された申請・報告書文書フォーム（原本）を簡単な操作で印刷し、記入を終えた文書はスキャンするだけで宛先など気にすることなく提出することができます。また提出と同時に担当者や管理者にメール通知も可能です。



手書きの申請書・報告書の提出業務・電子化作業を「RICOH カンタン文書申請 for Cloud」が効率化します。

パソコンを利用することなく複合機のパネル上に集約された申請書・報告書を選んで印刷することができます。これにより、申請書・報告書のそれぞれのフォーマット置き場を覚えたり探したりする必要がなくなります。

また必要事項を記入の上、特に何も指定することなくスキャンするだけで、それぞれの申請書・報告書の提出フォルダーに自動アップロードします。これにより申請先・提出先はいちいち覚えておく必要はなく、ファイル名も自動で付与するので提出者は最小限の作業で申請・提出業務を行うことができます。

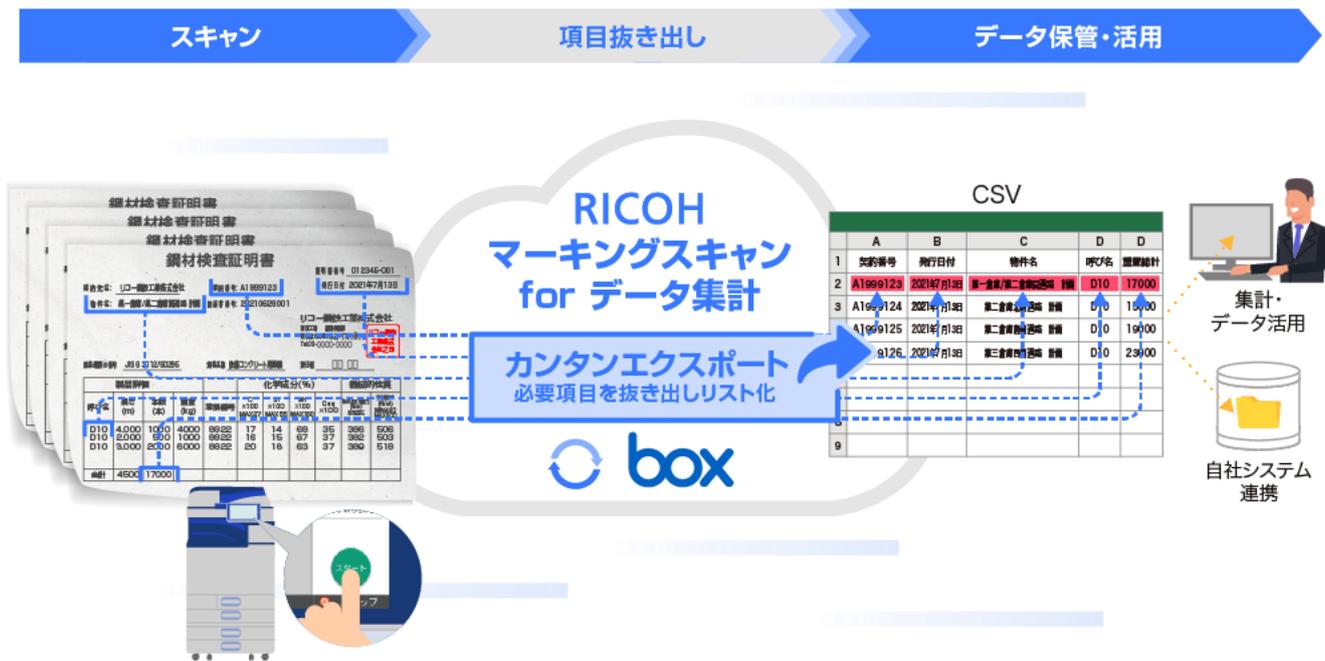


製品・サービス名称	RICOH カンタン文書申請 for Cloud		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数：非公開 利用企業名 (非公開) 大学数：非公開 利用大学名 (非公開)		
費用	トライアル有 (無償 1ヶ月) 初期費用：5,000 円/契約 ランニング費用：年額 24,000 円/台 または 月額 2,000 円/台		
利用条件	【クラウドの場合】最低利用台数1台、最低利用期間1年 別途保存先のクラウドストレージの契約が必要です。		
支払方法	年次請求、支払方法 (振込/その他) ※契約販売店による		
販売代理店	無、有 (代理店名：)		
■契約			
申込み方法	申込書・その他 (Web)	利用開始までの期間	約1週間
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (米国)	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日：9:00～17:00	QA 対応時間帯	平日：9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	必要時の2,5,8,11月第1日曜	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名：リコージャパン株式会社 部署名：ICT事業本部 EDW企画センター ドキュメントソリューション企画室 担当者：芹澤 温子	電話番号：090-2645-2493 Mail： atsuko_serizawa@jp.ricoh.com	

製品・サービス名称	RICOH マーキングスキャン for データ集計
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/service/markingscan-for-data-shuukei

■製品サービスの特長

複合機でスキャンするだけで、指定領域の OCR 結果を CSV 一覧化しカンタンに集計できます！



【主な特長】

POINT 1

スキャンするだけ

紙文書を一括スキャンすれば、文書フォーム内の必要項目を抜き出し、自動的に一覧表が作成されます。



POINT 3

自社システムと連携

リスト化されたデータをCSV形式でクラウドストレージに自動保管し、ご利用の社内システムと連携できます。



POINT 2

利用しやすい一覧表形式

抜き出した項目は、お客様が利用しやすい一覧表形式でリスト化され、Microsoft® Excel®で活用できます。



POINT 4

マーキングで、設計をお引き受け

定型文書原本内の抽出したい項目をマーキングしてご依頼いただくことで、必要な設計を行ない、データ集計定義ファイルとしてご提供します。



製品・サービス名称	RICOH マーキングスキャン for データ集計		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数：非公開 利用企業名 (非公開) 大学数：非公開 利用大学名 (非公開)		
費用	トライアル無 初期費用：5,000 円/契約 ランニング費用：月額 10,000 円/台 または 年額 120,000 円/台		
利用条件	【クラウドの場合】最低利用台数1名、最低利用期間1ヶ月 別途接続先のクラウドストレージの契約が必要です。		
支払方法	月次/年次請求、支払方法 (振込/その他) ※契約販売店による		
販売代理店	無、有 (代理店名：)		
■契約			
申込み方法	申込書	利用開始までの期間	約2週間
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (米国 他)	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日：9:00～17:00	QA 対応時間帯	平日：9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	必要時の2,5,8,11月第1日曜	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名：リコージャパン株式会社 部署名：ICT 事業本部 EDW 企画センター ドキュメントソリューション企画室 担当者：岩本 一也		電話番号：080-2862-7339 Mail： kazuya_iwamoto@jp.ricoh.com

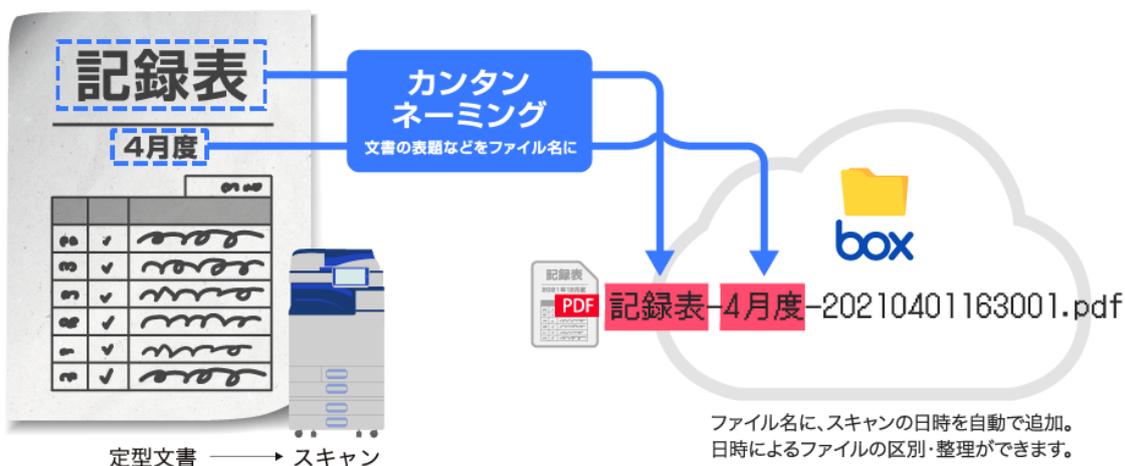
製品・サービス名称	RICOH マーキングスキャン for 文書保管
提供企業名	株式会社リコー
紹介サイト URL	https://www.ricoh.co.jp/service/markingscan-for-bunsho-hokan

■製品サービスの特長

複合機でスキャンするだけで、指定領域の OCR 結果をファイル名にします！



RICOH マーキングスキャン for 文書保管



※管理者によるカンタンな事前設定が必要です。

【主な特長】

作業削減！

紙のファイリング作業やパソコン作業が不要になります。

複合機でスキャンするだけ。ファイル名設定やパソコン作業なしで、だれでも簡単に電子保管できます。

検索機向上！

電子ファイル名が統一され検索も容易になります。

文書の表題などにスキャン日時を加え、ファイル名としてルールを統一。入力ミスの心配もなく、検索・共有が容易になります。

- ◆ 記録表-4月度-20210429263001.pdf
- ◆ 記録表-4月度-20210430514001.pdf
- ◆ 記録表-5月度-20210501356001.pdf
- ◆ 記録表-5月度-20210502163001.pdf
- ◆ 記録表-5月度-20210502255001.pdf
- ◆ …

共有・活用度向上！

保管時に、担当者に自動メール通知できます。

フォルダーへのアップロード時に、担当者などに自動メール通知。スピーディーに共有・活用できます。

簡単！管理者設定

管理者は、原本へのマーキングへスキャンで簡単に設定できます。

定型文書の原本上で、表題・日付などをピンクの蛍光ペンでマーキング。複合機でスキャンすることで、ファイル名にする領域として設定できます。+ 3カ所まで可能

製品・サービス名称	RICOH マーキングスキャン for 文書保管		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数：非公開 利用企業名 (非公開) 大学数：非公開 利用大学名 (非公開)		
費用	トライアル有 (無償 1ヶ月) 初期費用：5,000 円/契約 ランニング費用：月額 1,500 円/台 または 年額 18,000 円/台		
利用条件	【クラウドの場合】最低利用台数1名、最低利用期間1ヶ月 別途接続先のクラウドストレージの契約が必要です。		
支払方法	月次/年次請求、支払方法 (振込/その他) ※契約販売店による		
販売代理店	無、有 (代理店名：)		
■契約			
申込み方法	申込書・その他 (Web)	利用開始までの期間	約 1 週間
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 (米国 他)	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日：9:00~17:00	QA 対応時間帯	平日：9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限無し
計画停止の頻度	必要時の 2,5,8,11 月第 1 日曜	サービス停止の通知	
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名：リコージャパン株式会社 部署名：ICT 事業本部 EDW 企画センター ドキュメントソリューション企画室 担当者：岩本 一也	電話番号：080-2862-7339 Mail： kazuya_iwamoto@jp.ricoh.com	

4. 情報インフラ系ソリューション

製品・サービス名称	NetApp Cloud Insights
提供企業名	ネットアップ合同会社
紹介サイト URL	https://cloud.netapp.com/cloud-insights

■製品サービスの特長

◆「Cloud Insights」でクラウド利用状況が一目瞭然

Cloud Insights は今日のクラウドベースのインフラと導入テクノロジーに特化して設計されており、環境内のリソース間の接続に関する高度な分析情報を提供します。

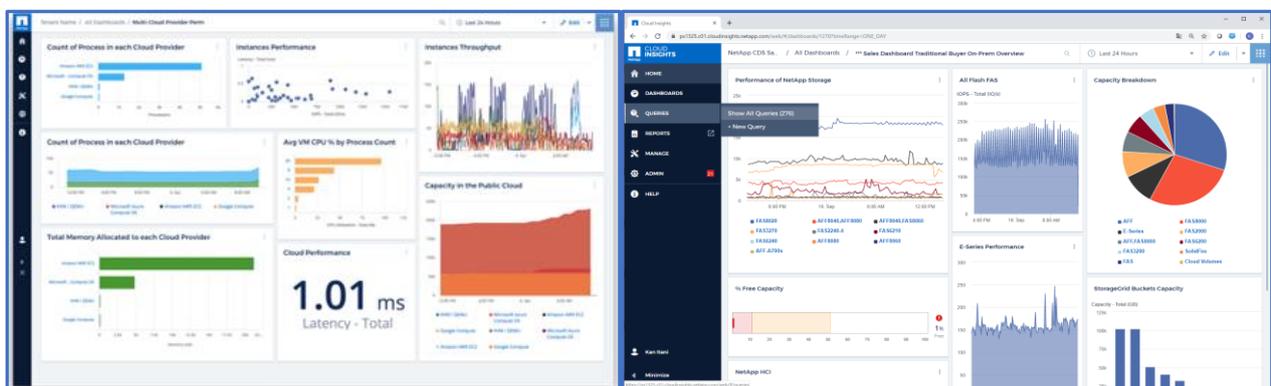
- ・ 複数のパブリッククラウド事業者のサービスの利用状況を同じ画面で確認可能
- ・ オンプレミスシステムの使用状況も同一画面で確認可能
- ・ AWS や Google CloudPlatform、Microsoft Azure といったパブリッククラウドに加え、VMware など構築されたオンプレミスの仮想化環境の状況が一目でわかり

それぞれの領域で生じている無駄なコストを総合的な判断を行った上で削減できるようになります。

◆NetApp Cloud Insights の特長

Cloud Insights の特徴は使いやすさです。クラウド内でホスティングされるので、容易に起動し、高速で実行できます。クラウドとオンプレミスのマルチベンダー リソースを含む、すべてのインフラのトポロジ、可用性、パフォーマンス、利用率に関するデータがリアルタイムで可視化されます。

もちろん、NetApp Cloud Volumes、NetApp AFF もサポートされます。



監視対象

- ・ サーバ、ストレージ (他社製含む)、FC スイッチ、ハイパーバイザー
- ・ クラウドインフラ
AWS/Azure/GCP のインスタンスとストレージ
- ・ ミドルウェア
(MySQL, PostgreSQL, HAProxy, MongoDB, Kubernetes, etc…)

◆NetApp Cloud Insights の導入

- ・ 各クラウド事業者から購入する時間単位の従量課金制、または販売代理店様から期間ライセンスとしてご提供が可能。
- ・ cloud.netapp.com にログイン後、ブラウザで Cloud Insights を設定・操作が可能。
- ・ 30 日間無償トライアル 各クラウド事業者から直接入手可能。

製品・サービス名称	NetApp Cloud Insights		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名 () 大学数（非公開）校：利用大学名 ()		
費用	トライアル有り。従量課金、期間ライセンスをご選択可能、監視対象、イベント分析機能のオプションの選択により料金が変動致します。詳細は弊社または、代理店へお問い合わせください。		
利用条件	【クラウド】最低利用期間は1ヶ月です。 【期間ライセンス】代理店を通じた1ヶ月単位での販売となります。		
支払方法	【クラウド】各パブリッククラウド事業者の支払い条件に基づく。 【期間ライセンス】代理店との個別契約		
販売代理店	有（代理店名：代理店一覧 https://partner-connect.netapp.com/jp/partner-directory ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（Web からサインアップ）	利用開始までの期間	数時間
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	ご利用リージョン内	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（リージョンをご選択）	管轄裁判所	国内・海外（リージョンをご選択）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：ご利用構成/パブリッククラウド事業者により変動）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 ()	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	24H / 5D(月～金)
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	クラウド事業者に依存	サービス停止の通知	クラウド事業者に依存
ログの開示	有・無（※条件 ()	第三者認証取得状況	ISO9001,14001 など
問合せ先	企業名：ネットアップ合同会社 部署名：エンタープライズ営業本部 中部西日本営業部 担当者：脇田幸紀	電話番号：080-4122-4930 FAX 番号：06-6453-9731 Mail： mailto:yukinori.wakita@netapp.com	

製品・サービス名称	Cloud Volumes ONTAP
提供企業名	ネットアップ合同会社
紹介サイト URL	https://www.netapp.com/ja/cloud-services/cloud-volumes-ontap/

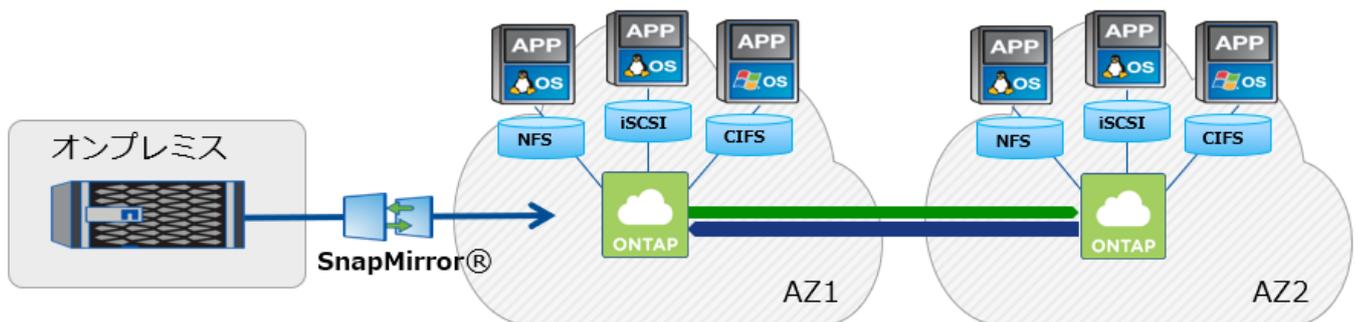
■製品サービスの特長

◆汎用性に優れたクラウドベースのデータ管理サービス

データ保護機能とストレージ効率化機能を備え、最適で強力なソリューションを、AWS、Google CloudPlatform、Microsoft Azure、ハイブリッドクラウド環境内で提供。

◆Cloud Volumes ONTAP の特長

お客様のクラウド ストレージで高度なデータ管理機能を利用できます。ONTAP は、SMB、NFS、iSCSI をサポートしているため、アプリケーション環境に NAS と SAN の両方のストレージをプロビジョニングすることが可能です。またパフォーマンスへの影響ゼロの NetApp Snapshot™ コピーを作成し、バックアップとリカバリ用のデータのポイントインタイム コピーをほぼ瞬時に作成できます。ストレージ リソースを余分に消費することも、アプリケーションのパフォーマンスに影響が生じることもありません。



- クラウドストレージにエンタープライズクラスの高可用性機能を提供 
- クラウドとの間でデータを容易にレプリケーション 
- ネットアップの暗号化機能でクラウドデータを保護 
- ファイルサービスやブロックストレージアプリケーションの開発と実行が可能 

◆Cloud Volumes ONTAP の導入

- ・各クラウド事業者から購入する時間単位の従量課金制、または販売代理店様から期間ライセンスとしてご提供が可能。
- ・Cloud Volumes ONTAP の導入は数分で完了。
- ・30 日間無償トライアル 各クラウド事業者から直接入手可能。

製品・サービス名称	Cloud Volumes ONTAP		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（広島県など） 大学数（非公開）校：利用大学名（日本の教育機関では複数の国立大学様が利用中）		
費用	トライアル有り。従量課金、期間ライセンスをご選択可能。ストレージの必要容量、可用性のオプションの選択により料金変動致します。詳細は弊社または、代理店へお問い合わせください。		
利用条件	【クラウド】最低利用期間は1時間です。 【期間ライセンス】代理店を通じた1ヶ月単位での販売となります。		
支払方法	【クラウド】各パブリッククラウド事業者の支払い条件に基づく。 【期間ライセンス】代理店との個別契約		
販売代理店	有（代理店名：代理店一覧 https://partner-connect.netapp.com/jp/partner-directory ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（Web からサインアップ）	利用開始までの期間	数時間
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	ご利用リージョン内	データ削除規定の有無	有・無・その他（ホワイトペーパーを開示）
準拠法	日本国法・海外法規（リージョンをご選択）	管轄裁判所	国内・海外（リージョンをご選択）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：ご利用構成/パブリッククラウド事業者により変動）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	24H / 5D(月～金)
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	クラウド事業者依存	サービス停止の通知	クラウド事業者依存
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISO9001,14001 など
問合せ先	企業名：ネットアップ合同会社 部署名：エンタープライズ営業本部 中部西日本営業部 担当者：脇田幸紀	電話番号：080-4122-4930 FAX 番号：06-6453-9731 Mail： mailto:yukinori.wakita@netapp.com	

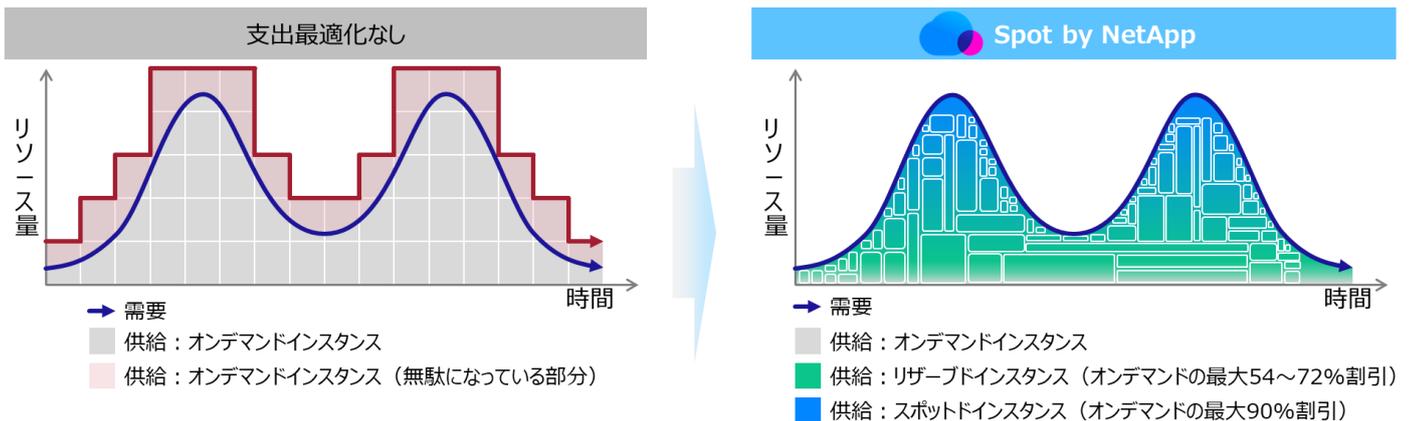
製品・サービス名称	Spot by NetApp
提供企業名	ネットアップ合同会社
紹介サイト URL	https://spot.io/ (英語版のみ)

■製品サービスの特長

■クラウド支出削減・最適化サービス「Spot by NetApp」

クラウドが提供する様々なコンピューティングリソースの購入モデルを活用して、優れたクラウド支出削減・最適化を実現。安価に利用できる、リザーブドインスタンスとスポットインスタンスを組み合わせコスト最適化。

Spot by NetApp によるクラウド支出削減・最適化(イメージ)



■「Spot by NetApp」の特徴

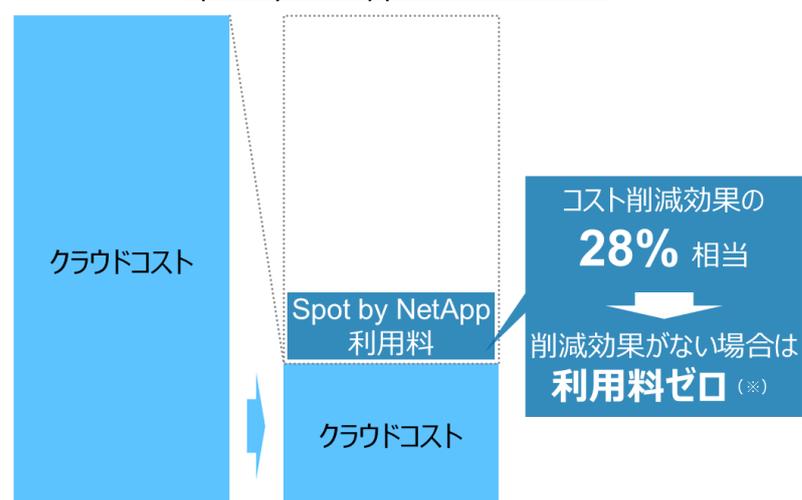
コスト実績と最適化余地を可視化し、AIにより割引オプションを効果的・自動的に適用。

- ・支出最適化余地の確認
- ・中長期でのクラウド支出予測
- ・支出傾向の異常通知
- ・クラウド支出の最適化に向けた推奨アクションの表示

■ご提供価格

削減効果の28%相当を利用料としてご請求。つまり追加の予算取りは不要で、効果がない場合には利用料ゼロ。

Spot by NetApp の利用料イメージ



■対象クラウド製品

- ・AWS、Microsoft Azure、Google Cloud ※対象のサービスは製品によって異なります。

製品・サービス名称	Spot by NetApp		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (1500) 社：利用企業名 (snowflake 様、ticketmaster 様、NetApp 等) 大学数 () 校：利用大学名 ()		
費用	トライアル有り。(20VM まで無料)従量課金の PAYG モデル、支払額固定/年間契約値引きのある Subscription モデルからご選択可能。支払い削減額に基づく成果報酬型の料金モデルです。 詳細は弊社または、代理店へお問い合わせください。		
利用条件	【クラウドの場合】なし、無料版は合計 1 アカウント、合計 20 インスタンスまで。		
支払方法	【期間ライセンス】弊社、代理店との個別契約		
販売代理店	無、有 (代理店名：伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 など)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (Web からの申込み)	利用開始までの期間	数時間
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	ご利用リージョン内	データ削除規定の有無	有・無・その他 (ホワイトペーパーを開示)
準拠法	日本国法・海外法規 (リージョンをご選択)	管轄裁判所	国内・海外 (リージョンをご選択)
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容：)		
実績稼働率	有・無・その他 (非公開)	目標稼働率	有・無・その他 (非公開)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	24H / 5D(月～金)
コンタクト方法	メール・チャット(英語のみ)	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	クラウド事業者に依存	サービス停止の通知	クラウド事業者に依存
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	※ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：ネットアップ合同会社 部署名：エンタープライズ営業本部 中部西日本営業部 担当者：脇田幸紀	電話番号：080-4122-4930 FAX 番号：06-6453-9731 Mail： mailto:yukinori.wakita@netapp.com	

製品・サービス名称	Nutanix Cloud Platform (Nutanix Cloud Infrastructure)
提供企業名	Nutanix Japan 合同会社
紹介サイト URL	https://www.nutanix.com/jp

■製品サービスの特長

Nutanix Cloud Infrastructure

Nutanix Cloud Platformはお客様がご利用中のハードウェア、ハイパーバイザー、ストレージ、データベースエンジン、コンテナランタイムを統合した思い通りのクラウド環境をデータセンター内、もしくはパブリッククラウド上、またはその両方にまたがるハイブリッドクラウドとして構築することが可能なソフトウェアクラウドプラットフォームです。機能や性能はもちろん、利用(課金)モデルもクラウド同等の真のハイブリッド・マルチクラウドクラウドを実現します。



あらゆるアプリケーション・データに対応



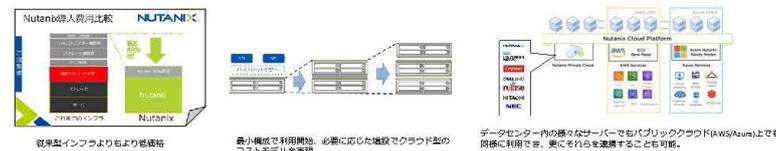
あらゆるハイパーバイザー、データベースエンジン、ストレージ、コンテナランタイムに対応、あらゆるアプリケーション・データをシームレスにNutanixへ移行し、性能・効率を向上、TCOの削減に呼应検します。

セキュリティ、バックアップをビルトイン



アプリケーションとデータを安全かつ、常時利用できるようにするため、暗号化や要塞化設定の自己治癒を含むセキュリティ、データのスナップショット、リモートへの複製機能、DR時の復旧の自動化機能がビルトインされています。

クラウド同等の柔軟な利用・ハイブリッドでの利用が可能



データセンター内のコスト削減、クラウド型の利用モデルを実現するだけでなく、パブリッククラウドを組み合わせたハイブリッドクラウドの実現が可能です。

数値で見るNutanixの導入効果



「事業環境の変化に応じて新たなアプリケーションの追加にも迅速に対応できるアジリティの高いアプリケーション仮想化を実現することが重要でした。Nutanixの導入で、過度な初期投資をせずとも柔軟にスケールアウトできる基盤を迅速に整備できました」

株式会社セゾンファイナンスグループDXソリューション本部
DXインフラ部長 山崎 浩一 氏

「次世代工場基盤として、HCI・エッジコンピューティング技術を採用することにより、高度な生産体制を確立します。すなわち、動的な増産対応、最適化されたラインオペレーション、セキュアな情報基盤、盤石なBCP対応、並びに標準化されたDX拡張手法をグローバルに展開します」

三井化学株式会社 執行役員 製造部長 三瓶 隆夫 氏

製品・サービス名称	Nutanix Cloud Platform (Nutanix Cloud Infrastructure)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（徳島県庁、札幌市、魚津市教育委員会、帝京大附属病院他） 大学数（非公開）校：利用大学名（慶応義塾大学、関西大学、近畿大学、北見工業大、九州工業大、沖縄大等）		
費用	必要リソース（CPU コア数、SSD 容量）×期間 によるサブスクリプションライセンスの提供となります。 ご購入時に契約期間を決めていただければ、従量による課金は発生せず、最新バージョンでのご利用が可能です。		
利用条件	【製品】サブスクリプションによる利用契約、保守、アップグレード権、サポートは含まれております。		
支払方法	通常の物品調達と同様、契約期間分の費用を一括、もしくは年次更新の形で導入ベンダーへお支払い頂きます。		
販売代理店	無、有（代理店名： Nutanix Japan まで、直接お問い合わせください)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他	利用開始までの期間	2 か月前後
約款の有無	有・無	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：可用性、耐障害性の SLA として、99%～99.999%を提供）		
実績稼働率	有・無・その他（ 非公開 ）	目標稼働率	有・無・その他（ 非公開 ）
ストレージ	多重化有・無・その他	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	24H/365D (日本語は 9:00~17:00)
コンタクト方法	電話・メール・その他（サポート フォームより申請)	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	無
ログの開示	有	第三者認証取得状況	HIPAA、PCI、NIST、GDPR 等
問合せ先	企業名：Nutanix Japan 合同会社 部署名：マーケティング統括本部	電話番号：03-4588-0520 Mail：jp-events@nutanix.com	

製品・サービス名称	Nutanix Cloud Platform (Nutanix Cloud Management)
提供企業名	Nutanix Japan 合同会社
紹介サイト URL	https://www.nutanix.com/jp

■製品サービスの特長

Nutanix Cloud Management

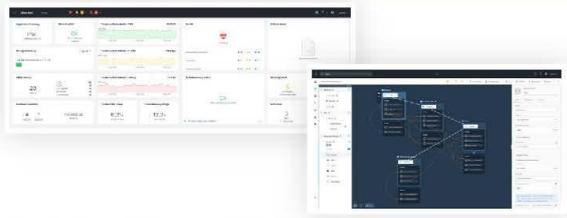
Nutanix Cloud Platformはお客様がご利用中のあらゆるクラウドを統合管理・自動化し、思い通りのクラウド運用をデータセンター内、もしくはパブリッククラウド上、またはその両方にまたがるハイブリッドクラウドとして実現するソフトウェアクラウドプラットフォームです。ビジネスやアプリケーションのデマンド、セキュリティやコストなど多面的な分析を行い、ハイブリッド・マルチクラウド全体の最適化を実現します。



Nutanixを含むあらゆるクラウド環境を統合管理



直感的な1-クリック操作であらゆるクラウドを管理・自動化



すべての管理タスクを直感的なユーザーインターフェイス上から実現、様々な操作が1-クリックで実施できるよう高度に自動化されており、管理コストを大幅に削減。アプリケーションの展開・アップグレードを含むライフサイクル全体をBlue Print化することで、あらゆるクラウド上でのアプリケーション利用が1-クリックで可能に。

マルチクラウドでのセキュリティ・コストのコントロール



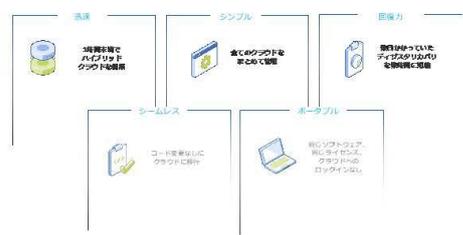
複数のクラウドを一元的なセキュリティポリシーでコントロール、ポリシー違反を1-クリックで修復。プライベート、パブリッククラウド両方でコスト最適化推奨機能を用いてコスト削減、アプリケーションにとって最適なクラウドでの動作を保証。

ハイブリッド・マルチクラウド上のアプリとデータを管理



1つのコンソール上から、様々なクラウド上に展開されたアプリ、サービスを一元管理。クラウド上のデータをインテリジェントに分析し、データをコスト最適な場所へ移動させたり、ランサムウェア攻撃からの保護を実現。

Nutanixでハイブリッドマルチクラウドを管理するメリット



「『インターフェース部分だけでも、ユーザーとして実感できるレベルでレスポンスの改善が見られます。全館の基礎で稼働しているサービスは、数十万人が利用していますが、以前に比べるとシステム内部の処理をはじめ、そのほとんどが半分以下の時間に対応できています。スナップショットも一瞬で取得できるようになり、作業の大幅な効率化につながっています。』
「『いい意味で何も起きないことが最適な状態であり、まさにNutanixがその環境を作り出してくれています。』
- 慶應義塾 IT本部 吉本博生氏



「『これまで運用してきた部門システムの多くはリソースを十分に使い切れず、コストパフォーマンスが悪かったのですが、Nutanixにより効率的に運用できるようになりました。中長期的には病院情報システムのパブリッククラウド移行も視野に入れており、あらかじめNutanixで仮想化しておくことで、将来のクラウド移行もスムーズに進むと考えています。』
- 学校法人近畿大学 近畿大学病院 医学部・病院薬務本部 ITグループ 情報システム課 技術課長 橋本 布江田 隆光氏

製品・サービス名称	Nutanix Cloud Platform (Nutanix Cloud Management)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（徳島県庁、札幌市、魚津市教育委員会、帝京大附属病院他） 大学数（非公開）校：利用大学名（慶応義塾大学、関西大学、近畿大学、北見工業大、九州工業大、沖縄大等）		
費用	必要リソース（CPU コア数、SSD 容量）×期間 によるサブスクリプションライセンスの提供となります。 ご購入時に契約期間を決めていただければ、従量による課金は発生せず、最新バージョンでのご利用が可能です。		
利用条件	【製品】サブスクリプションによる利用契約、保守、アップグレード権、サポートは含まれております。		
支払方法	通常の物品調達と同様、契約期間分の費用を一括、もしくは年次更新の形で導入ベンダーへお支払い頂きます。		
販売代理店	無、有（代理店名： Nutanix Japan まで、直接お問い合わせください ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	利用開始までの期間	2 か月前後
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：可用性、耐障害性の SLA として、99%~99.999%を提供）		
実績稼働率	有・無・その他（ 非公開 ）	目標稼働率	有・無・その他（ 非公開 ）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	24H/365D (日本語は 9:00~17:00)
コンタクト方法	電話・メール・その他（サポートフォームより申請）	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	無	サービス停止の通知	無
ログの開示	有	第三者認証取得状況	HIPAA、PCI、NIST、GDPR 等
問合せ先	企業名：Nutanix Japan 合同会社 部署名：マーケティング統括本部	電話番号：03-4588-0520- Mail：jp-events@nutanix.com	

製品・サービス名称	リモートアクセスシステム DoMobile
提供企業名	株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト
紹介サイト URL	https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/solution/domobile_esp/index.html

■製品サービスの特長



リモートアクセスシステム DoMobile とは

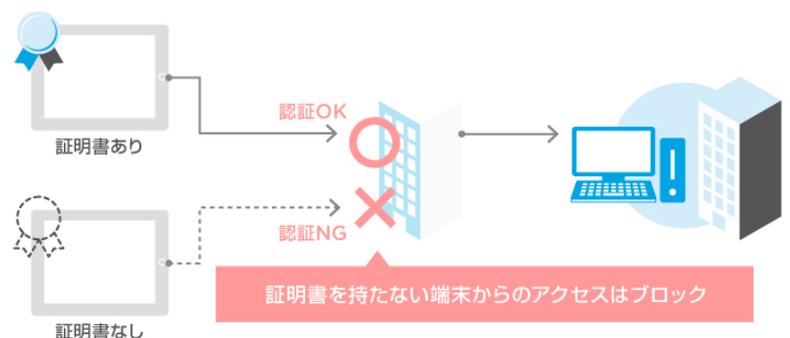
DoMobile は、オフィス内にある自席パソコンを社外から遠隔操作できる、リモートアクセスサービスです。パソコンからの接続はもちろん、タブレットやスマートフォンなどのスマートデバイスからも接続可能。場所を選ばずに利用できるため、外出時の空き時間の有効活用、在宅勤務実施によるワークライフバランスの実現や BCP 対策まで幅広く活用できます。

強固なセキュリティ

デジタル証明書認証による認証

デジタル証明書を持たない端末からのアクセスはブロックします。

さらに、3つの認証情報（コンピュータ名、ログインID、パスワード）を組み合わせた認証機能により第三者による利用を防ぎます。



DoMobile 専用の通信経路を利用

専用クライアントで画面のみを転送。万が一リモート端末がウイルスに感染していても、自席パソコンにウイルスが感染することはありません。



製品・サービス名称	リモートアクセス DoMobile		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	導入実績 2,500 社以上 (2020 年 4 月現在)		
費用	初期費用：企業登録料 10,000 円/企業、ユーザ登録料 1,000 円/アカウント 年額利用額：18,000 円/アカウント。詳細は弊社までお問い合わせ願います。		
利用条件	最低ユーザ数：1、最低利用期間：1 年 (更新の 1 か月前までに弊社にご連絡いただきます。)		
支払方法	月次・後払、支払方法 (振込)		
販売代理店	無、有 (代理店名：ダイワボウ情報システム、大塚商会等)		
■契約			
申込み方法	その他 (弊社営業)	利用開始までの期間	5 営業日～
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 (契約書による)
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 (非公開)
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容：基本的に 365 日、24 時間稼働とします。(但し、メンテナンス時は除きます。))		
実績稼働率	非公開	目標稼働率	非公開
ストレージ	多重化有・無・その他 (非公開)	バックアップ	午前 2:00～2:30 の時間帯にバックアップ処理を行います。 (1 日 1 回)
データ暗号化	有・無・その他 (非公開)	暗号化通信	SSL (最大 256bit)
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定 (ただし、SSL-VPN による暗号化通信に対応)
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	有
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	非公開
計画停止の頻度	非公開	サービス停止の通知	最短 2 週間前までに、管理者宛てにメール通知およびサービスポータル画面で告知
ログの開示	有・無 (※条件：アクセス履歴のみオプションで参照可能)	第三者認証取得状況	ISO27001、ISO14001、ISO9001、プライバシーマーク
問合せ先	企業名：株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト 部署名：営業統括本部 DX推進センターサイドセールス部 担当者：曾根、宍戸 企業名：株式会社日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部第四営業本部 学術情報営業第一部企画グループ	TEL: (03) 5780-6111 (代表) WEB 問合せ： https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/contact/solution.html Mail : hsc-contact@mlc.hitachi-solutions.com Mail : ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	エンタープライズクラウドサービス G2
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/enterprise-g2/

■製品サービスの特長

クラウド統合管理ポータル
vCloud Director^{*1}

お客さま

- セキュリティ設定
- アプリケーションデプロイ
- バランシング設定のチューニング
- ユーザアカウント設定
- ミドル設定
- 拠点間ネットワーク構築

任意に作成

Edge サービスゲートウェイ

ユーザテナント

政府調達可能な
セキュリティ基準

ISMAP

クラウドサービスリスト
登録

本サービスは ISMAP
クラウドサービスリス
トに登録されてい
ます。
※ISMAP: 政府情報シ
ステムのためのセキ
ュリティ評価制度

FW^{*2} LB^{*3} VPN^{*4} ルーター・NAT^{*5}

ネットワーク機能を集約し、すべて自由に利用できます。

標準テンプレートを利用することで、即座にVM作成が可能です。

標準テンプレート構成内容

1コア

1GB

100GB

300IOPS^{*6}

*1 vCloud Director : VMware社が提供しているクラウド統合管理ツール
 *2 FW : FireWall
 *3 LB : Load Balancer
 *4 VPN : Virtual Private Network
 *5 Network Address Translation
 *6 IOPS : Input/output Per Second

・従来サービスでは難しかったネットワーク・VMの組み合わせを実現

エンタープライズクラウドサービス G2 では、クラウド統合管理ポータル (vCloud Director) を利用し、従来サービスでは難しかったネットワーク・VM の組み合わせで設計できます。お客さまにて任意のタイミングで切替や一時的なテスト環境構築などの柔軟な運用を実現。日立への問い合わせや作業依頼といった手間と時間を取らせません。

・ポータル機能でのお客さま運用で、導入一時費用低減と導入時間を短縮

エンタープライズクラウドサービス G2 では、クラウド統合管理ポータルで、必要なときにお客さまがリソースを変更できます。また、ご要望に合わせた必要最小限の構成に最適化することで、導入や運用にかかるコストを抑えられます。最新技術の採用により提供基盤を最適化。CPU などのサーバリソースを低価格にしました。

・従来サービスのお客さまサポートは、問い合わせから導入支援までメニュー化

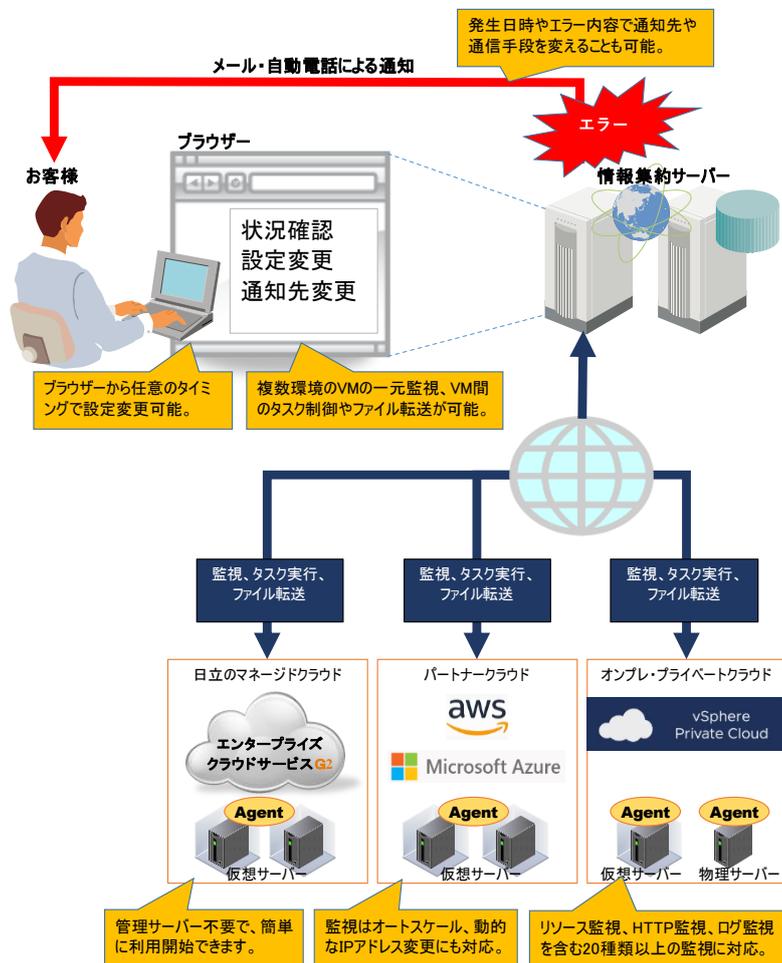
従来サービスと同様に、エンタープライズクラウドサービス G2 では定期メンテナンスを実施。監視、障害対応によりお客さまのクラウドリソースを安定稼働させます。「どのような構成にしたらいかがわからない」といった疑問にも、日立の技術者がお応えするサポート対応が可能です。

※サービス仕様については、予告なく変更する場合があります。

製品・サービス名称	エンタープライズクラウドサービス G2		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (非公開) 大学数 (非公開)		
費用	費用としてランニング費用が発生します。一部サービスでは導入にかかる一時費用が発生します。請求は月額精算となります。メニューにより時間・日額課金となっております。詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	【クラウドの場合】最低ユーザ数：規定なし、最低利用期間：1 カ月		
支払方法	※月次請求、後払、支払方法 (振込)		
販売代理店	無		
■契約			
申込み方法	その他 (弊社営業)	利用開始までの期間	最長 5 営業日
約款の有無	有・無 (契約書による)	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容：最低稼働率として 99.0%を保証)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 (99.999%)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00~18:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	特になし
計画停止の頻度	最大 1 回/月	サービス停止の通知	1 ヶ月以上前に通知
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、QMS、EMS
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 企画グループ 担当者：酒匂、荒木	電話番号：03-5471-4518 FAX 番号：03-5471-4519 Mail： ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	フェデレーテッドクラウド管理（監視・タスク実行・ファイル転送）サービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/f-kanshi/index.html

■製品サービスの特長



監視サービス **Monitor**

サーバー及びネットワークデバイスの状態を監視し、エラーを検知すると、指定された通知先に通報します。リソース監視、HTTP監視、ログ監視を含む 20 種類以上の監視に対応します。

タスク実行サービス **Kicker** ※

各種クラウド、オンプレミスに点在するサーバーに対しタスクを実行します。発生した障害は、指定された通知先に通報します。

ファイル転送 **Transporter** ※

サーバーで保有するファイルを、クラウドのストレージ経由で任意のサーバーに転送。ファイルを分割暗号化し並列送信することで、安全かつ高速に転送します。

- ・各種クラウド、オンプレミス環境のアラートや稼働統計、タスクの実行結果やファイル転送結果を 1 つの画面で確認可能
複数のクラウドが混在した環境の監視やタスク実行、ファイル転送を同一システムで管理し 1 つの画面で確認できるのでアラートを見逃しにくくなります。
- ・監視機能はリソース監視、HTTP 監視、ログ監視を含む 20 種類以上の監視に対応
リソース監視、HTTP 監視、ログ監視など、多種多様な監視に対応します。監視設定サイトからエラー判定条件、通知抑止条件、設定ファイルのダウンロード、メールアドレス登録、外部監視の設定などを行えます。
- ・オートスケールや動的な IP アドレス変更に対応した監視を簡単・迅速に開始可能
ネットワークもインターネット経由での管理のため、お客さま側でのマネージャーの準備や、専用線敷設は必要ありません。また、フェデレーテッドクラウド情報集約サーバーと対象サーバー間で発生する通信は HTTPS 通信のため、やり取りする管理情報は暗号化されています。

※タスク実行サービス、ファイル転送サービスは 2021 年 1 月にリリース予定です

※サービスの改良などにより、予告なく記載されている仕様が変更になることがあります。

- ・vSphere は、米国およびその他の地域における VMware Inc.の登録商標または商標です。
- ・AWS は、Amazon Inc.の登録商標または商標です。
- ・Microsoft Azure は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

製品・サービス名称	フェデレーテッドクラウド管理（監視・タスク実行・ファイル転送）サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他(パブリックとプライベートを管理)	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開） 大学数（非公開）：		
費用	費用としてランニング費用が発生します。一部サービスでは初期費用が発生します。課金単位は月額課金です。サービスによっては日額/時間課金が可能です。詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	最低ユーザ数：規定なし、最低利用期間：1カ月		
支払方法	※月次請求、後払、支払方法（振込）		
販売代理店	無		
■契約			
申込み方法	その他（弊社営業）	利用開始までの期間	最短5営業日
約款の有無	有・無（契約書による）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	非公開	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。		
実績稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。	目標稼働率	有・無・その他（99.95%）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	弊社営業日 9:00~17:00	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	別途個別見積り
計画停止の頻度	1回/月	サービス停止の通知	1ヶ月以上前に通知
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISMS、Pマーク、QMS、EMS
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 企画グループ 担当者：酒匂、荒木	電話番号：03-5471-4518 FAX 番号：03-5471-4519 Mail： ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	出前クラウドサービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	http://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/delivery-cloud/

■製品サービスの特長

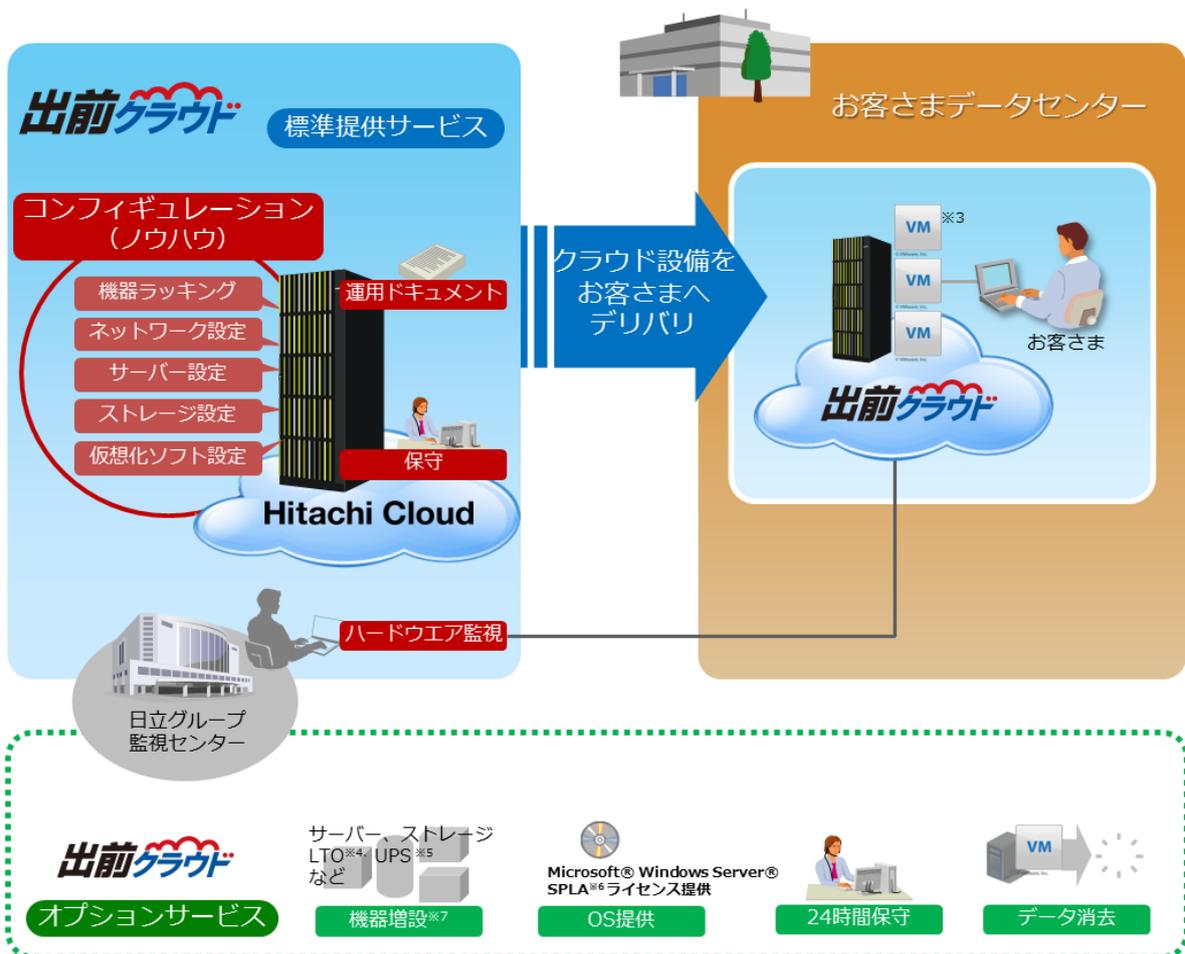
“クラウド設備”をお客さまにお届け 月額払いでプライベートクラウドを利用可能

お客さまのメリット

- 1 プライベートクラウドを初期費無し※1の月額料金で、早期に提供します
- 2 お客さまデータセンターに設置でき、データ流出の心配がありません
- 3 必要な時期に機器増設可能※2 柔軟な構成を提供します

※1：運送設置費のみ別途必要となります。

※2：サーバーまたはストレージの新モデルの発売による規格変更・在庫完売の場合は、提供できないことがあります。



※3 Virtual Machineの略。

※4 Linear Tape-Openの略。テープ型の記憶媒体。

※5 Uninterruptible Power Supplyの略。無停電電源装置。

※6 Microsoft Services Provider License Agreementの略。サービスプロバイダ向けライセンスプログラム。

※7 LTO、UPSは初期導入時のみ提供可能です。

- ・VMware、VMware vSphere、VMware vCenter、ESX、ESXi は米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。
- ・Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

製品・サービス名称	出前クラウドサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）：利用企業名（金融業などを中心に数十社の実績あり） 大学数（非公開）		
費用	費用としてランニング費用が発生します。運搬・設置費用が初期費用として発生します。 課金単位は月額課金です。詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	最低ユーザー数：1、最低利用期間：半年（解約の半年前に弊社営業にご連絡いただきます。）		
支払方法	月次・後払、支払方法（振込）		
販売代理店	無、有（代理店名：)		
■契約			
申込み方法	その他（弊社営業）	利用開始までの期間	3か月～
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（契約書による）
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA内容：)		
実績稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。	目標稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx年xx月)	LDAP 連携	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	当社営業日 9：00～17：00	QA 対応時間帯	当社営業日 9：00～17：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	年間5件まで
計画停止の頻度	原則として計画停止無し	サービス停止の通知	個別調整
ログの開示	有・無（※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、Pマーク、QMS、EMS
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 部署名：公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 企画グループ 担当者：酒匂、荒木	電話番号：03-5471-4518 FAX 番号：03-5471-4519 Mail： ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	Hitachi Managed VMware Cloud™ on AWS
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/vmcaw/

■製品サービスの特長

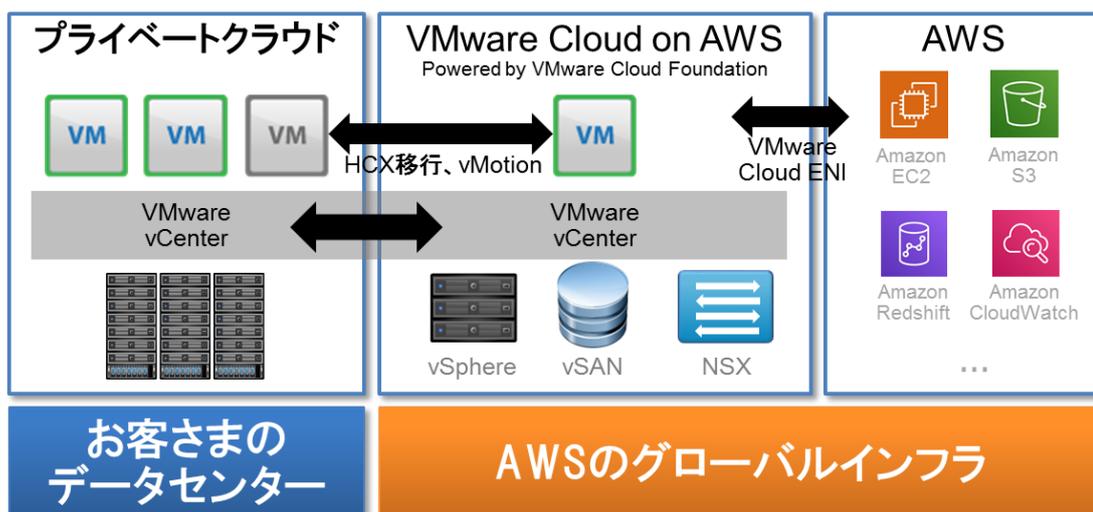
VMware Cloud™ on AWS に高信頼の日立サポート
独自の付加価値を付け加えてお客さまにお届け

お客さまのメリット

- ① 今まで慣れ親しんだ VMware 製品用の管理手法やツールを変更せず、クラウドへ移行
- ② 要件（許容ダウンタイム、回線状況等）に応じて柔軟な移行方式を選択し、移行ツール

※1：移行可能な vSphere バージョンには制限があります。

※2：お客さま AWS アカウント上での VTGW の設定はお客さまにて実施いただきます。



日立独自の付加価値

- ◆ 運用オプション：ハイブリッドクラウドを実現する監視、タスク実行(※3)の機能を提供
- ◆ 予防保守提供：各コンポーネントに対してパッチ情報や運用回避策を月次で提供
- ◆ 稼働レポート提供：リソース使用状況や EDRS(※4)でのホスト数の増減を月次で報告
- ◆ VMC 監視：vCenter のアラートをお客さま指定のメールアドレスに転送
- ◆ SPLA 提供：ゲスト OS に使用可能な Windows Server 2019 ライセンスを提供(※5)

※3：タスク実行機能は 2021 年 1 月リリース予定です。

※4：Elastic DRS の略。ホストの利用状況に応じて自動的にホストの増減を行います。

※5：Microsoft Services Provider License Agreement の略。サービスプロバイダ向けのライセンスプログラムです。

サービスの改良などにより、予告なく記載されている仕様が変更になることがあります。

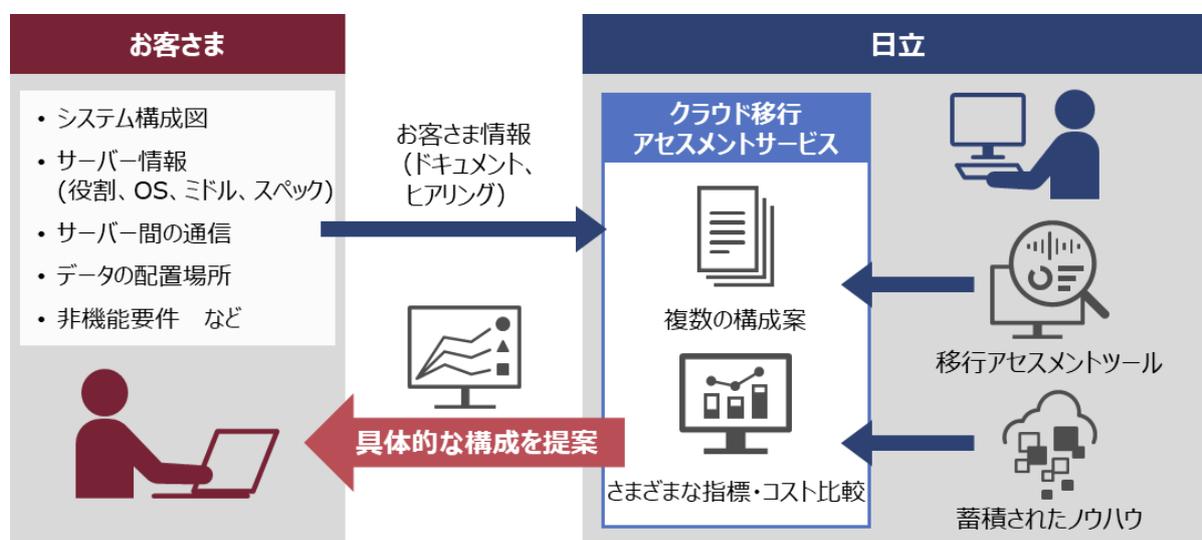
- ・ VMware, VMware vSphere, VMware vCenter, VMware NSX, VMware vSAN, VMware Cloud は米国およびその他の地域における VMware Inc.の登録商標または商標です。
- ・ Microsoft, Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ AWS, Amazon EC2, Amazon S3 は、Amazon Inc.の登録商標または商標です。
- ・ その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

製品・サービス名称	Hitachi Managed VMware Cloud™ on AWS		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（ ）		
費用	費用としてランニング費用が発生します。導入時に初期費用が発生します。 課金単位は月払いと一括払いです。詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	最低ユーザー数：1、最低利用期間：1か月、(解約の1か月前に弊社営業にご連絡頂きます)		
支払方法	月次請求、前払、支払方法（振込）		
販売代理店	無、有（代理店名： ）		
■契約			
申込み方法	その他（弊社営業 ）	利用開始までの期間	1.5か月～
約款の有無	有・無（ ）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（契約書による）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（SLA内容： ）		
実績稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。	目標稼働率	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx年xx月）	LDAP 連携	提供対象外です。別途ご相談させていただきます。
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	当社営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	当社営業日 9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	個別調整
計画停止の頻度	原則として計画停止無し	サービス停止の通知	個別調整
ログの開示	有・無（※条件 ）	第三者認証取得状況	ISO 27001、ISO 27017、ISO 27018、SOC 1、SOC 2、SOC 3、HIPAA、GDPR
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 企画グループ 担当者：酒匂、荒木	電話番号：03-5471-4518 FAX 番号：03-5471-4519 Mail： ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス 名称	クラウド移行アセスメントサービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/assessment/index.html

■製品サービスの特長

クラウド移行後のシステム構成を提案します



クラウド移行アセスメントサービスの特長

★複数の移行方式の中から、お客様にとって最適な移行方式を選択

- クラウド移行後のシステム構成案を日立が作成し、クラウド移行後のクラウド利用料のイメージを算出します。
- 複数の移行方式の中から、システム構成ごとのスコアや利用料を比較し、お客様が重要視する指標のスコアが高いものを選択することで、お客様にとって最適な移行方式を決定します。

★クラウド移行後のコンテナ化まで見据えたシステム構成

- クラウド移行後のシステム構成案を作成します。また、システム構成の評価（指標、メリット/デメリット、クラウド利用料の相対比較結果）を提示します。
- クラウド上での移行後の実装イメージを導出します。

★さまざまなクラウドに対応

- パブリッククラウドは AWS と Azure に対応します。また、日立クラウドの ENC G2 にも対応します。

製品・サービス名称	クラウド移行アセスメントサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名 () 大学数（非公開）校：利用大学名 ()		
費用	導入時に費用が発生します。 詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	利用対象の制限等：移行対象の OS は Windows または Linux に限ります。		
支払方法	月次請求、後払、支払方法（振込）		
販売代理店	無、有（代理店名： ()		
■契約			
申込み方法	その他（弊社営業）	利用開始までの期間	個別調整
約款の有無	有・無（契約書による）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（契約書による）
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA			
実績稼働率		目標稼働率	
ストレージ		バックアップ	
データ暗号化		暗号化通信	
■機能			
SINET 接続		VPN 接続	
学認対応		LDAP 連携	
管理ツール		API 公開	
■保守・運用			
障害対応時間帯		QA 対応時間帯	
コンタクト方法		対応インシデント数	
計画停止の頻度		サービス停止の通知	
ログの開示		第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 企画グループ 担当者：酒匂、荒木		電話番号：03-5471-4518 FAX 番号：03-5471-4519 Mail： ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp

製品・サービス名称	プラットフォーム向けモダナイゼーション支援サービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/modernization/index.html

■製品サービスの特長

お客様の業務アプリケーションをコンテナ化します

- 日立に蓄積されたノウハウを基に標準化されたテンプレートを活用し、**短期間で運用プロセスを考慮したコンテナ化を実施**します。
- 対象のアプリケーションやシステムの規模など、お客さまの状況に応じて**構成設計・実装・テスト**を実施します。



本サービスの提供条件

- 本サービスでは、アプリケーションの修正・変更は行いません。また、機能分割やミドルウェア変更も行いません。
- コンテナ化への構成変更の前提として、アプリケーションの修正・変更をお願いする場合があります。
- 本サービスはアプリケーションのコンテナ化移行を保証するものではありません。
- 移行後のコンテナアプリケーションの稼働環境の設計・構築は、別のサービスにて実施いたします。

プラットフォーム向けモダナイゼーション支援サービスの特長

★マルチクラウドに対応

- お客さまが導入される IaaS を熟知した日立のエンジニアがコンテナ化を支援します。
- 各社のクラウドサービスの特性を考慮しながら、**短期間でマルチクラウド対応を実現**します。

★運用実績に基づく設計

- 日立の運用実績に基づいて、設計ポイントを標準化します。
- ベース OS や開発言語に応じた、**コンテナを構築するためのテンプレートを準備**します。

★CI/CD もサポート(オプション)

- コンテナと相性がよい **CI/CD 環境の整備を支援**します。
- コンテナと CI/CD の組み合わせで**サービスリリースサイクルを短縮**できます。

製品・サービス名称	プラットフォーム向けモダナイゼーション支援サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名 () 大学数（非公開）校：利用大学名 ()		
費用	導入時に費用が発生します。 詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	利用対象の制限等：本サービスでは、アプリケーションの修正・変更は行いません。		
支払方法	月次請求、前払、支払方法（振込）		
販売代理店	無、有（代理店名：)		
■契約			
申込み方法	その他（弊社営業）	利用開始までの期間	個別調整
約款の有無	有・無（契約書による）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（契約書による）
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA			
実績稼働率		目標稼働率	
ストレージ		バックアップ	
データ暗号化		暗号化通信	
■機能			
SINET 接続		VPN 接続	
学認対応		LDAP 連携	
管理ツール		API 公開	
■保守・運用			
障害対応時間帯		QA 対応時間帯	
コンタクト方法		対応インシデント数	
計画停止の頻度		サービス停止の通知	
ログの開示		第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 企画グループ 担当者：酒匂、荒木		電話番号：03-5471-4518 FAX 番号：03-5471-4519 Mail： ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp

製品・サービス 名称	コンテナ環境構築・運用サービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/cloud/service/container/index.html

■製品サービスの特長

コンテナ実行基盤を構築し、管理機能を提供します

コンテナ管理基盤の個別構築

個別構築の場合、さまざまな項目の検討が必要です。

設計は何をしなければ？
何を監視する？
最適な管理ツールは？
導入にかかる時間は？
運用面で考慮すべきことは？

お客さま

コンテナ環境構築・運用サービス

短期間、低コストでコンテナ管理基盤を導入できます。

日立のノウハウを基に設計/テスト済みのコンテナ環境を構築します
コンテナ環境運用に不可欠な運用支援ツール、各種自動化ツールを提供します

立ち上げまでの期間を圧縮できます！
運用設計コストや運用コストを削減できます！

日立 → サービス提供 → お客さま

コンテナ環境構築・運用サービスの特長

★安定稼働を考慮したコンテナ環境の構築

- コンテナ環境を本番システムとして利用するための必要コンポーネントを構築し、お客さまのシステム設計・構築の負荷を削減します。
- ノードや Kubernetes のシステムコンテナのモニタリング、ロギングを設定することで、お客さまの監視設計負荷を削減します。
- 日立のノウハウを活用し、サービス（アプリケーション）を継続稼働するための信頼性を確保したシステムを設計・提供します。

★運用支援ツール、各種自動化ツールの提供

- コンテナ環境運用に必要な運用支援ツール、各種自動化ツールを提供し、容易に運用できるコンテナ環境を実現します。
- 日立のノウハウに基づくマニュアルを提供します。

★幅広い製品への対応

- さまざまなベンダーやパブリッククラウドが提供しているコンテナ運用管理ツールから、お客さまのニーズに合う製品を選択できます。

製品・サービス名称	コンテナ環境構築・運用サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名 () 大学数（非公開）校：利用大学名 ()		
費用	構築サービスは初期構築時にモデルに応じた一時費用が発生します。 運用サービスおよびサポートサービスはランニング費用が発生します。 課金単位は一括払いと月払いです。詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	利用対象の制限等：パブリッククラウドの場合は事前にネットワーク環境の準備が必要です。 オンプレミスの場合は vSphere 環境の準備が必要です。		
支払方法	月次請求、前払、支払方法（振込）		
販売代理店	無、有（代理店名：)		
■契約			
申込み方法	その他（弊社営業）	利用開始までの期間	個別調整
約款の有無	有・無（契約書による）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（契約書による）
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA			
実績稼働率		目標稼働率	
ストレージ		バックアップ	
データ暗号化		暗号化通信	
■機能			
SINET 接続		VPN 接続	
学認対応		LDAP 連携	
管理ツール		API 公開	
■保守・運用			
障害対応時間帯	当社営業日 9:00～17:00	QA 対応時間帯	当社営業日 9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	個別調整
計画停止の頻度	—	サービス停止の通知	—
ログの開示	有・無（※条件)	第三者認証取得状況	—
問合せ先	企業名：株式会社 日立製作所 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 企画グループ 担当者：酒匂、荒木	電話番号：03-5471-4518 FAX 番号：03-5471-4519 Mail： ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	日立 データセンターサービス
提供企業名	株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部
紹介サイト URL	https://www.hitachi.co.jp/products/it/Outsourcing/base.html

■製品サービスの特長

「横浜センタ」「岡山センタ」をはじめ、日本各地にデータセンターを展開。

堅牢な設備でお客様の IT 資産をお守りします。



特長 1 日立のデータセンターでは、地震、水害や火事などの災害、故障などのトラブルに対してさまざまな対策をしています。

特長 2 日立のデータセンターでは、お客様のIT資産を守るため充実したセキュリティ対策をしています。

特長 3 日立の各種クラウドサービスや、パブリッククラウドとの接続サービスもご利用いただけます。

サービスの改良などにより、予告なく記載されている仕様が変更になることがあります。

製品・サービス名称	日立 データセンターサービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 (ハウジング)	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (非公開) 大学数 (非公開)		
費用	初期費用とランニング費用が発生します。 詳細は営業までお問い合わせ願います。		
利用条件	ご利用条件はサービスによって異なります。 詳細は営業までお問い合わせ願います。		
支払方法	月次・後払、支払方法 (振込)		
販売代理店	無、有 (代理店名:)		
■契約			
申込み方法	その他 (弊社営業)	利用開始までの期間	別途調整
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容:)		
実績稼働率	有・無・その他 (非公開)	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (個別接続可能)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定 (個別接続可能)
学認対応	対応・未対応・対応予定	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24H/365D	QA 対応時間帯	弊社営業日 9:00-17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	特に制限なし
計画停止の頻度	不定期	サービス停止の通知	1ヶ月以上前に通知
ログの開示	有・無 ()	第三者認証取得状況	ISMS、ITSMS、P マーク、 QMS、EMS、BCMS
問合せ先	企業名: 株式会社 日立製作所 部署名: 公共システム営業統括本部 第四営業本部 学術情報営業第一部 企画グループ 担当者: 酒匂、荒木	電話番号: 03-5471-4518 FAX 番号: 03-5471-4519 Mail: ICT-hitachi@ml.itg.hitachi.co.jp	

製品・サービス名称	WisePoint8
提供企業名	ファルコンシステムコンサルティング株式会社
紹介サイト URL	https://wisepoint.jp/

■製品サービスの特長

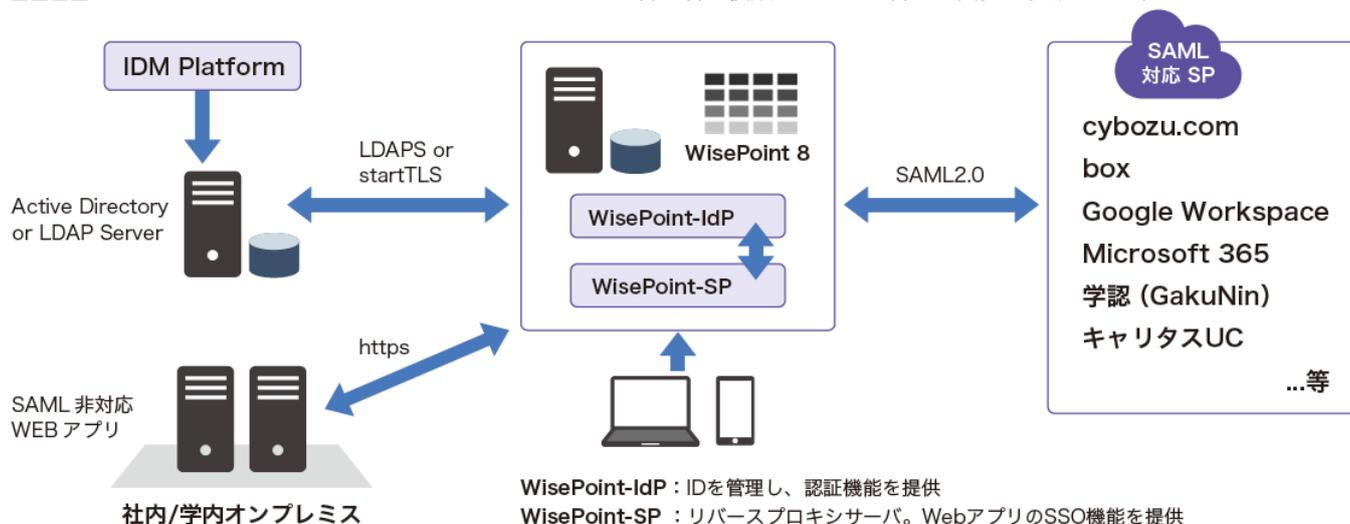
★Shibboleth-IdP V4 対応

★パスワードレス認証を実現

多彩な認証方式と
シングルサインオンでセキュリティ強化

WisePoint 8

WisePoint はセキュリティと利便性を両立した認証基盤システムです。
多彩な認証方式でゼロトラストモデルにおいて重要となる「認証」を強化し、
各種クラウドサービスへの「シングルサインオン」で
ユーザーと管理者の複数パスワード管理の負担を軽減します。



□多彩な認証方式

WisePointの認証

トークンレスワンタイムパスワード

-イメージングマトリクス認証

ユーザはあらかじめ決めた画像を順番通りにクリックするだけ。ログイン毎にイメージの位置情報が変化することで、ワンタイムパスワード認証を実現



-マトリクスコード認証

ユーザ毎にユニークな乱数表を用いた認証

-パスワード認証

日本語を使った質問と答えて認証

FIDO2 (WebAuthn) 対応

パスワードレス認証を実現



FIDO2対応認証器を利用可能です。登録も簡単。
Windows Hello/USBキー (Yubikey等) /
iPhone・iPadのTouchID/Androidの指紋・顔認証

TOTP対応



Google Authenticatorや
Microsoft Authenticatorを
利用可能。

その他

-スマートデバイス認証 (専用アプリ利用。端末ごとに固有に持たせたIDで端末を特定)
-Kerberos認証 (Windowsログオン)

・「クライアント証明書+イメージングマトリクス認証」や
「イメージングマトリクス認証+FIDO2認証」など、様々な認証方式を組み合わせることが可能です。

□ LDAP/AD 連携

□ アクセスコントロール

製品・サービス名称	多要素認証・シングルサインオン製品「WisePoint8」(旧名称 WisePointShibboleth)		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (約 360) 社：利用企業名 (全日空、国立がん研究センター、JBCC ホールディングス、三井化学アグロ) 大学数 (約 40) 校：利用大学名 (九州大学、東北大学、豊橋技科大、愛知教育大学、東京都市大学)		
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・評価版ライセンスを無償にて提供 ・ライセンス費用：ユーザ数に応じたボリュームディスカウント (初回買取) ・初年度より毎年保守サポート費用 (製品価格の 20%)・設計、構築費用 		
利用条件	ライセンス形態：買取 (100 ライセンス～)、保守：初年度から *さくらのクラウドでアプライアンス提供可能		
支払方法	導入前ご購入、支払方法：現金振込		
販売代理店	無、有 (代理店名：ジェイズ・コミュニケーション他)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 ()	利用開始までの期間	1 週間
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容：)		
実績稼働率	有・無・その他 ()	目標稼働率	有・無・その他 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	平日 9:30-17:00	QA 対応時間帯	平日 9:30-17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	
計画停止の頻度		サービス停止の通知	
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	
問合せ先	企業名：ファルコンシステムコンサルティング株式会社 部署名：営業本部 担当者：山下 克美	電話番号：03-6228-3220 FAX 番号：－ Mail： sales@falcons.com	

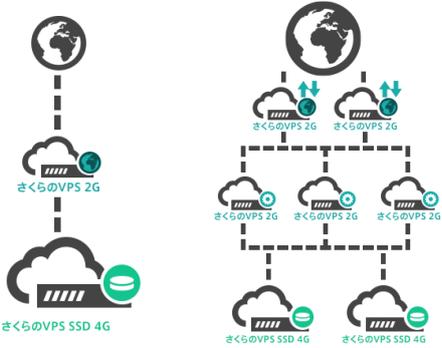
製品・サービス名称	さくらの VPS
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://vps.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長

さくらの VPS が全面リニューアルしました！！

- ◎ 全プランで SSD を標準搭載しスループットが向上！
- ◎ 全プランで初期費用が無料に！
- ◎ 最大 2 倍のストレージ増量や月額料金の最大 50%値下げ！

ローカルネットワーク 台数無制限！複数台構成も低価格で構築できます



1 台からはじめて、サービス規模の拡張に合わせて複数台に！コントロールパネル上の簡単操作でスケールアウトが可能です。

セキュリティ向上

IP アドレスの拡張

各サーバは 3 つのネットワークインターフェースをもつため、グローバル、ローカルの 2 層ネットワークだけでなく、ローカル側を複数セグメント化した 3 層構成も可能。これにより大規模なシステムを VPS で実現できるようになります。

※最大 10 セグメントまで利用可能

ハイブリッド 全国 3 カ所に VPS の地理的な分散が可能です

さくらの VPS を、石狩(北海道)、東京地区、大阪地区の全国 3 カ所に分散配置し同一の L2 ネットワーク上で連携稼働させることが可能です。



ハイブリッド接続

(石狩)
(東京)
(大阪)

ハイブリッド 異種サービスの連携運用が可能です

「さくらの VPS」と「さくらのクラウド」、「さくらの専用サーバ」、「ハウジング」を同一の L2 ネットワークで連携稼働させることが可能です。

さくらの VPS
さくらの専用サーバ
 さくらのクラウド
リモートハウジング/
ハウジング



ハイブリッド接続

製品・サービス名称	さくらのVPS		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/ ） 大学数（非公開）校		
費用	Linux 版：初期費用なし、月額費用 585 円（税抜き）～ Windows 版：初期費用なし、月額費用 1,000 円（税抜き）～		
利用条件	2 週間の無料ご試用が可能。ご利用拘束期間は 3 ヶ月間となります。		
支払方法	標準は前払い、お支払い方法は請求書払い、クレジットカードとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有 ()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ()		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 ()	目標稼働率	有・無・その他（非公開 ()
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他（運用側にて取得）
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10：00-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ()	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	さくらのクラウド
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://cloud.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長

実際にサーバやスイッチがあるような直感的操作が可能な IaaS 型クラウドです。

リージョン	東京
	石狩

高性能

最大 **20 コア**、**224GB** メモリまでの充実のスペック

低価格

初期費用無料、月額 **1,540 円** から始められます
月額 1,540 円～、1 日 77 円、1 時間 7 円 ※ディスク料金除く

わかりやすい料金体系

初期費用無料、データ転送量による従量課金なし！



少ない月は **時間割・日割** / 多く使っても **月額固定で安心**

10 時間 / 20 日 / 1 ヶ月

時間割・日割・月額から最も安い料金が自動で適用されます。事前に料金計算できるため予算確定、稟議処理も簡単です。

クラウドと異種サービスを接続できる

さくらのサービスメリットを最大化！

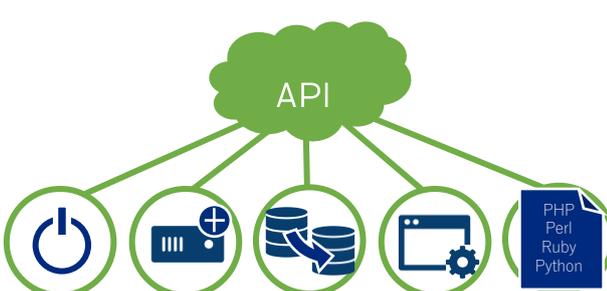
さくらの専用サーバ / さくらのクラウド / リモートハウジング



ローカルセグメントを同一ネットワークで接続し、複数サービスを自由に組み合わせたハイブリッド構成が人気です。
※詳しくはご相談下さい。

クラウド API で業務を効率化

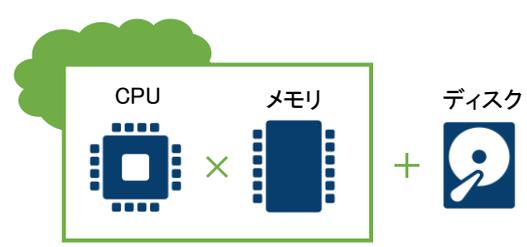
外部プログラムからサーバやインフラを操作！



サーバの作成から削除まで、クラウドの振る舞いのほとんど全てをプログラミングすることが可能です。

選べるプラン 95 種類

最大 20 コア × 224GB メモリの充実スペック！



CPU とメモリを自由に組み合わせてサーバを選択、コントロールパネルからすぐに作成できます。

標準提供機能

セットアップ済み提供 OS あり / インターネット接続回線は共有 100Mbps を無料でご提供 / 1 つの仮想サーバにつき、1 つのグローバル IP アドレスを付与 / コントロールパネルの提供 / 2 段階認証/WAF の提供(一部 OS)/マーケットプレイス

有償オプション

Windows Server / アーカイブ / バックアップ / ISO アップロード / ブリッジ接続 / スイッチ / ルータ+スイッチ(インターネット接続回線の集約・増速)/ 追加 IP アドレス / ロードバランサ / VPC ルータ / GSLB (広域負荷分散) / DNS / Sophos UTM / オブジェクトストレージ / ハイブリッド接続 / SINET 接続 / AWS 接続 / 改ざん検知

製品・サービス名称	さくらのクラウド		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/ ） 大学数（非公開）校：利用大学名（国立情報学研究所、流通経済大学 他）		
費用	初期費用 0 円、ランニング費用：仮想サーバのタイプ、台数、オプションの有無により、時間割、日割、月額から最も安い料金で課金が発生します。		
利用条件	【クラウド】最低ユーザ数、最低利用期間の設定はございません。		
支払方法	標準は当月分を翌月 10 日請求、翌月末お支払い。お支払い方法は、クレジットカード払いとなります。ただし、お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有 ()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（オンラインサインアップ）	利用開始までの期間	即時
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容：月間のサーバ稼働率が、 99.95% 以上）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開）	目標稼働率	有・無・その他（非公開）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10：00-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ()	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク、PCIDSS
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	さくらの専用サーバ PHY (ファイ)
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://server.sakura.ad.jp/

■製品サービスの特長



自由度の高い物理専有 ホスティングサービス

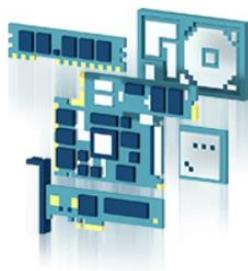
物理サーバをすぐに使えるさくらの専用サーバ PHYなら
お客様のビジネスを支える安心がそろっています

いま、さくらの専用サーバ PHYを選ぶ理由



クラウドサービスとの連携

ハイブリッド接続により、クラウドやハウジングサービスなどとの連携が可能です。



高速なCPUと大量の メモリ、ストレージを専有

最新の高スペックサーバーリソースを独占できます。



自由自在にスケール可能

サーバー1台の構成から、台数に上限なしでスケールアウト可能です。



サーバーを欲しいときに

サーバーを最速10分で提供可能です。
オプションサービスのオンライン申し込みも可能になりました。



万全の保守体制

自社社員による、24時間365日のオンサイト保守でハードウェアの障害も安心です。

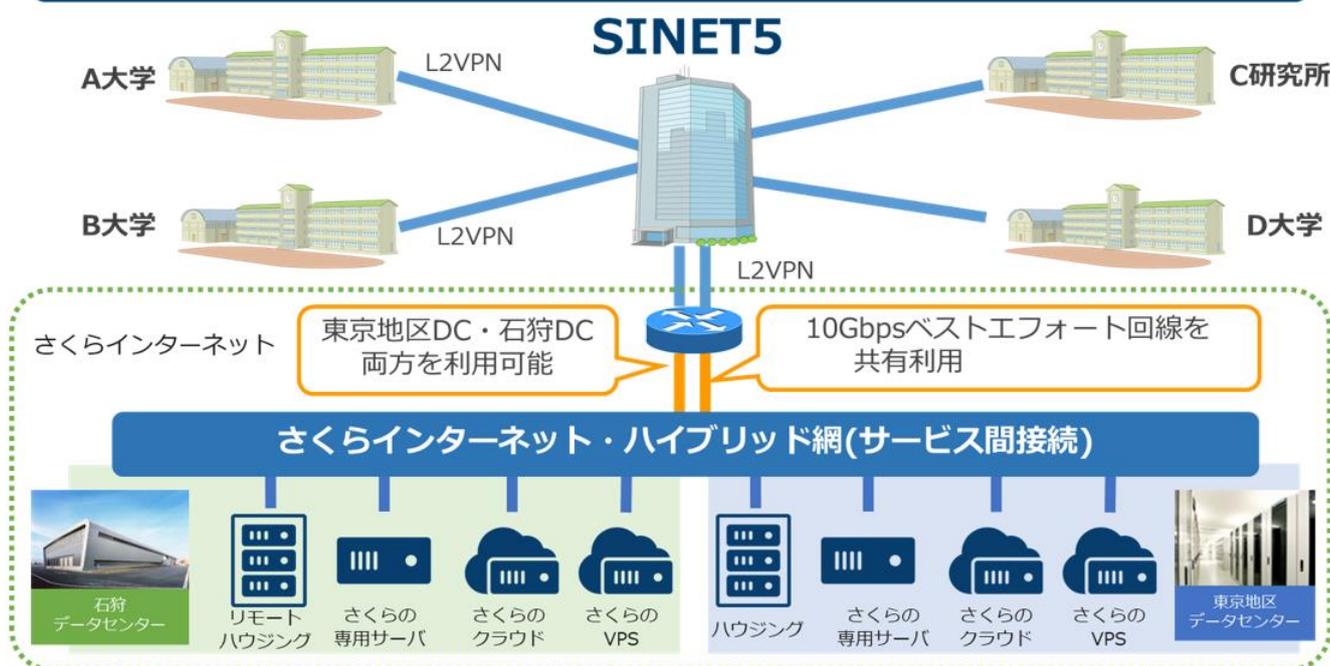
製品・サービス名称	さくらの専用サーバ PHY		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数 (非公開) 社 : 利用企業名 (事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/) 大学数 (非公開) 校		
費用	4core/8GB メモリ・ハードウェア占有型で月額 9,900 円～ (別途初期費用が必要)		
利用条件	最低利用期間は 3 ヶ月間です。		
支払方法	標準は前払い。お支払い方法は請求書払い、クレジットカードとなります。 ただし、お支払い時期や方法につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有 ()		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (オンラインサインアップ)	利用開始までの期間	即時～数営業日
約款の有無	有 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (SLA 内容 : 月間のネットワーク稼働率が 99.95% 以上を保証)		
実績稼働率	有・無・その他 (非公開)	目標稼働率	有・無・その他 (非公開)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定 (xx 年 xx 月)	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 (コントロールパネル提供)	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間 / 365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10:00～18:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名 : さくらインターネット株式会社 部署名 : 営業部 担当者 :	電話番号 : 03-5332-7071 FAX 番号 : 03-5332-7079 Mail : edu-ml@sakura.ad.jp	

製品・サービス名称	SINET 接続サービス
提供企業名	さくらインターネット株式会社
紹介サイト URL	https://www.sakura.ad.jp/education/solution/sinet.html

■製品サービスの特長

- 学術研究機関のキャンパスネットワークを、さくらインターネットのデータセンターまで拡張するサービスです。
- ネットワークは 10Gbpsベストエフォートで、全域が冗長化されています。
- すでに SINET 接続のある学術研究機関であれば、追加機器も必要なく、設定の投入だけでご利用になれます。
- さくらインターネットの全国拠点の複数サービスを組み合わせてご利用可能です。

SINET接続サービスは、さくらインターネットとSINET5間との通信環境を提供するサービスです。



SINET接続サービスから利用可能なサービス



※「SINET 接続サービス」および「SINET10Gbps プラス」のお申し込み受付は 2021 年 7 月 30 日をもって一時的に停止しております。

SINET100Gbps サービスを利用した別サービスもございますので、営業部までお問合せ下さい。

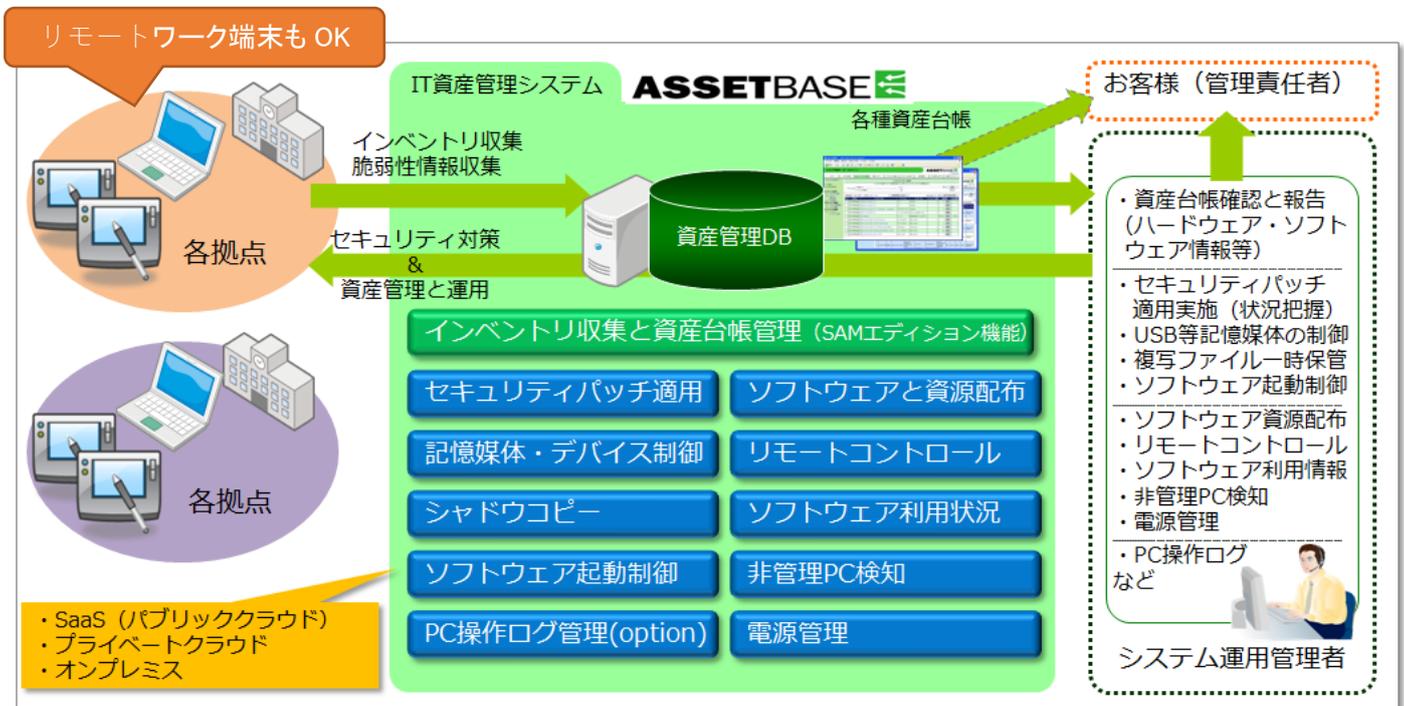
製品・サービス名称	SINET 接続サービス		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック ・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他
■一般事項			
契約実績	法人数（非公開）社：利用企業名（事例は次の URL 参照 https://case.sakura.ad.jp/ ） 大学数（非公開）校		
費用	初期費用なし、1 VPN 当たり月額 15,000 円		
利用条件	ご利用拘束期間は 3 ヶ月間となります。		
支払方法	当社の他のサービスと同時のご請求、お支払いとなります。 お支払い時期や請求書払いへの変更につきましては、営業部にてご相談を承ります。		
販売代理店	無、有 ()		
■契約			
申込み方法	現在申し込み一時停止	利用開始までの期間	1 ヶ月程度
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無（SLA 内容： ()）		
実績稼働率	有・無・その他（非公開 ()）	目標稼働率	有・無・その他（非公開 ()）
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他（Active & Standby）
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応・未対応・対応予定（xx 年 xx 月）	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（コントロールパネル提供）	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	24 時間／365 日	QA 対応時間帯	当社営業日 10：00-18：00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	制限なし
計画停止の頻度	必要に応じ実施	サービス停止の通知	1 週間以上前にご連絡
ログの開示	有・無（※条件 ()）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク等
問合せ先	企業名：さくらインターネット株式会社 部署名：営業部 担当者：	電話番号：03-5332-7071 FAX 番号：03-5332-7079 Mail： edu-ml@sakura.ad.jp	

5. その他

製品・サービス名称	IT 資産管理／セキュリティ管理 ASSETBASE
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	http://www.asset-base.jp/

■製品サービスの特長

セキュリティとコンプライアンスを強力に支援する IT 資産管理ソリューション



■ ASSETBASE の概要 ～リモートワークの基本セキュリティ対策として～

大学や教育機関において、情報漏えい事故やマルウェア感染をはじめとするセキュリティインシデントや、不適切なソフトウェア利用などが相次いでいます。セキュリティとコンプライアンスの両面で IT 資産の管理の重要性がますます高まっていますが、特に昨今ではリモートワークにおける端末のセキュリティ対策としてセキュリティアップデートが注目されています。

IT 資産管理ソリューション「ASSETBASE」は、学内の大量の PC やソフトウェアを「見える化」し、ソフトウェアとライセンスの管理、IT 資産管理、IT セキュリティ管理をご支援します。2004 年の SaaS 型クラウドサービスの提供開始以来、大学をはじめ多くのお客様にご活用いただいております。ASPIC（特定非営利活動法人 ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム）アワード「ベストイノベーション賞」も受賞した実績あるサービスです。

■ ASSETBASE の特長

1. 標的型攻撃やランサムウェア対策に有効な、OS・アプリのセキュリティパッチ適用管理
2. 運用管理を支援する「リモートコントロール」「ソフトウェア配布」「デバイス制御」等
3. ソフトウェアとライセンス管理を高精度で実現、ソフトウェア辞書装備
4. ウイルス対策状態や不適切アプリ検知などセキュリティレポートも充実
5. SaaS（クラウド）、プライベートクラウド、オンプレミスの選択が可能

製品・サービス名称	IT 資産管理／セキュリティ管理 ASSETBASE		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他 ()	・パブリック・プライベート ・その他 ()	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他 (IT 資産管理)
■一般事項			
契約実績	大学実績 (約 70) 校：利用大学名 (国立高専機構、信州大学、関西大学、中部大学 等) 民間実績 (約 50) 社：利用企業名 (非公開) 他、自治体、教育委員会 (小中高等学校)、私立学校等		
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・初期費用：管理アカウント発行料 ・ランニング費用：クライアントライセンス+サーバーシステムライセンス ・課金単位：原則としてご利用法人単位の年間利用料 ※トライアル (評価版) ご利用可能 		
利用条件	<ul style="list-style-type: none"> ・最低ユーザ数：1 ライセンスより利用可能 ・最低利用期間：1 年間 (年間利用料制) 		
支払方法	請求サイクル：年次 支払方法：原則として前払、原則として振込支払 (応相談)		
販売代理店	無、有 (代理店名：内田洋行各販売代理店)		
■契約			
申込み方法	注文書・その他 (当社営業経由にて利用申込み)	利用開始までの期間	5 営業日 (SaaS 型の場合)
約款の有無	有・無 ()	約款修正の可能性の有無	有・無・その他 ()
データ保存場所	国内・海外 ()	データ削除規定の有無	有・無・その他 ()
準拠法	日本国法・海外法規 ()	管轄裁判所	国内・海外 ()
■信頼性			
SLA	有・無 (ご利用約款に基づく)		
実績稼働率	有・無・その他 (2019 年実績：99.99%以上) ※サービス提供時間帯稼働率 (計画停止除く)	目標稼働率	有・無・その他 (99.9%) ※サービス提供時間帯稼働率 (計画停止除く)
ストレージ	多重化有・無・その他 ()	バックアップ	有・無・その他 ()
データ暗号化	有・無・その他 ()	暗号化通信	有・無・その他 ()
■機能			
SINET 接続	対応については応相談	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	対応については応相談	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他 ()	API 公開	有・無・その他 ()
■保守・運用			
障害対応時間帯	9:00~17:00	QA 対応時間帯	9:00~17:00
コンタクト方法	電話・メール・その他 ()	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有 (年に 2 回程度)	サービス停止の通知	2 週間前
ログの開示	有・無 (※条件)	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：システムズエンジニアリング事業部 テクニカルサービス&クラウドセンター 担当者：館野 康彦	電話番号：03-5634-6646 FAX 番号：03-3645-2337 Mail： abinfo@uchida.co.jp	

製品・サービス名称	ソフトウェア配布提供システム Download Station
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	http://www.asset-base.jp/

■製品サービスの特長

Microsoft や Adobe 等ソフトウェアの安全・効率的な学内配布を支援！

ソフトウェア配布提供システム



Download Station

利用者にソフトウェアを配布する際、インストーラにセキュリティ対策を設定することで、安全に効率的にダウンロード利用させることができるシステムです。



POINT

1 ソフトウェア配布を安全・簡単に

利用者がいつでも簡単に必要なソフトウェアをダウンロード・インストールできます。ダウンロードしたインストーラは個別の開封パスワードが無いと開けませんので、不適切なコピー利用を防止できます。インストール予定数や利用期限も設定することが可能です。

POINT

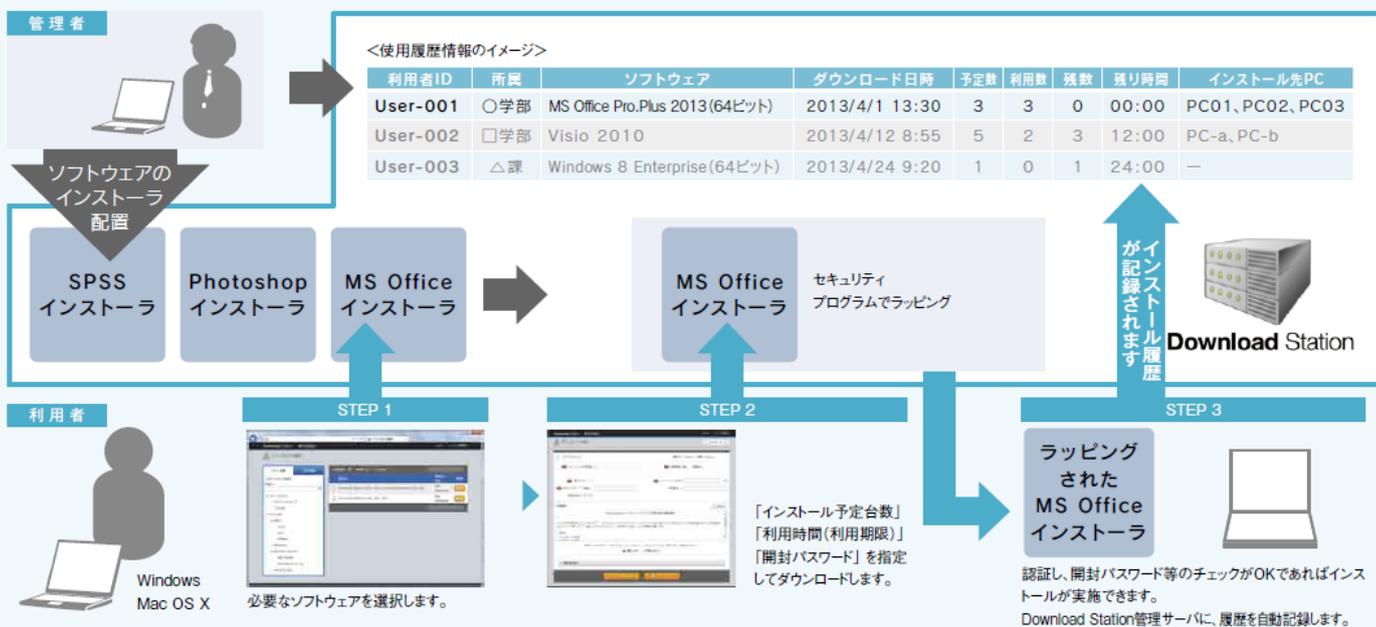
2 トレーサビリティの確保

ダウンロード・インストールの履歴を記録「誰が、いつ、どのソフトウェアを、どこにどれだけ」ダウンロードして、どのPCにインストールしたのかの履歴の管理もします。

POINT

3 利用者・管理者の負担軽減

利用者は、画面から利用したいソフトウェアを選択しダウンロードします。インストール用メディア管理者はメディアの貸出業務の軽減や、メディア紛失・流出リスクを防止することができます。



■ Download Station の概要

「Download Station」は、Microsoft や Adobe 等のソフトウェアを、教職員・学生等の利用者に、安全に効率的に配布提供するシステムです。例えば以下の課題の解決を支援いたします。

- 【こんな課題を解決 1】 インストールメディアの流出リスク（不用意なコンプライアンス違反）を避けたい
- 【こんな課題を解決 2】 インストールメディアの貸し出し管理や、個体管理の業務負担を軽減したい
- 【こんな課題を解決 3】 キャンパスや拠点多い場合、全てをカバーする配布運用の手間を軽減したい
- 【こんな課題を解決 4】 大学の研究室内の PC 等、大量の PC へのソフトウェア配布を効率的に行いたい
- 【こんな課題を解決 5】 実際に利用された数を把握し、ボリュームライセンス投資への効果を把握したい

Download Station は、ソフトウェアのインストーラをセキュリティプログラムでラッピング保護し、利用者が安全にダウンロード利用できるようにします。ダウンロードしたインストーラは、個別の開封パスワード制御されており、不適切なコピー利用を防止できます。また、インストール予定数や利用期限も制御することが可能です。

「誰が、いつ、どのソフトウェアを、どこにどれだけ」ダウンロードして、どの PC にインストールしたのかの履歴の管理も可能であり、利用統計と投資対効果測定などにお役立ていただけます。

製品・サービス名称	ソフトウェア配布提供システム Download Station		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ ）	・パブリック ・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他(ソフトウェアの配布管理)
■一般事項			
契約実績	民間実績（非公開）社：利用企業名（非公開） 大学実績（非公開）校：利用大学名（筑波大、香川大、早稲田大、法政大、中央大、立命館大、近畿大 等）		
費用	・初期費用：導入費用およびシステムライセンス ・ランニング費用：年間保守費用		
利用条件	・ライセンス形態：システム単位（買取） ・保守条件等：保守契約に基づく		
支払方法	請求サイクル：年次 支払方法：原則として振込支払（応相談）		
販売代理店	内田洋行各販売代理店		
■契約			
申込み方法	当社営業経由にて利用申し込み	利用開始までの期間	5 営業日（標準システム構築期間） ※別途環境構築が必要
約款の有無	有	約款修正の可能性の有無	有
データ保存場所	プライベートクラウドサーバー	データ削除規定の有無	削除運用は別途ご相談
準拠法	プライベートクラウドサーバーによる	管轄裁判所	国内を想定
■信頼性			
SLA	プライベートクラウド導入環境に基づく		
実績稼働率	プライベートクラウド導入環境に基づく （事例：99.9%以上 計画停止を除く）	目標稼働率	プライベートクラウド導入環境に基づく
ストレージ	プライベートクラウド導入環境に基づく	バックアップ	有
データ暗号化	無	暗号化通信	有
■機能			
SINET 接続	対応については応相談	VPN 接続	対応
学認対応	対応については応相談	LDAP 連携	対応
管理ツール	有	API 公開	無
■保守・運用			
障害対応時間帯	9:00～17:00	QA 対応時間帯	9:00～17:00
コンタクト方法	電話・メール	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	導入環境に基づく	サービス停止の通知	利用顧客運用規定に基づく
ログの開示	有	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：システムズエンジニアリング事業部 テクニカルサービス&クラウドセンター 担当者：館野 康彦	電話番号：03-5634-6646 FAX 番号：03-3645-2337 Mail： ml-DSinfo@uchida.co.jp	

製品・サービス名称	ウチダの Office 学割 U365
提供企業名	株式会社 内田洋行
紹介サイト URL	https://ec1.u365.jp/portal/office/

■製品サービスの特長

新しい学生サービス 学生向け Microsoft Office 学割

うれしい特典がいっぱい！

パソコンだけでなく、タブレットやスマホでも使える Office!
それぞれ5台ずつインストール可能。※1

OneDriveを始め、TeamsやOneNoteなど様々なクラウドサービスが利用可能! ※2

アプリは自動・無料でアップデート。いつでも最新版が使えます。

在学中なら、買い替えた新しいPCへ再インストールが可能!

AXIES 正会員大学の学生向けには
通常の学割価格よりさらにオトクになります！

AXIES サイトの「会員特典」をご確認ください (<https://axies.jp/ja/privilege/xv7esk>)

■ウチダの Office 学割 U365 の概要

学生の必須のソフトウェア Microsoft Office を、特別プライスでご購入いただける新たな学生サービスです。

様々な特典も満載。大学様の費用負担等は一切ございません。AXIES 正会員大学であればさらにオトクになります！

1. フルスペックのOffice (Microsoft 365 Apps) OneDriveやTeamsも付いています
2. PC (Windows・macOS)・タブレット・スマホ各々5台 (最大15台) インストールOK
3. 大学の費用負担無し！ 大学専用のECサイトを開設しクラウドで無償提供します

製品・サービス名称	ウチダの Office 学割 U365		
■分類			
製品サービス区分	クラウド区分	パブリッククラウド分類	利用用途分類
・サービス ・製品 ・その他（ソフトウェア販売）	・パブリック・プライベート ・その他（ ）	・IaaS ・PaaS ・SaaS	・教育支援 ・研究支援 ・事務支援 ・情報インフラ ・その他（学生サービス）
■一般事項			
契約実績	大学実績（約 200 超）校：利用大学名（日本全国多数） 民間実績（無：教育機関のみ）社：利用企業名 他、専門学校（約 100 校超）等		
費用	・初期費用：無し ・ランニング費用：無し		
利用条件	・最低ユーザ数：ゼロ ・最低利用期間：1 年間		
支払方法	請求サイクル：無し（希望する学生が Office を購入）		
販売代理店	無、有（ ）		
■契約			
申込み方法	注文書・その他（当社営業経由にて利用申込み）	利用開始までの期間	10 営業日程度
約款の有無	有・無（学生向けの利用約款あり）	約款修正の可能性の有無	有・無・その他（ ）
データ保存場所	国内・海外（ ）	データ削除規定の有無	有・無・その他（ ）
準拠法	日本国法・海外法規（ ）	管轄裁判所	国内・海外（ ）
■信頼性			
SLA	有・無（24h365D）		
実績稼働率	有・無・その他（2020 年実績：99.99%以上） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）	目標稼働率	有・無・その他（99.9%） ※サービス提供時間帯稼働率（計画停止除く）
ストレージ	多重化有・無・その他（ ）	バックアップ	有・無・その他（ ）
データ暗号化	有・無・その他（ ）	暗号化通信	有・無・その他（ ）
■機能			
SINET 接続	無	VPN 接続	対応・未対応・対応予定
学認対応	無	LDAP 連携	対応・未対応・対応予定
管理ツール	有・無・その他（ ）	API 公開	有・無・その他（ ）
■保守・運用			
障害対応時間帯	10:00～16:00	QA 対応時間帯	10:00～16:00
コンタクト方法	電話・メール・その他（ ）	対応インシデント数	無制限
計画停止の頻度	有（年に 1 回程度）	サービス停止の通知	2 週間前
ログの開示	有・無（※条件）	第三者認証取得状況	ISMS、P マーク
問合せ先	企業名：株式会社内田洋行 部署名：システムズエンジニアリング事業部 テクニカルサービス&クラウドセンター 担当者：館野 康彦	電話番号：03-5634-6646 FAX 番号：03-3645-2337 Mail： u365support@esco.co.jp	

6. 大学向けクラウドソリューション 比較表

○比較表に関するご注意事項

本比較表は、P.14 から P.109 までのカタログ記載データを取りまとめたものです。そのため、カタログ記載のデータと比較表のデータが異なる場合、カタログ記載のデータが優先されます。また比較表は、比較しやすいようにデータの1部をグルーピングし抽象化していますので、その点をご了解ください。

比較表 1

カタログ 掲載情報	掲載区分	1. 教育支援系			2. 研究支援系	
	項番	1. (1)	1. (2)	1. (3)	2. (1)	2. (2)
	掲載ページ					
製品・サービス名		Campus-Xs	codemariクラウド サービス	Now Platform for コネクテッドキャン パスサービス	Ufinity研究者業績 サービス	画像AIアプリケー ションプラット フォーム
提供企業名		富士通	内田洋行	ServiceNow Japan	富士通	日立製作所
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	○	—
	製品	—	—	—	—	○
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	—	○	○	○	—
	プライベート	—	—	—	—	—
	その他	○	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	—	—	—	—
	PaaS	—	○	—	—	—
	SaaS	○	—	○	○	—
利用用途 分類	教育支援	○	○	○	—	—
	研究支援	—	○	○	○	○
	事務支援	○	○	○	—	—
	情報インフラ	○	○	○	—	—
	その他	—	—	○	—	—
契約実績	民間	—	—	—	非公開	非公開
	大学	100超	—	—	10校	非公開
契約	申込方法	注文書	注文書	注文書	注文書	注文書
	利用開始までの時間	ご相談	1.5か月程度	数営業日	ご相談	20営業日
	約款の有無	○	○	○	○	○
	契約修正の可能性	○	○	○	○	×
	データ保管場所	国内	国内	国内	国内	—
	データ削除規程	○	○	○	○	×
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	○	×	○	—	×
	実績稼働率	—	その他	○	×	—
	目標稼働率	○	その他	○	×	—
	ストレージ多重化	○	○	○	×	—
	バックアップ	○	○	○	○	×
	データ暗号化	×	○	○	×	×
	暗号化通信	○	○	○	○	×
機能	SINET接続	○	×	×	—	×
	VPN接続	○	×	○	—	×
	学認対応	○	×	○	○	×
	LDAP連携	○	×	○	×	×
	管理ツール	×	○	○	○	○
	API公開	×	×	○	×	×
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	24H×365D	平日営業時間	平日営業時間
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間	平日営業時間
	コンタクト方法	メール	電話・メール	電話・メール・ポータル	WEB	メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	—
	計画停止の頻度	月2回	不定期	不定期	月2回	—
	サービス停止の通知	事前通知	1週間以上前	事前協議	3カ月前	—
	ログの開示	×	○	×	○	○
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	×

比較表2

カタログ 掲載情報	掲載区分	2. 研究支援系			3. 事務支援系	
	項番	2. (3)	2. (4)	2. (5)	3. (1)	3. (2)
	掲載ページ					
製品・サービス名		Google Cloud	さくらの セキュアモバイル コネク	さくらのレンタル サーバ リセール 向けサービス	RoomSenseクラウ ドサービス	ウチダ 証明書学外発行 サービス
提供企業名		グーグル・クラウド・ジャパン	さくらインターネット	さくらインターネット	内田洋行	内田洋行
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	○	—
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	○
クラウド 区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	○	—	—	—	—
	PaaS	○	○	—	○	○
	SaaS	○	—	○	—	—
利用用途 分類	教育支援	○	—	○	—	—
	研究支援	○	○	○	○	—
	事務支援	○	—	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	—
	その他	○	○	—	—	○
契約実績	民間	—	非公開	非公開	非公開	—
	大学	—	非公開	非公開	非公開	6校
契約	申込方法	WEBサインアップ	申込書・その他(アマゾン)	注文書	注文書	申込書
	利用開始までの時間	即時	即日	5営業日	1.5ヶ月	4~6ヶ月
	約款の有無	○	○	○	○	○
	契約修正の可能性	○	○	○	○	○
	データ保管場所	国内・海外	国内	国内	国内	国内
	データ削除規程	○	○	○	○	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	○	×	×	×	○
	実績稼働率	その他	非公開	○(99.99%以上)	非公開	非公開
	目標稼働率	○	非公開	非公開	非公開	非公開
	ストレージ多重化	○	—	○	○	○
	バックアップ	○	×	○	○	○
	データ暗号化	○	×	×	○	○
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	○	○	×	×	○
	VPN接続	○	○	×	×	○
	学認対応	2022年1月対応予定	×	×	×	×
	LDAP連携	○	×	×	×	○
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	○	×	×	×
保守運用	障害対応時間帯	プランにより異なる	24H×365D	24H×365D	営業時間帯	営業時間帯
	Q&A対応時間帯	プランにより異なる	平日営業時間帯	平日営業時間帯	営業時間帯	9:00-20:00
	コンタクト方法	プランにより異なる	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	プランにより異なる	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	なし	不定期	不定期	不定期	年1回程度
	サービス停止の通知	サービスにより異なる	1週間前	1週間前	1週間前	2週間前
	ログの開示	サービスにより異なる	×	×	○	×
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表3

カタログ 掲載情報	掲載区分	3. 事務支援系				
	項番	3. (3)	3. (4)	3. (5)	3. (6)	3. (7)
	掲載ページ					
製品・サービス名		iLiswave-J 図書館 クラウドシリーズ	TWX-21 MRO 集中購買サービス	RICOH CHATBOT SERVICE	図書館情報システム LIMEDIOクラウド サービス	キャンパス手帳
提供企業名		富士通	日立製作所	リコー	リコー	リコー
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	—	○	○	—	○
	プライベート	—	—	—	—	—
	その他	○	—	—	○	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	—	—	—	—
	PaaS	—	—	—	—	—
	SaaS	○	○	○	○	○
利用用途 分類	教育支援	○	—	○	○	○
	研究支援	○	—	—	○	—
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	—	—	○	—
	その他	○	—	—	○	—
契約実績	民間	—	700社	200社	非公開	非公開
	大学	120校以上	非公開	17校	200校	非公開
契約	申込方法	注文書・契約書	営業問合せ	注文書	注文書	申込書
	利用開始までの時間	ご相談	2ヶ月～	5営業日	ご相談	1週間
	約款の有無	○	○	○	—	○
	契約修正の可能性	○	×	○	—	×
	データ保管場所	国内	国内	非公開	国内	国内
	データ削除規程	○	×	—	×	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	×	○	—	×
	実績稼働率	—	○ (99.5%以上)	○	—	×
	目標稼働率	—	非公開	○	×	×
	ストレージ多重化	○	○	○	○	○
	バックアップ	○	○	○	○	○
	データ暗号化	×	×	○	×	○
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	○	×	×	○	×
	VPN接続	○	×	×	○	×
	学認対応	○	×	×	○	×
	LDAP連携	○	×	×	○	×
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	×	×	×	×	その他
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	Webサイト	電話・メール	メール	電話・メール	メール
	対応インシデント数	無制限	ご相談	—	無制限	無制限
	計画停止の頻度	月1回夜間	月1回	不定期	×	年2回程度
	サービス停止の通知	3ヶ月前	事前通知有	3週間前	10営業日前	1週間前
	ログの開示	×	○ (コンテンツ)	×	×	×
	第三者認証取得状況	○	○	×	○	—

比較表 4

カタログ 掲載情報	掲載区分	3. 事務支援系				
	項番	3. (8)	3. (9)	3. (10)	3. (11)	3. (12)
	掲載ページ					
製品・サービス名		RICOH カンタンド キュメント活用	RICOH カンタン 名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん	RICOH カンタンス トレージ活用	RICOH カンタン バーコード活用 for Cloud	RICOH カンタン文 書申請 for Cloud
提供企業名		リコー	リコー	リコー	リコー	リコー
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	—	—	—	—
	PaaS	—	—	—	—	—
	SaaS	○	○	○	○	○
利用用途 分類	教育支援	—	—	—	—	—
	研究支援	—	—	—	—	—
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
契約実績	民間	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
	大学	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
契約	申込方法	申込書	申込書・WEB	注文書・WEB	申込書・WEB	申込書・WEB
	利用開始までの時間	1週間	1週間	1週間	1週間	1週間
	約款の有無	○	○	○	○	○
	契約修正の可能性	×	×	×	×	×
	データ保管場所	海外	海外	海外	海外	海外
	データ削除規程	○	○	○	○	○
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	×	×	×	×
	実績稼働率	×	×	×	×	×
	目標稼働率	×	×	×	×	×
	ストレージ多重化	—	—	—	—	—
	バックアップ	○	○	○	○	○
	データ暗号化	○	○	○	○	○
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	×	×	×	×	×
	VPN接続	×	×	×	×	×
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	×	×	×	×	×
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	×	×	×	×	×
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	24H×365D
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	年4回程度	年4回程度	年4回程度	年4回程度	年4回程度
	サービス停止の通知	—	—	—	—	—
	ログの開示	×	×	×	×	×
	第三者認証取得状況	—	—	—	—	—

比較表 5

カタログ 掲載情報	掲載区分	3. 事務支援系		4. 情報インフラ系		
	項番	3. (13)	3. (14)	4. (1)	4. (2)	4. (3)
	掲載ページ					
製品・サービス名		RICOH マーキング スキャン for データ 集計	RICOH マーキング スキャン for 文書保 管	NetApp Cloud Insights	Cloud Volumes ONTAP	Spot by NetApp
提供企業名		リコー	リコー	ネットアップ	ネットアップ	ネットアップ
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	○	○	○	○	○
	プライベート	—	—	○	—	—
	その他	—	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	—	—	○	—
	PaaS	—	—	—	—	—
	SaaS	○	○	○	—	○
利用用途 分類	教育支援	—	—	○	○	—
	研究支援	—	—	○	○	—
	事務支援	○	○	—	—	○
	情報インフラ	—	—	○	○	○
	その他	—	—	—	—	○
契約実績	民間	非公開	非公開	非公開	非公開	1,500社
	大学	非公開	非公開	非公開	非公開	—
契約	申込方法	申込書・WEB	申込書・WEB	注文書・WEB	注文書・WEB	注文書・WEB
	利用開始までの時間	2週間	1週間	数時間	数時間	数時間
	約款の有無	○	○	×	×	×
	契約修正の可能性	×	×	○	○	○
	データ保管場所	海外	海外	リージョン内	リージョン内	リージョン内
	データ削除規程	○	○	ホワイトペーパー開示	ホワイトペーパー開示	ホワイトペーパー開示
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規	日本国法・海外法規
	管轄裁判所	国内	国内	国内・海外	国内・海外	国内・海外
信頼性	SLA	×	×	○	○	○
	実績稼働率	×	×	非公開	非公開	非公開
	目標稼働率	×	×	非公開	非公開	非公開
	ストレージ多重化	—	—	×	○	○
	バックアップ	○	○	×	○	○
	データ暗号化	○	○	×	○	○
	暗号化通信	○	○	○	○	○
機能	SINET接続	×	×	○	○	×
	VPN接続	×	×	○	○	○
	学認対応	×	×	×	×	×
	LDAP連携	×	×	×	○	○
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	×	×	○	○	○
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	24H×365D	24H×365D	24H×365D
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	24H/5D	24H/5D	24H/5D
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	年4回程度	年4回程度	クラウド事業者に依存	クラウド事業者に依存	クラウド事業者に依存
	サービス停止の通知	—	—	クラウド事業者に依存	クラウド事業者に依存	クラウド事業者に依存
	ログの開示	×	×	×	○	○
	第三者認証取得状況	—	—	○	○	○

比較表6

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4. (4)	4. (5)	4. (6)	4. (7)	4. (8)
	掲載ページ					
製品・サービス名		Nutanix Cloud Platform (Nutanix Cloud Infrastructure)	Nutanix Cloud Platform (Nutanix Cloud Management)	リモートアクセスシステムDoMobile	エンタープライズクラウドサービス G2	フェデレーテッドクラウド
提供企業名		Nutanix Japan	Nutanix Japan	日立製作所	日立製作所	日立製作所
製品・サービス区分	サービス	—	○	○	○	○
	製品	○	○	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド区分	パブリック	—	○	○	○	—
	プライベート	○	○	—	—	—
	その他	—	—	—	—	○
パブリッククラウド区分	IaaS	○	—	—	○	—
	PaaS	—	—	—	—	○
	SaaS	—	○	○	—	—
利用用途分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	○	○	○	○
契約実績	民間	非公開	非公開	2,500社以上	非公開	非公開
	大学	非公開	非公開	—	非公開	非公開
契約	申込方法	注文書	注文書	営業問合せ	営業問合せ	営業問合せ
	利用開始までの時間	2か月前後	2か月前後	5営業日～	5営業日～	最短5営業日
	約款の有無	○	○	×	×	×
	契約修正の可能性	×	×	その他	その他	その他
	データ保管場所	国内	国内	国内	国内	非公開
	データ削除規程	×	×	その他	×	×
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	99~99.999%	99~99.999%	○	99.00%	ご相談
	実績稼働率	その他	その他	非公開	—	ご相談
	目標稼働率	その他	その他	非公開	○	○(99.95%)
	ストレージ多重化	○	○	非公開	○	○
	バックアップ	○	○	○	○	ご相談
	データ暗号化	○	○	その他	×	○
	暗号化通信	×	×	○	×	○
機能	SINET接続	○	○	×	×	×
	VPN接続	○	○	×	○	○
	学認対応	○	○	×	×	×
	LDAP連携	○	○	○	×	×
	管理ツール	○	○	○	○	○
	API公開	○	○	×	×	×
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	24H×365D	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	Q&A対応時間帯	24H×365D	24H×365D	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	電話・サポートフォーム	電話・サポートフォーム	メール	メール	メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	非公開	無制限	ご相談
	計画停止の頻度	×	×	非公開	月1回	月1回
	サービス停止の通知	—	—	2週間前	1ヶ月前	1ヶ月前
	ログの開示	○	○	○	×	×
	第三者認証取得状況	○	○	○	○	○

比較表7

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4. (9)	4. (10)	4. (11)	4. (12)	4. (13)
	掲載ページ					
製品・サービス名		出前クラウド サービス	Hitachi Managed VMware Cloud™ on AWS	クラウド移行アセス メントサービス	プラットフォーム向け モダナイゼーション支 援サービス	コンテナ環境構築・ 運用サービス
提供企業名		日立製作所	日立製作所	日立製作所	日立製作所	日立製作所
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	—	○	○	○	○
	プライベート	○	—	○	○	○
	その他	—	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	○	○	○	○	○
	PaaS	—	—	○	○	○
	SaaS	—	—	○	○	—
利用用途 分類	教育支援	○	○	○	○	○
	研究支援	○	○	○	○	○
	事務支援	○	○	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	○	○	○	○
契約実績	民間	数十社	非公開	非公開	非公開	非公開
	大学	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
契約	申込方法	営業問合せ	営業問合せ	営業問合せ	営業問合せ	営業問合せ
	利用開始までの時間	3ヶ月～	1.5ヶ月～	個別調整	個別調整	個別調整
	約款の有無	×	×	×	×	×
	契約修正の可能性	その他	ご相談	その他	その他	その他
	データ保管場所	国内	国内	国内	国内	国内
	データ削除規程	—	—	×	×	×
	準拠法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	×	—	—	—
	実績稼働率	ご相談	ご相談	—	—	—
	目標稼働率	ご相談	ご相談	—	—	—
	ストレージ多重化	○	○	—	—	—
	バックアップ	ご相談	ご相談	—	—	—
	データ暗号化	○	○	—	—	—
	暗号化通信	ご相談	ご相談	—	—	—
機能	SINET接続	×	×	—	—	—
	VPN接続	○	○	—	—	—
	学認対応	×	×	—	—	—
	LDAP連携	ご相談	ご相談	—	—	—
	管理ツール	○	○	—	—	—
	API公開	×	×	—	—	—
保守運用	障害対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	—	—	—
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	—	—	—
	コンタクト方法	メール	メール	—	—	—
	対応インシデント数	年間5件	ご相談	—	—	—
	計画停止の頻度	不定期	×	—	—	—
	サービス停止の通知	ご相談	ご相談	—	—	—
	ログの開示	×	×	—	—	—
	第三者認証取得状況	○	○	—	—	—

比較表 8

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系				
	項番	4. (14)	4. (15)	4. (16)	4. (17)	4. (18)
	掲載ページ					
製品・サービス名		日立 データセン ターサービス	WisePoint8	さくらのVPS	さくらのクラウド	さくらの 専用サーバ
提供企業名		日立製作所	ファルコンコンサルティング	さくらインターネット	さくらインターネット	さくらインターネット
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	○	○	○
	製品	—	○	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—
クラウド 区分	パブリック	—	○	○	○	○
	プライベート	—	○	—	—	—
	その他	○	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	○	○	○	○
	PaaS	—	—	—	—	—
	SaaS	—	—	—	—	—
利用用途 分類	教育支援	○	—	○	○	○
	研究支援	○	—	○	○	○
	事務支援	○	—	○	○	○
	情報インフラ	○	○	○	○	○
	その他	○	—	—	—	○
契約実績	民間	非公開	360社	非公開	非公開	非公開
	大学	非公開	40校	非公開	非公開	非公開
契約	申込方法	営業問合せ	注文書	WEB	WEB	WEB
	利用開始までの時間	ご相談	1週間	即時	即時	即時～数営業日
	約款の有無	○	—	○	○	○
	契約修正の可能性	○	—	○	○	○
	データ保管場所	国内	—	国内	国内	国内
	データ削除規程	○	—	○	○	○
	準拠法	日本国法	—	日本国法	日本国法	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	—	×	○ (99.95%)	○ (99.95%)
	実績稼働率	その他	—	非公開	非公開	非公開
	目標稼働率	○	—	非公開	非公開	非公開
	ストレージ多重化	×	—	○	○	○
	バックアップ	×	—	○	○	×
	データ暗号化	×	—	×	×	×
	暗号化通信	×	—	○	○	○
機能	SINET接続	個別接続可能	—	○	○	○
	VPN接続	個別接続可能	—	○	○	○
	学認対応	×	○	×	×	×
	LDAP連携	×	○	×	×	×
	管理ツール	×	○	○	○	○
	API公開	×	×	×	○	×
保守運用	障害対応時間帯	24H/365D	平日営業時間帯	24H×365D	24H×365D	24H×365D
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯	平日営業時間帯
	コンタクト方法	電話・メール	メール	電話・メール	電話・メール	電話・メール
	対応インシデント数	無制限	—	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	不定期	—	不定期	不定期	不定期
	サービス停止の通知	1ヶ月前	—	1週間前	1週間前	1週間前
	ログの開示	×	○	×	×	×
	第三者認証取得状況	○	—	○	○	○

比較表 9

カタログ 掲載情報	掲載区分	4. 情報インフラ系	5. その他		
	項番	4. (19)	5. (1)	5. (2)	5. (3)
	掲載ページ				
製品・サービス名		SINET接続サービス	IT資産管理/ セキュリティ管理 ASSETBASE	ソフトウェア 配布提供システム Download Station	Microsoft Office 学生向け特別プラン U365
提供企業名		さくらインターネット	内田洋行	内田洋行	内田洋行
製品・サー ビス区分	サービス	○	○	—	—
	製品	—	—	○	—
	その他	—	—	—	○
クラウド 区分	パブリック	○	○	—	○
	プライベート	—	○	○	—
	その他	—	—	—	—
パブリック クラウド 区分	IaaS	—	—	—	—
	PaaS	—	—	—	—
	SaaS	—	○	—	○
利用用途 分類	教育支援	○	—	—	—
	研究支援	○	—	—	—
	事務支援	○	—	—	—
	情報インフラ	○	—	—	—
	その他	○	○	○	○
契約実績	民間	非公開	約70社	非公開	—
	大学	非公開	約50校	非公開	約200校超
契約	申込方法	申込書	営業問合せ	営業問合せ	営業問合せ
	利用開始までの時間	1か月程度	5営業日(SaaS)	5営業日	10営業日
	約款の有無	○	○	○	×
	契約修正の可能性	○	○	○	×
	データ保管場所	国内	国内	導入環境に依存	国内
	データ削除規程	○	○	ご相談	○
	準拠法	日本国法	日本国法	導入環境に依存	日本国法
	管轄裁判所	国内	国内	国内	国内
信頼性	SLA	×	○(約款による)	導入環境に依存	○
	実績稼働率	その他	○(99.99%以上)	導入環境に依存	○(99.99%以上)
	目標稼働率	その他	○(99.9%)	導入環境に依存	○(99.9%)
	ストレージ多重化	—	○	導入環境に依存	○
	バックアップ	○	○	○	○
	データ暗号化	×	×	×	○
	暗号化通信	○	○	○	○
機能	SINET接続	○	ご相談	ご相談	×
	VPN接続	○	○	○	×
	学認対応	×	ご相談	ご相談	×
	LDAP連携	×	○	○	×
	管理ツール	×	○	○	×
	API公開	×	×	×	×
保守運用	障害対応時間帯	24H×365D	営業時間帯	営業時間帯	営業時間帯
	Q&A対応時間帯	平日営業時間帯	営業時間帯	営業時間帯	営業時間帯
	コンタクト方法	電話・メール	電話・メール	電話・メール	メール
	対応インシデント数	無制限	無制限	無制限	無制限
	計画停止の頻度	不定期	年2回程度	導入環境に依存	年1回程度
	サービス停止の通知	1週間前	2週間前	運用規定に依存	2週間前
	ログの開示	×	○	○	×
第三者認証取得状況	○	○	○	○	

7. 大学におけるクラウド導入事例

クラウドソリューションの具体的な適応事例として、大学等におけるクラウド導入事例は様々な示唆に富んでいます。各ソリューションベンダから大学等におけるクラウド導入事例を提出いただき掲載します。

事例：サウスカロライナ大学

学生生活を幅広くサポート

課題

ITマネジメントシステムを効率的かつシンプルにして、大学サービスのDXを加速する。

製品

- ServiceNow® Customer Service Management
- ServiceNow® IT Service Management

大学が提供するものは、教育だけではなく、キャンパスは暮らしに必要なものが揃ったひとつの街のように機能しており、住宅、食料品、交通、雇用、医療、治安など、大学が学生に対して負う責任は多岐にわたります。行政機関が住民のエクスペリエンスをシンプルにすることを大切にしているのと同じように、大学は学生たちからの問い合わせに対応し「いつでも、どこでも」助けを得られること、一貫したエクスペリエンスを提供できることを大切にしています。

大学は、学生に対するサービスを一元化するために、かつてはバラバラだった部門をつなぐテクノロジープラットフォームのアプローチを採用することで、学生一人一人とどのように接しているかを全体的に把握できます。この変化にあたっては、テクノロジーだけではなく、学生にサービスを提供する人々やプロセスにも焦点を当てる必要があります。

ナレッジを価値あるアセットに変える

サウスカロライナ大学は、学生がキャンパスに通うために引越しをする週が、問い合わせ窓口のピークであることが分かっていました。ITグループは、ServiceNowを使ったナレッジベースの構築に力を注ぎ、普段の業務で作成した情報や文書にリンクした直感的なポータルサイトを作り、学生がセルフサービスによる解決を選べるようにしました。

ピーク時には1週間で2,200件の問い合わせがありました。このナレッジベースを導入したことで、これらの電話のうち450件を、セルフサービスによって自分自身で解決できるWebサイトに誘導できました。その結果、1週間で約8,000ドルのコスト削減に成功しました。

別の事例もあります。サウスカロライナ大学は、ログインの多要素認証方式に短期間で移行するためにナレッジベースを活用しました。ナレッジベースを利用した人の多くは、それ以上の連絡を取らずに問題を解決できました。ナレッジ記事を読んだうえでチケットを起票した人は、わずか16%にとどまりました。

学校は、生徒が学んでいるテーマに関する知識を身につけるためにあります。知識と自己発見に対するこの同じ価値観は、教育機関が学習というビジネスにおいて学生にどのようにサービスを提供するかにも引き継がれています。

“ ServiceNowは、私たちがデジタルエクスペリエンスのすべてにわたるオーナーシップを発揮できるようにするための架け橋です。

Trevor Jerue
Knowledge Manager
University of South Carolina

記事を読んだ上で
チケットを起票

16%

事例：サンフランシスコ大学

教職員の情熱によって
従業員エクスペリエンスを向上

課題

サービスポータルを変革し、より包括的なサービスとナビゲーション環境を構築する。

製品

- ServiceNow® IT Service Management
- ServiceNow® IT Business Management
- ServiceNow® IT Operations Management

教師は本質的に、事実と計測を大切にしています。これは、彼らが行う研究や、情報の活用や記憶について生徒をテストし、成績をつける方法からも明らかです。教育機関の教職員にサービスを提供する際、事務スタッフはこのデータに対する信念を利用できます。研究に情熱を傾ける教育環境においては、ナレッジベースの記事によるセルフサービスへの移行が、他の業界に比べてうまく進む傾向があります。

ナレッジベースを作成するには、共有型のサービスモデルを介して情報と対応を一元化する作業が必要です。ServiceNowは、分散した人事機能を集中型の仕組みに移行する多くの組織を支援してきました。この集中型の仕組みでは、セルフサービスと従業員サポートサービス全体の可視化を組み合わせ、教職員のニーズをよりよくサポートし、適切な支援を適切なタイミングで従業員に提供することができます。

ホームページからの脱却

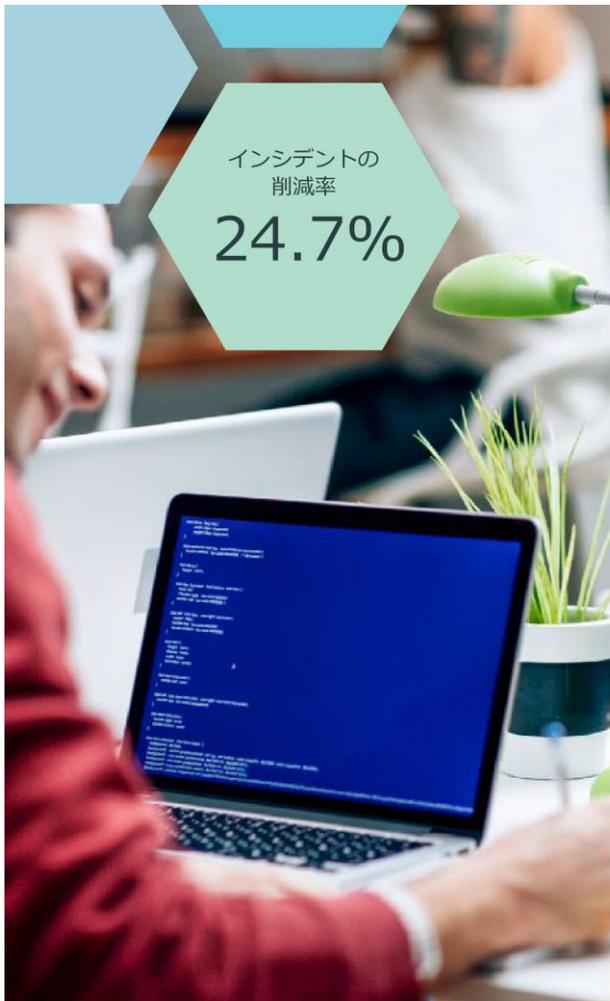
ひとつの問い合わせ窓口となるカスタマーポータルの構築を目指す組織は多く、ServiceNowを使う多くのお客様も、ポータルとホームページは異なるものだと気づいています。ホームページは静的になりがちで、それぞれの訪問者にはあっていません。また、作業を進める過程では、依然としてメールに頼っています。DXに取り組むグループは、ホームページのコンセプトを進化させて、サービス管理システムと直接連携し、問い合わせと対応のための単一のワークフローを作成して、それぞれのユーザーに個別のエクスペリエンスを提供しています。

例えば、サンフランシスコ大学では、セルフヘルプと自動化を進め、ユーザーが自分自身で解決できるようにし、解決までの時間を短縮したいと考えていました。スタッフは、ITの問題を解決するための最良の方法がわかりませんでした。電子メールが届いていないと思い、何度もヘルプデスクに電話をかけてしまうことで、問い合わせが重複することもありました。

ITサービスポータルを作成するにあたり、チケットをすぐに作成するという選択肢は省きました。その代わりに、ユーザーには直感的な検索インターフェースを提供し、セルフサービスを促しました。この仕組みによって、1年間にメールや電話が5,000件減少しました。スタッフがポータルに慣れてくると、ナレッジ記事の閲覧数が20,000件増加し、ポータルの利用が増えました。チケットが作成されると、ユーザーはヘルプデスクに問い合わせることなくポータル上で状況を確認できます。これが、解決までの時間が1年後には9日から6日に、2年後には1.7日に短縮された要因のひとつです。

“ 我々は12年前にRemedyからServiceNowに移行しました。サービスポータルによって、最初の年だけでインシデントを2,500件も削減できました。

Product Manager
University of San Francisco



インシデントの
削減率
24.7%

servicenow

事例：ウェスタン・ガバナーズ大学

教育のITをスマートに

課題

限られた期間でバーチャルエージェントとAIによる予測アプローチの両方をリリースし、作業時間を大幅に短縮する。

製品

- ServiceNow® ITSM Professional
- ServiceNow® Predictive Intelligence
- ServiceNow® Virtual Agent

教室において、そして教育ビジネスにおいてもテクノロジーへの要求が急激に高まるなか、教育機関のITチームは、ハードワークではなくスマートワークの方法を学ぶ必要があります。その鍵は次のとおりです。

- ルーチンワークの自動化
- ナレッジベースによるセルフサービスの実現
- タスクの優先順位付けのための測定と評価基準
- プロアクティブなサポートのための予測分析

DXを進める組織は、自動化やセルフサービスを導入し、日々のワークフローから十分なデータを収集して、これらの取り組みの成果を示す指標を提示しています。

ある大学では、ServiceNowのバーチャルエージェントとコンテキスト検索を組み合わせたセルフサービスを導入し、インシデントを月に24.7%減少させました。起票されたインシデントについては、初回のコンタクトで85%、2回目のコンタクトで96%をクローズできました。さらに、かかってきた電話の内容から、セルフサービスを支えるナレッジベースに変更を加えるための情報を得られます。例えば、ナレッジ記事を読んだ後に問い合わせがあった場合は、提供された資料が明確ではなく、人々が実際に抱えている問題に対応していないことを示しています。

このような成功を取めた組織は、AIや機械学習技術を組み込んだITサービスの予測的アプローチを行い、デジタル成熟度を次の段階に引き上げています。



サービスデスクが
毎月節約できた時間
100時間

100%
ティア1担当者の
満足度

servicenow

ティア「ゼロ」サポートの導入

ウェスタン・ガバナーズ大学（WGU）は、教職員のニーズに応えるため、サービスデスクの効率化を模索していました。そこで、ServiceNowが備えるバーチャルエージェント機能を利用して、ティア0のサポートを始めることにしました。スタッフがServiceNowのサイトにアクセスすると、バーチャルエージェントを使ってチケットのステータスを確認できます。また、ユーザーの質問に答えるために、ナレッジ記事へのリンクを提供しました。

さらに導入を進めるために、ITグループはMicrosoft Teamsにもバーチャルエージェントを組み込みました。これは好評で、ユーザーはバーチャルアシスタントが以前の方法よりも75%も速くなったことを喜びました。案件をアシスタントに委ねることで、サービスデスクは月に100時間近くも時間を節約しています。

バーチャルアシスタントの成功をさらに発展させるために、WGUはティア1コンタクトにAIによる予測分析を導入しています。現在、この技術はチケットのカテゴリとサブカテゴリを自動的に識別するために使用されており、サービススタッフは月に17,000件のインシデントを処理する際にこれらのセクションを記入する必要がありません。この分析は86%の精度で行われており、電話1回あたりの通話時間を15秒短縮し、ティア1担当者の満足度は100%に達しています。

“ ServiceNowは、優れたサービスを提供し、イノベーションを推進するために必要な、インテリジェントなプラットフォームです。

Manager, Software Engineering,
Western Governors University

流通経済大学

業務パッケージをSINET経由で、クラウド化。接続に「さくらのクラウド」を採用

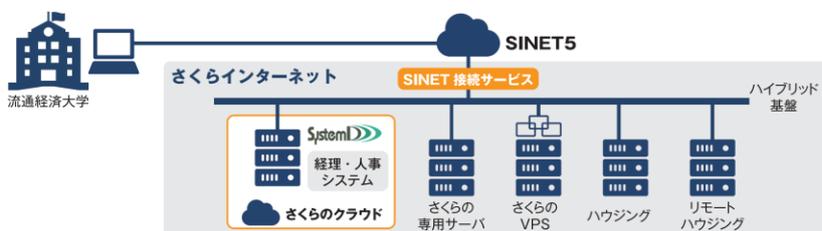
流通経済大学は、経理・人事システムが稼働しているサーバの更新に伴い、「さくらのクラウド」の月額定額サーバに移行しました。同大学ではICTを活用した効率的かつ継続的な業務遂行の観点から、早い段階で少しずつクラウド化を進めており、経理・人事システム移設を経て、キャンパス内に設置されたシステム用サーバがなくなり、クラウド化のロードマップが完了しました。同大学が「さくらのクラウド」を採用した大きな理由は、大学や研究機関のネットワークでありセキュアに接続できるSINETと接続できるからです。

「学生ファースト」な流通経済大学

流通経済大学は、戦後の日本経済発展と国際化に対応できる高度な物流の研究と人材育成を目的として1965年に設立されました。当初は経済学部経済学科のみの単科大学でしたが、現在では5学部9学科を擁する中規模の総合大学に発展しました。

「2006年にはスポーツ健康科学部を開設し、開学以来スポーツにも力を入れています。私も硬式野球部に所属していました」と同大学出身の若山昌弘氏（経理課）は部活の日々を思い返します。特にサッカー部とラグビー部が強く、江坂任さんや中島イシレリさんなどプロ選手を多数輩出していることで知られています。

同大学の特徴として、1年生は入学式の次の日からゼミに所属することが挙げられます。これは学生に有意義なキャンパスライフを過ごしてもらうための配慮で、教員からの手厚いサポートと学友との親密な関係を早期に構築することがねらいです。またキャンパスは茨城県龍ヶ崎市と千葉県松戸市にあり、学部によっては、2つのキャンパスから好きな方を選んで通学できる「キャンパス選択制」を導入し



ています。この制度により、教員はキャンパスを行き来して、同じ内容の授業を行うこととなりますが、学生の成長と個々の事情を優先する「学生ファースト」な大学と言ってよいでしょう。

SINET経由でさくらのクラウドに接続し、経理・人事システムを利用

流通経済大学は、株式会社システムディが提供する学園向けの業務パッケージをさくらのクラウドに導入して利用しています。また、さくらインターネットへは、日本全国の大学や研究機関を結ぶSINET経由で接続しています。

「SaaSがあれば採用したのですが、残念ながら学園向けの経理・人事システムでは見当たりません。そこでさくらのクラウドをPaaSとして利用し、システムディ

のパッケージをそちらに導入しました」と同大学のシステム導入リーダーである青砥光一氏は説明します。

クラウド化で停電、災害などの不安から解放

学生の個人情報や研究内容の漏えいを不安視して、クラウド化に難色を示す大学も多い中、流通経済大学では5年あまりの年月をかけて、徐々にオンプレミスのサーバを撤去してきました。

「少ない人数でシステム運用を行っていますので、5年に1回のサーバ更新は大きな負担です。またキャンパスが2カ所あるので、龍ヶ崎キャンパス側で停電があったときには新松戸キャンパス側も影響を受けることになります。そこでサーバを更新するたびにクラウドまたはハウジングサービスにシ

導入前の課題

- サーバの更新の労力とコストが大きな負担
- システムの安定稼働について不安
- SINET接続に対応している業者が少ない

導入後の効果

- サーバの更新の必要がなくなった
- システムの継続的な運用に関する安心感
- SINET接続により安心して利用

システムを移行してきました」と情報部門事務部長の鈴木武氏は説明します。2011年の東日本大震災でサーバ室に影響があったり、別な年には雷による停電でシステムが停止したこともあって、BCP（事業継続計画）に真摯に取り組むことになりました。

クラウド化は世の中の流れであり、セキュリティに関しても必要とするレベルには既に達しているという判断でした。それよりも短いスパンでのシステム更新にかかる労力とコストが不要なこと、業務の継続という観点から安心感が強いこと、定額料金のサービスを選択すればコストの見通しが容易なことなど、クラウド化のメリットの方がはるかに大きいと同大学では評価しています。

なお、クラウド化はシステムディの経理・人事パッケージの導入を経て、その他システムも徐々に進めた結果、すべて外部に設置することにより完了し、現在はバックアップ用のサーバを残すだけになりました。

さくらのクラウドを選んだ理由

経理・人事パッケージの導入先としてさくらのクラウドを選んだ理由は、大きく3つありました。

1つめは、L2閉域網に対応していたことです。これはインターネットから直接アクセスを受けない安全な接続をするための方式で、SINET経由で外部サービスを利用する場合には必須条件ですが、対応しているサービスはそれほど多くありません。

2つめは、他社と比較して低価格なことです。

3つめは、システムディの経理・人事パッケージが要求するスペックのサーバを用意できることでした。

「さくらのクラウドが3つの条件をクリアしていた上に、以前からさくらのレンタルサーバを利用していたこともあり、信頼感もありました」と青砥氏は採用理由を説明します。

日本の会社だからこそのきめ細かい対応で労力なく導入が完了

クラウドサーバおよびパッケージの導

ご担当者の声



学校法人日通学園
流通経済大学
<https://www.rku.ac.jp/>

住所 龍ヶ崎キャンパス
茨城県龍ヶ崎市120
新松戸キャンパス
千葉県松戸市新松戸3-2-1
設立 1965年
学部 経済学部/社会学部/流通情報学部/法学部/スポーツ健康科学部



流通経済大学
図書情報グループ事務部長
兼情報システム課長
鈴木武氏



流通経済大学
図書情報グループ
情報システム課係長
青砥光一氏



流通経済大学 経理部 経理課
若山昌弘氏

入はスムーズに完了し、何一つ問題は起こりませんでした。

「さくらのクラウドはボタン1つで完了するぐらい簡単に導入できますが、クラウド導入も含めてシステムディに全ての作業をお願いしました。その際にさくらインターネットがシステムディに対する直接の窓口を設けてくれ、両方でコミュニケーションをとりながら導入を進めてくれました。おかげで本学の負担はありませんでした」（青砥氏）。

AWSやAzureなど海外のクラウドベンダーの場合は、ユーザ責任で導入し、彼らは一切関与しません。「日本の会社だからこそのきめ細かい対応です」と流通経済大学では評価しています。

クラウド対応しないベンダーに対して積極的に働きかけて欲しい

経理・人事システムに加え2020年には、学生や教員が利用するプリント管理システムも「さくらのクラウド」に移設し、他

のシステムを含めてクラウド化がほぼ完了したため、今後も新システムの導入を企画する際は、プラットフォームとして、さくらのクラウドを候補の一つに入れて検討したいとのことでした。

「それよりも、パッケージシステムベンダーの中には、クラウドへの導入を渋る会社はまだあります。どこまで動作保証するかという問題があるからです。そこでさくらインターネットにはパッケージシステムベンダーと協業して、パッケージのクラウド化を進めていただきたい。『Aというシステムなら、さくらのクラウド』ということになれば、さくらのクラウドを採用する人も増えるはずですよ」と、さくらインターネットへの期待を青砥氏は語ってくれました。

ご紹介したサービス

- ▶ さくらのクラウド
- ▶ SINET 接続サービス

お問い合わせ、資料請求 本件に関する詳細など、お問い合わせ、資料請求は下記までご連絡ください。

さくらインターネット株式会社

【大阪本社】 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 35F
【東京支社】 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-20-1 住友不動産西新宿ビル 33F
【福岡オフィス】 〒810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂1-12-15 読売福岡ビル 7F

▶ E-MAIL eigy@sakura.ad.jp ▶ TEL 0120-380397 [受付時間] 平日10:00~18:00 (土日・祝祭日を除く)

※本取材内容は2020年9月時点の情報です

散在する部門システムを統合し、病院情報システムの運用管理業務を効率化

Nutanix Cloud Platformを活用して、手術部支援システムや重症部門支援システムなど14システムを仮想化

導入によるビジネスのメリット

- 既存病院システム環境の整理により、医学部と病院の移転に伴う作業負荷を軽減
- 仮想化環境の一元管理による、運用の効率化
- スモールスタートおよびシステムの分離調達によるコスト最適化と可用性の向上
- 将来的なパブリッククラウド移行への準備
- 戦略的なIT活用によるサービス向上



「中長期的には病院システムのパブリッククラウド移行を視野に入れており、あらかじめ仮想化しておくことで将来のクラウド移行もスムーズに進むと考えています」

– 医学部・病院運営本部
ITグループ 情報システム課
技術課長補佐
布江田 隆允 氏

近畿大学病院の概要

学校法人近畿大学 近畿大学病院(以下、近畿大学病院)は、大阪府大阪狭山市にキャンパスを構える近畿大学医学部の附属病院です。病床数929床を有し、外来患者を1日当たり約2,300人受け入れる、大阪府南部で唯一の大学病院として長年にわたり地域の医療を支え続けています。

課題

近畿大学病院では、合わせて約60の医療系システムが稼働しており、これらを医学部・病院運営本部 ITグループ情報システム課の9名のメンバーが、外部ベンダーのサポートを得ながら企画・構築・運用しています。同院は現在、医学部・病院システムの移転計画および移転後のシステム企画・設計に取り組んでいますが、病院情報システム(HIS)において「既存システム環境の整理」という課題を抱えていました。

業界

医療業界

課題

- 病院内に散在する部門システムの整理
- 数十の部門システムの煩雑な運用と非効率なコスト負担
- 病院情報システムの簡素化とシステム運用の内製化

アプリケーション

病院情報システム(HIS)

- 手術部支援システム
- 重症部門支援システム
- その他、12の病院系システム

ソリューション

Nutanix Cloud Platform

- Nutanix AOS
- Nutanix Prism
- Nutanix AHV

NUTANIX™

©2021 Nutanix, Inc. All Rights Reserved

医学部・病院運営本部 ITグループ 情報システム課の布江田 隆允氏は、「これまで各部門で個別にシステムを導入していたため、さまざまな用途でたくさんの物理サーバが散在していました。移転を見据え、既存のシステム環境を整理・集約しないと移転時の手間やコストがかさみ、移転後のシステム設計も煩雑になってしまうと考えていました」と語ります。

ソリューション

課題解決のために同院が目をつけたのが、Nutanixのハイパーコンバージドインフラストラクチャー (HCI) でした。移転を控え、不確定な要素も多い状況で集約を迅速かつ無駄なく進めるためには、従来の3層構成ではなく、拡張性の高いNutanix Cloud Platformが最適と判断しました。

布江田氏は「HCIはリソース量を柔軟に設定できるため、システムリソースを効率的に活用できます。まず『スモールスタート』で一部の部門システムを集約し、その後必要に応じて段階的に拡張し、ソフトウェアとハードウェアの分離調達を実現することで、可用性の向上と保守費用の削減ができると考えました」と述べています。

Nutanixの導入に合わせ、手術部支援システムや重症部門支援システム (ICU) を含む14のシステムを統合しました。

さらに、布江田氏はNutanix Cloud Platformの提案を行った兼松エレクトロニクス株式会社 (KEL) が「過去に導入支援されたほかの大学病院の事例は当院のシステム構成と共通点が多く、HCIソリューションに関するKELの優れた実績や知見が最終的な決め手の1つになりました。保守についても丁寧に対応していただいているのでとても助けています」と語ります。

導入効果

Nutanixの導入効果について、布江田氏は「これまで運用してきた部門システムの多くは、リソースを十分に使いきれずコストパフォーマンスが悪かったのですが、Nutanixにより効率的に運用できるようになりました」と語っています。

これまでは院内に散在する物理サーバの稼働状況を個別にチェックする必要がありましたが、統合管理ツールNutanix Prism上ですべての仮想マシンの稼働状況を一元的に管理できるようになったため、管理効率が大幅に向上しました。「動きがおかしいという問い合わせがあった際もNutanixの画面を見るだけで、その他のシステムに波及していないかまで確認ができます。Nutanixは、トラブル時により効果を発揮してくれると感じています」と布江田氏は説明します。

さらに、布江田氏は「Nutanix導入後は、各アプリケーションに提供する仮想マシンを払い出すだけで、すぐに移行・構築作業を始められます。以前はシステムを刷新するために、物理サーバを調達してセットアップ作業を行う必要がありましたが、今は短時間かつ自前でアプリケーション環境を構築できるようになりました」と語ります。

「これまでサーバごとに用意していたバックアップ機器やストレージ、UPSなども集約できるようになり、それらの設置に伴う電源工事やネットワーク工事も必要なく、大幅にコストを削減できました。特にインフラ工事にまつわるコスト削減効果は、実際に導入してみて初めて気付いたメリットでした」と布江田氏は話します。

今後の展開

当初予想した以上にNutanix Cloud Platformによる統合の効果が得られているため、眼科部門システムや薬剤部門システムなど大規模システムの統合に向けて、Nutanix環境のさらなる拡張を予定しています。また、その他の周辺システムや、大学・病院の移転に伴い新たに構築するADサーバやDHCPサーバ、認証サーバなどの基盤機能についても、Nutanix上に統合していく計画です。

「中長期的には病院情報システムのパブリッククラウド移行も視野に入れており、あらかじめHCIで仮想化しておくことで、将来のクラウド移行もスムーズに進むと考えています。スマートフォン等を用いた患者サービスや5Gなどを活用した遠隔診療モデル、AIを用いた臨床意思決定支援システム (CDS)、ビッグデータの教育や医療への活用など、医学生や医療従事者、患者の方々が広く恩恵を受けられる仕組みをITで実現したいと考えています」と布江田氏は今後について語ってくださいました。



info-jp@nutanix.com | www.nutanix.com/jp

©2021 Nutanix, Inc. All rights reserved. NutanixはNutanix, Inc.の米国その他の国における商標です。その他の社名、製品名、ロゴ等は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本書に記載した情報は、予告なしに変更される場合があります。

04/2021

教育研究・医療基盤を支える先進的な
Enterprise Cloud OS。
安定した仮想化基盤で意識する
必要のない容易な運用を実現。



仮想化基盤の最適解として 慶應義塾が選んだNutanix

導入の背景

福澤諭吉が1858年に江戸に開いた蘭学塾から始まった慶應義塾。小学校から大学・大学院までを擁する、日本で最も長い歴史を持つ総合学塾です。1920年には北里柴三郎が初代病院長を務めた慶應義塾大学病院を開院。現在では特定機能病院として、31の診療科とその他30の部門を有しています。

慶應義塾はキャンパスや大学病院ごとに情報技術基盤を管理・運用・支援する部門を設置しており、教育機関全体としては、インフォメーションテクノロジーセンター（以下、ITC）が、大学病院では病院情報システム部が、その役割を担っています。また、全塾で利用するキャンパス横断的なシステムはITC本部が、キャンパスごとのシステムはキャンパスITCがそれぞれ運用管理を担当しています。

各キャンパスITCの課題は、教育研究系の各システムが稼働する仮想環境の運用管理でした。以前に芝共立ITCを担当し、現在、日吉ITC 事務長を務める中村進氏は「芝共立ITCに所属していた当時、システムごとに設置された物理サーバー環境から、共有ストレージを利用した仮想環境に移行しました。しかし、年月が経つと、ディスク障害が発生し、ディスク交換後にRAIDコントローラとディスクのファームウェアの整合性がうまく保てなくなり、仮想化基盤を停止せざるを得ない事態に陥ったこともありました。リプレイス時期が迫っていたため、耐障害性の高い仕組みを検討することになりました」と語っています。

時期は異なるものの、湘南藤沢キャンパスを担当する湘南藤沢ITC 山方崇氏も、物理サーバーで運用してきた大学院生向けに仮想サーバーを払い出すVPS (Virtual Private Server) 環境を刷新する際に、新たな仮想化基盤を検討していました。「以前、キャンパス内の仮想化基盤は物理サーバーごとにVMware vSphere Hypervisor、いわゆるESXiを導入し、それを直接VMware vCenter Serverで束ねて管理していましたが、管理の煩雑さからブレードサーバーへ移行していました。効率的に管理できるクラウド基盤ソフトウェアを検討したこともありました」と山方氏。今回改めてVPS環境の刷新にあたり、最適な仮想化基盤を再び検討することになりました。

ITC本部でも、これまで複数のキャンパスに冗長化して展開していた、3層構成の全塾向けシステムが稼働する仮想化基盤のリプレイスを検討していました。「リプレイスの際に無停止のまま移行でき、簡単にスケールアウトできる基盤を求めています」とITC本部 宮本靖生氏は振り返ります。さらに、慶應義塾大学病院 病院情報システム部 主任 大貫亮氏は「以前から院内のシステムをブレードサーバー上の仮想環境で運用していましたが、拡張性やSANそのものに限界を感じており、新たな基盤の検討を始めました」と言います。それぞれ課題は異なるものの、仮想化基盤の運用管理を容易にする、新たな仕組みを求めています。

ソリューション

最初にNutanixの導入を決めたのは、芝共立キャンパスでした。中村氏がセミナーでNutanixのEnterprise Cloud OSを知ったのがきっかけでした。「どちらかと言えば、これまで芝共立ITCでは保守的な選択を行ってききましたが、リスクの高い共有ストレージの運用から脱却したいと考えていました。人的リソースも限られており、できる限り運用を簡素化できる仕組みが欲しかったのです」と中村氏。先進的な仕組みに多少の不安を感じつつも、新しいアーキテクチャ採用に積極的な湘南藤沢ITCもNutanixを検討し始めていたことも導入の後押しになったそうです。

同時期に基盤の刷新を計画したのが、湘南藤沢キャンパスでした。「他社製のハイパーバイザーを採用した場合、どうしてもライセンス面でのコスト負担が大きくなります。運用の容易性や拡張性などを考慮するなかで、NutanixのEnterprise Cloud OSが選択肢としてあがってきました。ここで、追加のライセンス費用が必要ないNutanix独自のハイパーバイザー、AHV (Acropolis Hypervisor) に注目したのです」と山方氏。

ITC本部では、全塾向けに提供しているサービスが稼働している仮想環境を複数のキャンパスに分散しており、それぞれ共有ストレージによる3層構成で運用していました。この環境をリプレイスすることが計画されており、宮本氏は「サービスを停止させずにキャンパス間でデータを移行することはこれまででも可能でしたが、リプレイスや今後のスケールアウトの際にもシステムを停止することなく、柔軟な移行ができる環境を構築したいと考えていました。結果として我々が求める環境に最適だったのが、NutanixのEnterprise Cloud OSでした」と語っています。

慶應義塾大学病院では、2017年の病院機能評価受審をきっかけに、院内における運用見直しが各部門で行われました。さらに、2018年には新病院棟が開院するため、新設備やシステム導入が増えていくことが見込まれていました。そこで、仮想化基盤として利用している、拡張性に課題のあるブレードサーバー環境から脱却し、柔軟に拡張できる新たな環境整備を目指したと大貫氏は語ります。「NutanixについてITC本部に話を聞くと、通常のディスクでも重複排除や圧縮効率が高められるという点が印象深かった。拡張性の高さやスペース効率などを考慮した結果、NutanixのEnterprise Cloud OSによるメリットがトータルで大きいと判断したのです」。

各キャンパスおよび大学病院の必須要件を満たす仮想化基盤を検討した結果、最終的にはNutanixのEnterprise Cloud OSが各システムの仮想化基盤として採用されました。

導入効果

現在は、拠点ごとに必要なアプリケーションを仮想化基盤の上でそれぞれ稼働させており、その基盤にNutanixのEnterprise Cloud OSが活用されています。芝共立キャンパスでは、Nutanix上でWebシステムやファイルサーバー、ドメインコントローラなどを稼働させています。湘南藤沢キャンパスでは、大学院生向けのVPS環境にNutanixのソフトウェアを搭載したOEMのDell EMC XCシリーズが4ノード、事務用の環境としてNutanixのアプライアンスが導入されています。



慶應義塾 日吉ITC
事務長 中村進氏



慶應義塾 ITC本部
宮本靖生氏

「いい意味で“何も起きないこと”が最適な状態であり、まさにNUTANIXがその環境を作り出してくれています。」



©2018 Nutanix, Inc. All Rights Reserved



慶應義塾 湘南藤沢ITC
主任 山方崇氏



慶應義塾大学病院 病院情報システム部
主任 大貫亮氏

「小規模オフィス環境のワークロードに適したNutanixのアプライアンスは、手間をかけずに、あっという間にサーバーを立ち上げたいという我々のニーズに最適でした。とても安定して稼働しており、まるで空気のような存在です」と山方氏は評価しています。

またITC本部では、Webシステムや認証基盤、学習支援を行うLMS (Learning Management System) といった授業に直結する仕組みなど、全塾向けに提供している数多くのシステムが、複数のキャンパスに導入されたNutanixのアプライアンス上に展開。大学病院では、医療機器管理システムをはじめ、健診システムやナースコールシステム、輸血管理システムなどの業務システムをNutanixのソフトウェアを搭載したLenovo ThinkAgile HXシリーズ上に展開していく予定です。さらに、PACS (Picture Archiving and Communication Systems) 用にも新たに追加ノードを導入、現在移行を進めています。

新しい環境に刷新した効果について、宮本氏はシステムの応答については体感できるほど迅速になったと評価しています。「インターフェース部分だけでも、ユーザーとして実感できるレベルでレスポンスの改善が見られます。全塾の基盤で稼働しているサービスは、数十万人が利用していますが、以前に比べるとシステム内部の処理をはじめ、そのほとんどが半分以下の時間で対応できています。スナップショットも一瞬で取得できるようになり、作業の大幅な効率化につながっています」。以前から自分たちで運用しているため、VMデプロイも素早くできるようになったと好評です。また、今後のバージョンアップにもサービスを停止することなく対応でき、管理面でも効率化できると期待を寄せています。「いい意味で“何も起きないこと”が最適な状態であり、まさにNutanixがその環境を作り出してくれています」と宮本氏。

中村氏は現在日吉ITCに異動しており、芝共立キャンパスの運用には現在関わっていないものの、「現場のほうからも安定して動いているという話を聞いていますし、製品の安定していることの証です」と評価しています。

大学院生向けのVPS環境にAHVを導入した山方氏は、VMwareのESXiハイパーバイザーと変わらないレベルでUIが提供できていると語ります。「OpenNebulaやOpenStackの運用はとにかく運用が大変ですが、その運用をしてきた人からすれば、AHVはほぼESXiと変わらず運用できますし、Nutanixの管理ツールであるPrismもvCenterと同じような感覚で運用できるため、とても助かっています。ほとんど仮想化基盤部分は特別手をかけることなく運用できるようになりました」。湘南藤沢キャンパスでは、Nutanix以外にも複数ベンダーの仮想化基盤を利用していますが、他社と比較して故障率が低くサービス対応など評価できる点は多いと山方氏は語っています。

大貫氏は、「いままでは、法律の制約もあり、ある程度業務アプリケーションに依存してハードウェアも調達するのが医療業界は一般的でした。しかし、法改正などの影響もあり、今回のようにNutanixのような柔軟なEnterprise Cloud OS上で業務アプリケーションが動かせるようになりました。従来に比べて選択肢が増え、最適なコストでの調達も可能になってきています」と語っています。Nutanixによるスペース効率についても「スペースは簡単に増やすことができませんので、集約率が高まるのはとてもありがたい。おそらく今までの半分以下のスペースで構築できています」と評価しています。

今後の展望

今後については、各キャンパスおよび大学病院ともに、柔軟な仮想化基盤として拡張を続けていながら、基盤統合に向けた動きを加速させていく考えです。ITC本部では、すでに業務系基盤を統合するための検討を始めており、現状は200VM程度が稼働するシステムを、最終的には500VM程度の基盤にまで拡張していく計画です。日吉キャンパスについても、現在稼働している複数の小規模な共有ストレージによる仮想環境をNutanixに刷新し、リース満了のタイミングで順次移行させ、最終的には統合することを検討しています。「日吉キャンパスは規模が大きいものの、運用スタッフは限られています。最近では無線LANなどのネットワーク運用にリソースが必要になっており、できる限りサーバー基盤の運用をシンプルにさせたい。また物理サーバーで運用している仕組みを、将来的には仮想化基盤で統合していきたいですね」と中村氏。他にも、湘南藤沢キャンパスでは、デスクトップ仮想化に関する案件が検討されており、大学病院についても現状移行中の案件を進めたいながら、数年後の電子カルテシステムの刷新など大規模な案件の際にも、Nutanixに期待していると語っています。

宮本氏が今後期待しているのは、AHVが実装しているネットワーク仮想化の機能をはじめ、アプリケーションのオーケストレーションを可能にする「Nutanix Calm」によるパブリッククラウドとの連携です。「オンプレミスやパブリッククラウドを意識せずにアプリケーションが展開できるNutanix Calmを使えばサービスの継続性が高まります。インフラのリソースが不足すれば、自動的にスケールしてリソース調整が行われるような、そんな仕組みにもしていきたい」と宮本氏。また、キャンパス間をつなぐ潤沢なネットワークを持つ慶應義塾だけに、キャンパス間をまたいでNutanixをスケールアウトさせる構成が実現できると面白いと語りました。



www.nutanix.jp
Email info-jp@nutanix.com

©2018 Nutanix, Inc. All rights reserved. NutanixはNutanix, Inc.の米国その他の国における商標です。その他の社名、製品名、ロゴ等は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本書に記載した情報は、予告なしに変更される場合があります。

団体

慶應義塾は1858年、福澤諭吉が江戸に開いた蘭学塾から始まった。創立から150年を超え、現在は小学校から大学・大学院までを擁する、日本で最も長い歴史を持つ総合学塾として幾多の人材を輩出している。学問、とくに「実学」の重用性を説いた福澤の志と理念を受け継ぎ、教育、研究、医療を通じた社会へのさらなる貢献を目指している。

業界

教育業界

ビジネスニーズ

- ・耐障害性の高い仕組み
- ・限られた人的リソースでも運用できるシンプルな基盤
- ・拡張性に乏しく管理が煩雑なブレードサーバー構成からの脱却
- ・コスト負担を軽減する仕組み
- ・システム入れ替え時にも無停止で移行できる環境
- ・容易にスケールアウトできる基盤

導入製品

- ・Nutanix NXシリーズ
- ・Dell EMC XCシリーズ (NutanixのEnterprise Cloud OSを搭載しているOEM製品)
- ・Lenovo ThinkAgile HXシリーズ (NutanixのEnterprise Cloud OSを搭載しているOEM製品)
- ・AHV (Acropolis Hypervisor)

導入メリット

- ・仮想化基盤の安定稼働と意識する必要もないほど容易な運用
- ・体感できるほどのシステム応答の改善
- ・内部的な処理速度が向上、半分程度の時間で処理を完了
- ・バージョンアップ時にもサービス無停止で対応
- ・VMwareのESXiと変わらないレベルでNutanixのAHVを運用
- ・従来の2分の1程度のスペースで環境を構築

Nutanixは、クラウドソフトウェアとハイパーコンパジド・インフラストラクチャー・ソリューションのグローバルリーダーであり、ITインフラストラクチャーをその存在さえ意識させない「インビジブル」なものに変革することで、企業のIT部門が、ビジネスに直結したアプリケーションやサービスの提供に注力できるようにします。NutanixのEnterprise Cloud OSソフトウェアは世界中の企業に採用されており、パブリッククラウド、プライベートクラウド、分散型エッジクラウドを対象に、ワンクリックのアプリケーション管理とモビリティを実現することで、総所有コストを大幅に削減しつつ、あらゆる規模でアプリケーションの実行を可能にします。その結果、高性能のIT環境をオンデマンドで迅速に実現でき、アプリケーション所有者には真のクラウドライクな体験が得られます。詳細については、www.nutanix.jpをご覧ください。Twitterをフォローしてください (@nutanix)。



京都外国語大学と併設校のシステム基盤をNutanix Cloud Platformで統合

システム運用費を固定化し、拡張性の高いクラウドを実現

導入によるビジネスのメリット

- システム担当の業務負担軽減
- 短期間でのスムーズなシステム移行と安定稼働
- 高いパフォーマンスと柔軟なスケーラビリティを獲得
- システム運用費の固定化



「併設校のシステム統合の準備のため、すぐに1台追加することになりましたが、2カ月という短い期間で構築を完了しています。通常業務を行いながらの構築作業でしたが、サービス停止などの問題もありませんでした。安心して新しいシステムを迎え入れることができます」

- 学校法人京都外国語大学 総務部 情報システム課 担当課長
中原学 氏

課題

京都外国語大学は、建学の精神に「PAX MUNDI PER LINGUAS」～言語を通して世界の平和を～を掲げる学校法人です。充実した言語学習のカリキュラム、海外留学、2言語同時学習などを通して、グローバル社会を生き抜くために欠かせない国際感覚を身につけた人材の育成を目指しています。近年では「THE世界大学ランキング日本版2021」における国際性分野で7位にランクインし、国際的にも確かな教育力が認められています。

京都外国語大学は、学内のサーバーームで運用していたサーバーのメンテナンスやハードウェア、ソフトウェアの更新に手間がかかっていたため、一部の物理サーバーを仮想化しました。その結果、管理工数は削減できましたが、すべてのITリソースを一元管理することまでには手が回りませんでした。

業界

学校・教育業界

課題

- 仮想基盤の保守期限切れに伴う更新
- 併設校のITインフラの統合
- クラウド環境への完全移行を妨げるデータベースのコスト増大
- 学校法人会計特有の変動費用抑制の必要性

ソリューション

Nutanix Cloud Platform

- Nutanix AOS
- Nutanix AHV
- Nutanix Prism
- Nutanix Move
- Nutanix Files

アプリケーション

- 授業用Webサーバー
- eラーニングシステム
- 認証サーバー
- データベースサーバー
- ファイルサーバー

NUTANIX™

©2021 Nutanix, Inc. All Rights Reserved

2013年、学内サーバー室から外部向けのサービスを外部データセンターに移設し、2015年にはクラウドファーストへ方針転換して財務人事や基幹系サービスをクラウドに展開しました。

京都外国語大学 総務部情報システム課担当課長の中原氏は「データセンター内の仮想化基盤の保守が2020年夏に満了するため更新が必要で、同時に併設校のインフラを大学に統合する案が浮上しました。2015年にクラウド環境への完全移行に舵を切ったものの、データベースに必要なリソースが課題となり、コスト増大のリスクが生じました。また、財務部門からの会計ポリシーとしてクラウド運用の変動費を抑えつつ、性能はスケーラブルにする必要もありました」と語ります。

ソリューション

データセンターの仮想化基盤の更新と併設校のインフラの統合を同時に実現し、システム運用の変動費を抑えながら拡張性のあるクラウド。この課題を解決するシステムのインテグレーションを担当するキヤノンITソリューションズからの提案の末、京都外国語大学が選んだのが、Nutanix Cloud Platform でした。中原氏は「ハイパーバイザーであるNutanix AHVのパフォーマンス面やコスト面での優位性を評価し、導入に至りました。これまで物理サーバーと仮想サーバーの管理に苦労した現場のシステム担当から『ぜひ使ってみたい』との声が上がっていたのも、Nutanix採用を後押しした大きな要因になっています」と説明します。

2020年の夏休みの時期を利用して、仮想・物理合わせて計24台のサーバーをNutanix環境に移行しました。「拍子抜けするくらいスムーズに移行が完了し、移行して約半年が経過しましたが、特に目立ったインシデントやアクシデントは発生していません」と中原氏は振り返ります。

導入効果

Nutanixのシンプルな管理ツールの使い勝手について中原氏は、「導入前のオンラインミーティングでデモンストレーションを拝見し、その際にシステム運用の管理工数が減らせるという確信が持てました。導入後、現場のシステム担当者から『管理が楽になった』という声が寄せられるなど、期待通りの成果が上がっています」と述べています。

データベースのコスト増大がリスクになり完全なパブリッククラウド移行を断念し、学校法人会計特有の変動費を抑えなければいけません。Nutanixによるプライベートクラウドにより、システム運用にかかる費用を低コストで固定化しながら、拡張性の高い環境を実現できました。導入前は、ハイパーバイザーが新しくなることに対してパフォーマンス面の不安もありましたが、従来のものと比べてオーバーヘッドが少なく、スケーラビリティの向上が可能など不安感も解消しました」と中原氏は語ってくださいました。

京都外国語大学では、Nutanixを初期導入した後、2021年度末までに新学務システムのテスト環境を稼働させることになっていました。事前に検証を行ったところ、リソースが想定以上の必要であることが判明したため、急遽ノード追加が必要になりました。「併設校のシステム統合の準備のため、すぐに1台追加することになりましたが、2カ月という短い期間で構築を完了しています。通常業務を行いながらの構築作業でしたが、サービス停止などの問題もありませんでした。安心して新しいシステムを迎え入れることができます」と中原氏は評価します。

今後の展開

現在、京都外国語大学の併設校である京都外大西高等学校と京都外国語専門学校のシステム統合が進んでおり、2022年には新学務システムが稼働する予定です。



info-jp@nutanix.com | www.nutanix.com/jp

©2021 Nutanix, Inc. All rights reserved. NutanixはNutanix, Inc.の米国その他の国における商標です。その他の社名、製品名、ロゴ等は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本書に記載した情報は、予告なしに変更される場合があります。

04/2021

8. クラウドプロバイダ紹介

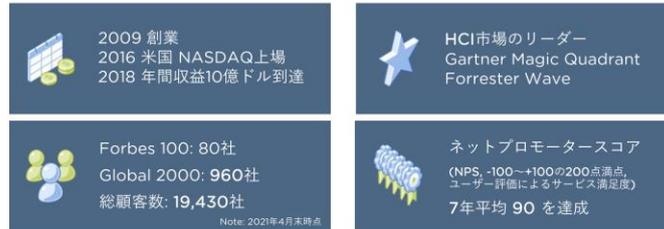
Nutanixについて

Vision

クラウドをインビジブルにし、
お客様がビジネス成果に
フォーカスできるようにします

Mission

多彩なデータサービスを備えた
シンプル・オープン・ハイブリッド
そしてマルチクラウドな
ソフトウェアプラットフォームで
あらゆるアプリケーションの
構築・稼働・管理を可能にすることで
お客様に喜びを提供します

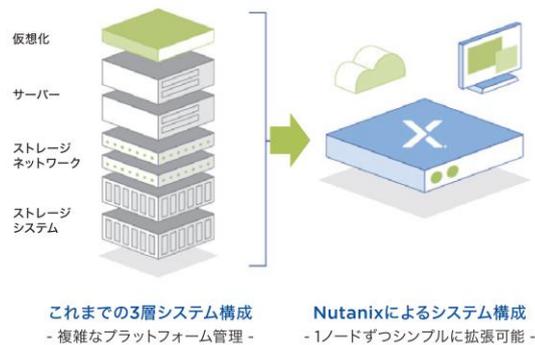


「ITの最新化」の業界標準、ハイパーコンバージド・インフラストラクチャー(HCI)とは?

Nutanixソリューションは、コンピューティング、仮想化、ストレージ、ネットワーク、そしてセキュリティを統合した、ハイパーコンバージドインフラストラクチャー(HCI)テクノロジーに基づいています。

従来の複雑な3層システムを、Nutanixのソフトウェア「Nutanix AOS」が稼働する業界標準サーバーに置き換え、ビジネスの成長に応じて段階的に拡張することが可能です。

さらに、Nutanixが提供する無償のハイパーバイザー「Nutanix AHV」を活用することでコストを軽減することも可能です。



IT内製化を可能にする1-クリックのIT管理

データセンターインフラストラクチャー、アプリケーション、そしてクラウドの一元管理が、劇的にシンプルにコンシューマーグレードで実現できます。

これにより、企業のIT部門はビジネスクリティカルなイニシアティブに集中できます。

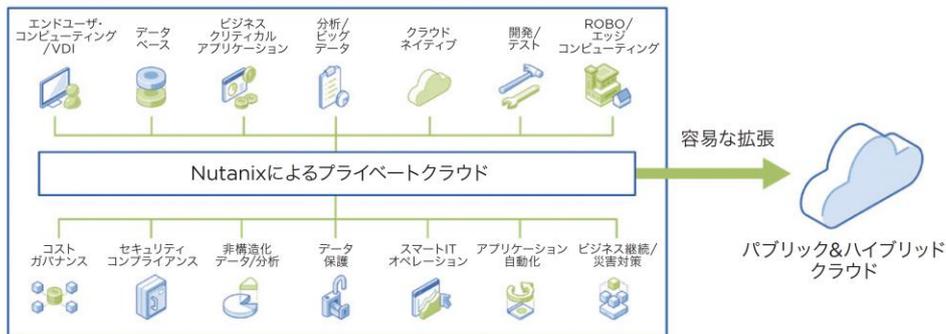
ITプラットフォームのライフサイクル管理に伴う複雑なタスクを、Webベースの統合管理ツール「Prism」からクリック1つで容易に処理できます。

ファイルサーバーの詳細な分析と監査

「Nutanix Files」には豊富な監査APIを提供し、アプリケーションはそれを登録することでファイル関連のイベントをリアルタイムに受け取ることができます。「Nutanix File Analytics」機能を使えば、この監査APIを利用して、誰がファイルを作成し、アクセス・移動・削除および変更したかなど、ファイルシステムの使用状況を監査することができるようになります。

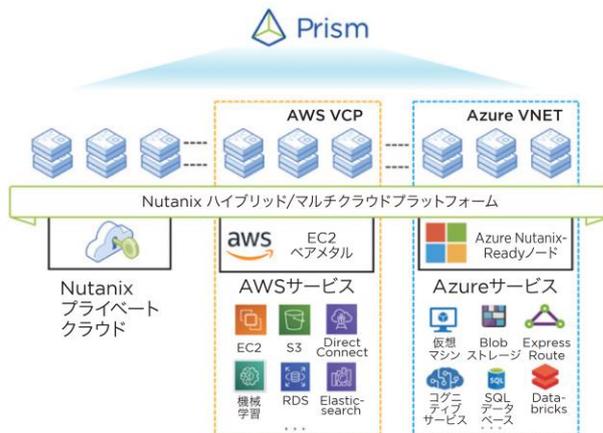


「プライベートクラウドとの統合」でアプリケーションの可搬性を実現するハイブリッド化



アプリケーションを従来型仮想マシンとして実行するか、最新のコンテナ技術を活用しているかに関わらず、パブリックおよびプライベートクラウドにまたがるインフラ運用とアプリケーション配備を自動化します。ハイブリッドクラウドソリューションなら、クラウドにまたがる管理を統一しながら、異種環境間におけるアプリケーションおよびデータの円滑なモビリティを実現します。

単一ソフトウェアプラットフォームからマルチクラウドをシンプルに管理



単一の統合管理インターフェース「Prism」を利用して、NutanixのプライベートクラウドとAWSやAzureなどのパブリッククラウドと連携できます。Nutanixのフルスタックをパブリッククラウドのネットワーク上で実行でき、複雑かつ高額なオーバーレイネットワークを完全に排除して、パフォーマンスメリットも提供できます。

©2021 Nutanix, Inc. All rights reserved. NutanixはNutanix, Inc.の米国その他の国における商標です。その他の社名、製品名、ロゴ等は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。本書に記載した情報は、予告なしに変更される場合があります。

We make the world of work, work better for people™

私たちは、仕事の複雑さを減らすテクノロジーの力を信じています。ServiceNow が提供する最新のデジタルワークフローは、あらゆる業界のワークフローをもっとスマートにし、優れたエクスペリエンスを生み出し、生産性を最大限に引き出します。これが働き方の未来です。



Now Platform®

デジタルビジネスを支える
プラットフォーム



IT
Workflows

2倍 担当者の生産性を向上

最新のひとつのプラットフォームで作業を管理し、サービスをより早く提供。



Customer
Workflows

75% サポートの応答時間を削減

AIチャットボットでリクエストや質問を管理し、お客様の問題解決を加速。



Employee
Workflows

25% 新入社員が仕事に就くまでの期間を短縮

モバイル対応と部門をまたがった自動化により、従業員のオンボーディングを最適化。



Creator
Workflows

3日 アプリ開発からリリースまでをわずかな期間に

ノーコード・ローコードの開発ツールを使い、部門内で使うアプリやワークフローを素早く構築。



2004年
設立
約16,000人
グローバル従業員数

約1,500社
グローバルパートナー企業数

\$4.4B
総売上高 (約5,000億円)
33%
前年比成長率

98%
契約更新率

約6,900社
グローバルお客様企業数
約80%
ServiceNowを使う
Fortune 500企業の割合



2020年 FORTUNE®
Future 50で1位



FORTUNE® World's Most
Admired Companies® 2021



FORTUNE® 100 Best
Companies to Work For® 2021



働きがいのある会社 2021
(LGBTQ平等部門)



「働きがいのある会社」認定
Great Place to Work® Certified
2020年8月~2021年8月



AnitaB.org - 女性技術者の
ためのトップ企業



■ コーポレートビジョン corporate vision

情報の価値化と知の協創をデザインする

■ 企業理念 corporate philosophy

人間の創造性発揮のための環境づくりを通じて、より豊かな人間社会実現のために貢献し、企業の繁栄と社員の幸福を実現する。

経営方針

「働き方変革」「学び方変革」「場と街づくり変革」の実現に向けて

当社グループは、1910年(明治43年)に創業、2021年に111周年を迎えました。

その歴史の中で、民間・公共の多様なお客様とお取引関係を培ってまいりました。また、売上の構成比率はおおよそ60%となるICT関連ビジネスを基盤としつつ、その他40%を環境構築関連ビジネスが占めるユニークな事業構成をもちます。

この多様なお客様とのお取引関係とユニークな事業構成をリソースとしまして、社会・産業構造変化のSociety5.0実現に向けて、お客様の新たな課題を解決すべく「働き方変革」「学び方変革」「場と街づくり変革」の事業創造に取り組んでまいります。

働き方変革

— 知的生産性向上 —

1989年より「知的生産性研究所」にて、オフィスワーカーの知的生産性向上に関する調査・研究に取り組み、大手企業や官公庁・自治体のお客様向けに、生産性が向上するオフィスづくりや、それを支援するITシステム構築に取り組んでいます。



学び方変革

— 主体的学び —

1998年より「内田洋行 教育総合研究所」にて、省庁から学校現場まで幅広く協同で教育研究を進め、小中高大を中心にアクティブ・ラーニングを実現するこれからの新しい教育環境づくりに取り組んでいます。

場と街づくり変革

— 地方創生・都市活性化 —

地域の企業、自治体・大学・図書館等の公共施設による、人が集まる場の空間の設計・デザイン、そして、それをバックエンドで支えるICT環境を整備し、地域活性化を支援していきます。



学び方変革の実現に向けて

～内田洋行グループ教育ICTビジネスのご紹介～

大学 ICT

大学・専門学校向けに、進化した学びの場をつくる

- アクティブ・ラーニング環境、学内ネットワーク・PC教室・CALL教室等の情報インフラ構築と運用管理業務支援サービスの提供。
- 学生サービス向上に寄与する証明書発行システム「PAPYRUSMATE（パピルスメイト）」、ソフトウェアライセンス「U365」の学割提供。



教育 ICT（小学校～高等学校）

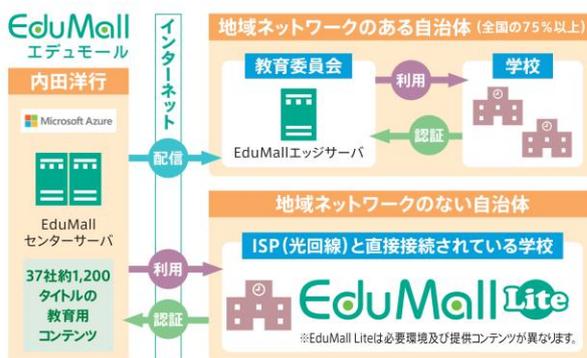
アクティブ・ラーニング環境の構築、ICT授業支援、校務支援システムの提供

- 電子黒板や1人1台タブレットPC等のICTを活用するための学習環境構築。
- クラウド型の教育用コンテンツ配信サービス「EduMall（エデュモール）」。
- 先生の働き方改革につながる統合型校務支援システムの提供。
- 学校ヘルプデスクの運用、保守サービス、ICT支援員の派遣や授業設計。
- 高等学校を中心とした語学支援システム。



教育用コンテンツ配信サービス「EduMall（エデュモール）」

- デジタル教科書や動画、ドリル・アニメーション、プリント教材等、コンテンツメーカー各社が提供する豊富なコンテンツを年間契約で利用できるクラウド型配信サービス。
- 導入実績：427自治体 7,254校（2021年6月現在）



大学コンサルティング

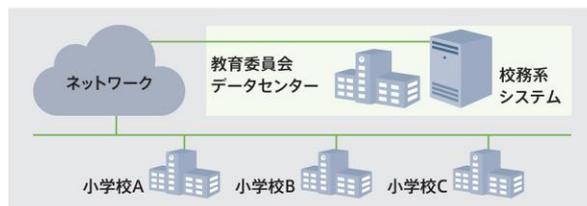


大学の 신설や学部学科設置の申請支援

- 大学の学部設置・改組転換の認可申請における支援と情報提供。
- 最適な学修空間を構築するために校具備品教具、ICT関連品のトータルプランニングと提供。

教育委員会ネットワーク・サーバ構築

- 統合型校務支援システムの構築。
- 教育系イントラネットの設計・構築。
- 校務系と教育系のデータ連携。



公共クラウドサービス

学校・自治体・地域をシームレスにつなぐクラウドサービス

- 教育、自治体のIT業務を高いセキュリティで運用するクラウドマネージドサービス。
- お客様のニーズに合ったクラウド基盤（Amazon Web Services, Microsoft Azure, NIFCLOUD, LGWAN）サービスを提供。
- 深い業務知識と先進技術を持ったウチダのシステムエンジニアが、企画・設計・導入から保守までワンストップでサービス提供。



ICTシステムを活用した図書館ソリューション



図書館システムと読書通帳機で利用者の充実を図る

- 全国の公共・大学図書館に、ICタグを活用した自動貸出機や蔵書点検等のICTソリューション「ULIUS（ユリウス）」を提供。
- 図書館システムと連携して読書履歴データを通帳に印字する「読書通帳機」の導入。

さくらインターネット株式会社のご紹介

すべては日本のインターネットと、 新しいビジネスに挑むお客様のために

どこより低価格で、
どこよりも高品質なサービスを実現したい



代表取締役社長
田中 邦裕

日本にインターネットが本格的に普及し始めた1996年から、私たちさくらインターネットは、このシブな理念のもとでデータセンターサービスを提供して来ました。その間、私たちを取り巻く環境は大きく変わりました。これまで日本経済を支えてきた製造業はより厳しい国際競争にさらされる中で、インターネットビジネスをはじめとするITサービスの分野では日本から世界へ事業を広げようとする企業がいくつも生まれています。

この先の日本経済を支える産業はITサービスやソフトウェアになっていくと考えています。まさに産業構造の転換期にある日本において、これから世界とたたかおうとする日本企業を、ベストサービス・ベストプロダクトで応援していく。それが私たちのミッションです。

そして、私たちの生活する社会にとっても、インターネットは不可欠な存在となりました。日本を代表するデータセンター事業者として、インターネット社会を支え、さらなる発展に貢献していくことが、私たちに課せられたもう一つの使命です。それらを実現するのが、高品質を実現する技術力と低価格を実現する事業スケールです。

「すべては日本のインターネットのために」

私たちはこれからも、スケールメリットと柔軟性を兼ね備えたコスト競争力の高いITインフラで、海外のインフラ事業者とも肩を並べるサービスを、開発・提供していきます。

日本のインターネットの発展に貢献します これまでも、これからも

業績推移



会社概要

商号	さくらインターネット株式会社
本社所在地	大阪市北区梅田1丁目12番12号
創業年月日	1996年12月23日 (会社設立:1999年8月17日)
上場年月日	2005年10月12日 (マザーズ) 2015年11月27日 (東証一部へ市場変更)
資本金	22億5,692万円
従業員数	718名 (連結)

※2021年6月現在

さくらインターネット株式会社のTOPIC

IoT

注力ポイント

引き続き顧客の
活用支援・促進に注力

直近の取り組み

- 当社参画のIoT活用の取り組みが、総務省「ICT地域活性化大賞2019」の「大賞/総務大臣賞」を受賞

石狩振興局と民間企業の合同の、IoT活用で灯油配送を効率化する取り組みについて受賞。当社はLTEネットワークに「sakura.io」を提供

取り組み概要イメージ図



AI・高火力

注力ポイント

当社グループ間の連携で
公共、テックベンチャー案件を獲得

直近の取り組み

- 高火力コンピューティングサービスの大型案件受注

国立研究開発法人情報通信研究機構より期間総額約25億円（期間：2019年2月～2021年3月）で、ディープラーニング翻訳高度化のための高火力コンピューティングサービスの提供案件を受注（2月）

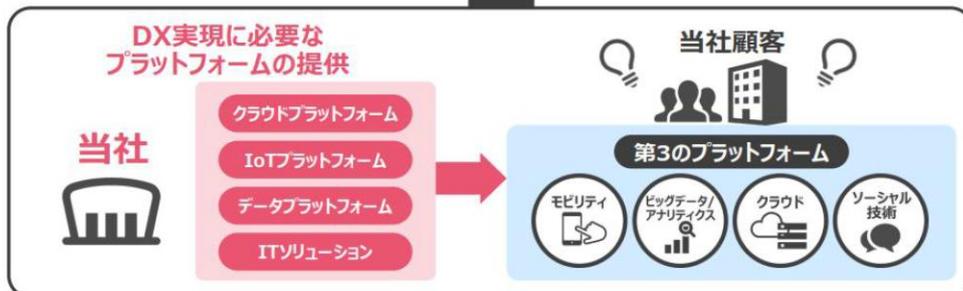
- その他、公共分野・大企業向けの高火力コンピューティング案件を複数受注

さくらインターネット株式会社の目指すもの

当社はDX（デジタルトランスフォーメーション）を支える
プラットフォームになる



デジタルトランスフォーメーション



企業別索引（五十音順）

〈N〉

Nutanix Japan 合同会社

Nutanix Cloud Platform(Nutanix Cloud Infrastructure) 70

Nutanix Cloud Platform(Nutanix Cloud Management) 72

[プロバイダ紹介] 136

〈S〉

ServiceNow Japan 合同会社

Now Platform for コネクテッドキャンパス 18

[プロバイダ紹介] 138

〈ウ〉

内田洋行

codemari クラウドサービス 16

RoomSense クラウドサービス 34

証明書学外発行サービス 36

IT 資産管理/セキュリティ管理 ASSETBASE 104

ソフトウェア配布提供システム Download Station 106

Microsoft Office 学割特別プラン U365 108

[プロバイダ紹介] 140

〈ク〉

グーグル・クラウド・ジャパン合同会社

Google Cloud 26

〈サ〉

さくらインターネット株式会社

さくらのセキュアモバイルコネクト 28

さくらのレンタルサーバ リセール向けサービス 30

さくらのVPS 94

さくらのクラウド 96

さくらの専用サーバ 98

SINET 接続サービス 100

[プロバイダ紹介] 142

〈ネ〉

ネットアップ合同会社

NetApp Cloud Insights 64

NetApp Cloud ONTAP 66

Spot by NetApp 68

〈ヒ〉

株式会社日立製作所

AI 画像認識アプリケーションプラットフォーム 24

TWX-21 MRO 集中購買サービス 40

エンタープライズクラウドサービス 76

フェデレーテッドクラウド 78

出前クラウドサービス 80

Hitachi Managed VMware Cloud™ on AWS 82

クラウド移行アセスメントサービス 84

プラットフォーム向けモダナイゼーション支援サービス 86

コンテナ環境構築・運用サービス 88

日立 データセンターサービス 90

株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト

リモートアクセスシステム DoMobile 74

〈フ〉

ファルコンシステムコンサルティング株式会社

WisePoint8 92

富士通株式会社

FUJITSU 文教ソリューション Campus-Xs 14

FUJITSU 文教ソリューション Ufinity 研究者業績サービス 22

FUJITSU 文教ソリューション iLiswave-J 図書館クラウド 38

〈リ〉

株式会社リコー

RICOH CHATBOT SERVICE 42

図書館情報システム LIMEDIO 44

キャンパス手帳 46

RICOH カンタンドキュメント活用 for kintone 48

RICOH カンタン名刺電子化アプリ for 連絡とれるくん 50

RICOH カンタンストレージ活用 52

RICOH カンタンバーコード活用 54

RICOH カンタン文書申請 56

RICOH マーキングスキャン for データ集計 58

RICOH マーキングスキャン for 文書保管 60

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会 の歩み

- 主 査 渡邊英伸 (広島大学)
- 副 査 梶田将司 (京都大学)
- 副 査 吉田浩 (国立情報学研究所)
- 副 査 滝島繁則 (さくらインターネット)
- 副 査 須藤憲一 (さくらインターネット)

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会は 2012 年 9 月 28 日に活動を開始いたしました。そして大学 ICT 推進協議会の中でも活発な活動を行っている部会の一つだと自負しております。

本部会では、大学 ICT 推進協議会年次大会における企画セッションの開催、定期的な部会会合を通じてアカデミッククラウドに関する情報発信及び情報共有を推進して参りました。また、関係機関と協力してアカデミッククラウドに関する研究とその普及にも取り組んで参りました。

クラウド部会の活動履歴を以下に記します。

■ 大学 ICT 推進協議会年次大会における企画セッションの開催

年度	企画セッションの内容
2012年度年次大会	「大学向けクラウド利用のニーズとシーズ」 「安否確認システムの共同開発・共同利用における現状と課題」
2013年度年次大会	「学術インタークラウド基盤の実現に向けて」 「安否確認システムの共同開発・共同利用」
2014年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ（1）」 「大学向けクラウドソリューションカタログ（2）」 「安否確認システムの共同開発・共同利用」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2014発行・配布
2015年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ（1）」 「大学向けクラウドソリューションカタログ（2）」 「安否確認システムの共同開発・共同利用」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2015発行・配布
2016年度年次大会	「大学向けクラウドソリューションカタログ1」 「大学向けクラウドソリューションカタログ2」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2016発行・配布
2017年度年次大会	「クラウドソリューション&ライセンスワークショップ（1）」 「クラウドソリューション&ライセンスワークショップ（2）」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2017発行・配布
2018年度年次大会	「クラウド導入支援のあり方を考える」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2018発行・配布
2019年度年次大会	「組織のセキュリティポリシーに合致するクラウド環境の作り方」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2019発行・配布
2020年度年次大会	「大学における働き方・教え方改革とクラウド活用」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2020発行・配布
2021年度年次大会	「クラウド活用で加速する大学DXのベストプラクティスの検討と展望」 ※大学向けクラウドソリューションカタログ2021発行・配布

■分科会会合の開催

回数	開催日	会場	他機関との連携等
第1回会合	2012年9月28日	京都大学	
第2回会合	2012年10月31日	学士会館	
第3回会合	2012年12月19日	神戸国際会議場	AXIES2012年度年次大会
第4回会合	2013年2月21日	国立情報学研究所	
第5回会合	2013年5月30日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第6回会合	2013年9月5日	北海道大学	CloudWeek2013
第7回会合	2013年12月20日	幕張メッセ	AXIES2013年度年次大会
第8回会合	2014年5月22日	東京ビックサイト	AXIES2014年度年総会
第9回会合	2014年9月1日	北海道大学	CloudWeek2014
第10回会合	2014年12月1日	AER (アエル)	AXIES2014年度年次大会
第11回会合	2015年5月21日	東京ビックサイト	AXIES2014年度年総会
第12回会合	2015年9月7日	北海道大学	CloudWeek2015
第13回会合	2015年12月4日	ウインクあいち	AXIES2015年度年次大会
第14回会合	2016年5月26日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第15回会合	2016年8月29日	北海道大学	CloudWeek2016
第16回会合	2016年12月14日	京都国際会館	AXIES2016年度年次大会
第17回会合	2017年9月5日	北海道大学	CloudWeek2017
第18回会合	2017年12月14日	広島国際会議場	AXIES2017年度年次大会
第19回会合	2018年3月9日	広島大学	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2018
第20回会合	2018年6月20日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第21回会合	2018年9月3日	北海道大学	CloudWeek2018
第22回会合	2018年11月19日	札幌コンベンションセンター	AXIES2018年度年次大会
第23回会合	2019年2月22日	広島大学	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2019
第24回会合	2019年5月29日	国立情報学研究所	学術情報基盤オープンフォーラム
第25回会合	2019年9月2日	北海道大学	CloudWeek2019
第26回会合	2019年12月12日	福岡国際会議場	AXIES2019年度年次大会
第27回会合	2020年6月9日	国立情報学研究所(オンライン開催)	学術情報基盤オープンフォーラム
第28回会合	2020年9月10日	北海道大学(オンライン開催)	CloudWeek2020
第29回会合	2020年12月7日	大阪大学(オンライン開催)	AXIES2020年度年次大会
第30回会合	2021年3月5日	広島大学(オンライン)	大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2021
第31回会合	2021年7月7日	国立情報学研究所(オンライン開催)	学術情報基盤オープンフォーラム
第32回会合	2021年9月2日	北海道大学(オンライン)	CloudWeek2021
第33回会合	2021年12月15日	幕張メッセ(ハイブリッド開催)	AXIES2021年度年次大会

以上

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会 ご入会のご案内

全国の大学でアカデミッククラウドの必要性に対する認知度が高まってきております。そのためアカデミッククラウドに関する様々な情報の共有が求められる状況にあります。

大学 ICT 推進協議会・クラウド部会ではこうした大学のニーズに応えるべく、活動を活性化することを考えております。そのため、ご入会いただける大学会員及び賛助会員（企業会員）の皆様を募集しております。

本部会にご参加いただくことにより、大学会員及び賛助会員の皆様には以下のようなメリットがあると考えられます。

■大学会員のメリット

- ・クラウドは民間主導で急速な進化の過程にあるテクノロジーです。クラウド提供企業から最新の技術動向や技術情報を入手することができます。
- ・先進的な大学におけるクラウド導入事例を入手することが可能です。大学でのクラウド導入の留意点や注意点などを学ぶことができます。
- ・クラウド研究に携わる大学教職員及び企業のクラウド担当者との人脈を構築できます。

■賛助会員のメリット

- ・自社のクラウドソリューションを、大学教職員に広報することができます。
- ・クラウドに対する大学側のニーズをヒアリングすることができます。
- ・共同研究、実証実験などを行うパートナーとなる大学を探することができます。

つきましては、本部会へのご入会をご検討くださいますようお願い申し上げます。

入会のお申込み及びお問合せは、以下のメールアドレスまでお願い申し上げます。

主 査 渡邊英伸（広島大学）

副 査 梶田将司（京都大学）

副 査 吉田浩（国立情報学研究所）

副 査 滝島繁則（さくらインターネット）

副 査 須藤憲一（さくらインターネット）

ご連絡先： sig-cloud-core@axies.jp